OLYMPUS®

ラジオサーバー

VJ-20

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、
製品を正しく安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られる
ところに必ず保管してください。

失敗のない録音をするために
試し録りをしてください。

JP

はじめに

・本書の内容については将来予告なしに変更する場合があります。商品名、型番など、最新の情報については カスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。
・本書の内容については、万全を期して作成しておりますが、万一ご不審な点、誤り、記載もれなど、お気づきの点がございましたらカスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。
・本書の著作権はオリンパス株式会社、およびオリンパスイメージング株式会社が所有しております。本書を無断で複製したり、複製物を無断で配布したりすることは著作権法により禁じられています。
・本製品の不適当な使用による万一の損害や、逸失利益、または第三者からのいかなる請求に関しても、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こす恐れがあります。取扱説明書にしたがって正しくご使用ください。
・航空機内や病院など使用に制限のある場所では、使用をお避けになるかその場所の指示にしたがってください。
・本製品の接続の際、当製品指定のケーブルを使用しない場合、VCCI 基準の限界値を超える恐れがあります。必ず、指定のケーブルをご使用ください。

商標および登録商標について

・IBM、PC/AT は、International Business Machines Corporation の商標または登録商標です。
・Microsoft、Windows、Windows Media は Microsoft Corporation の登録商標です。
・Macintosh は米国アップル社の商標です。
・microSD と microSDHC は SD Card Association の商標です。
・エネループ及び eneloop は三洋電機の登録商標です。
・MP3 オーディオ符号化技術は Fraunhofer IIS 社と Thomson 社からのライセンスに基づき製品化されています。

その他の本説明書に記載されているすべてのブランド名または商品名は、それらの所有者の商標または登録商標です。

INDEX

目次

はじめに

あなたと他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぐためにお読みください。

お使いいただく前に

製品に関する基礎的な情報をまとめています。

ファイル管理をする際にお役だてください。

準備をする

製品を使う前の準備をしましょう。

初期設定をする

表示

ラジオを使う

ラジオを聞いてみましょう。

録音する

いろんな音源を録音してみましょう。

再生する

再生してみましょう。

編集する

ファイルを操作してみましょう。

タイマー機能を使う

便利な予約機能を使ってみましょう。

消去する

メニューについて

パソコンでお使いになる前に

パソコンとの連携操作ができます。

ファイルの管理

その他の活用方法

トラブルシューティング

お困りのことや、製品をもっと知りたい場合にお役だてください。

資料

安全に正しくお使いいただくために

ご使用前にこの取扱説明書をお読みになって、正しく安全にお使いください。また、お読みになったあとは、いつでも見られるように必ずお手元に保管してください。

安全に関する重要事項

- 安全に関する重要事項は、以下の表示と文章で示されます。あなたと他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぐために、必ず守ってください。
- 表示の意味は、次のようになっています。

この表示は、「誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う差し迫った危険の発生が想定される」内容を示します。

この表示は、「誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を示します。

⚠ **注意**

この表示は、「誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される」内容を示します。

この記号は、決してしてはいけない「禁止」内容を表しています。図または文章で具体的な禁止内容を示します。

この記号は、必ず実行していただく「強制」内容を表しています。

使用上のご注意

- 直射日光下の車の中や夏の海岸など、高温・多湿の場所に放置しないでください。
- 湿気やほこりの多い場所に保管しないでください。
- 水気がついたら、直に乾いた布で水分を拭き取ってください。特に塩分は禁物です。
- 清掃する場合、アルコールやシンナーなどの有機溶剤は使用しないでください。
- テレビ・冷蔵庫などの電気製品の上や近くに置かないでください。
- 砂や泥をかぶらないようにご注意ください。修理不可能なほどの故障が生じる恐れがあります。
- 強い振動やショックを与えないでください。
- 水気の多い場所で使用しないでください。
- 磁気カード（銀行のキャッシュカードなど）をスピーカやイヤホンの近くに置くと、磁気カードに格納されたデータに異常が生じる恐れがあります。

受信に関する注意事項：

- ラジオはご使用の場所により受信状態が大きく変わります。受信状態が良好でない場合、窓際に移動したり携帯電話、テレビや蛍光灯などの電化製品から離れて使用してください。また、向きにより受信状態が改善されることがあります。

データ消失に関する注意事項：

- メモリへの記録内容は誤操作、機器の故障、修理などで破壊されたり消える恐れがあります。大切な記録内容はパソコンのハードディスク、MO などのメディアにバックアップし、保存されることをおすすめします。
- 本製品は故障、当社指定外の第三者による修理、その他の理由により生じたデータの消失による損害および逸失利益などに関し、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。

録音したファイルに関する注意事項：

- 本機やパソコンの故障により、録音したファイルが消去されたり再生不能となった場合でも、

当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。
- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用することはできません。

電池について

⚠ 危険

火の中への投入、加熱、⊕ と ⊖ 極間のショート、分解をしないでください。
火災・破裂・発火・発熱の原因となります。

直射日光のあたる場所、炎天下の車内、ストーブのそばなど高温になる場所で使用・放置しないでください。
液漏れ、発熱、破裂などにより、火災・火傷・ケガの原因となります。

⚠ 警告

直接ハンダ付けしたり、変形・改造・分解をしないでください。

⊕ と ⊖ 端子を接続しないでください。
発熱や感電・火災の原因になります。

電池を持ち運んだり、保管する際は必ずケースに入れて、端子部分を保護してください。キーホルダーなどの貴金属と一緒に、携帯・保管しないでください。
発熱や感電・火災の原因になります。

電源コンセントや自動車のシガレットライターの差し込み口などに直接接続しないでください。

電池の極性（⊕ と ⊖）を逆に入れないでください。
電池は、液漏れ、発熱、発火、破裂する恐れがあります。
- 外装シール（絶縁被覆）の破れた電池を使わないでください。
- 長期間使用しない場合、必ず電池を取り出して保管してください。
- 使用済みの電池は接点部分にテープを貼って絶縁し、一般廃棄物として各自治体の指示にしたがって廃棄してください。
- 使えなくなった電池は速やかに本機から取り出してください。液漏れの恐れがあります。

電池の液が目に入った場合は失明の恐れがありますので、こすらず、直ちに水道水などのきれいな水で十分に洗い流したあと、直ちに医師の診断を受けてください。

充電できないアルカリ電池、リチウム電池などを充電しないでください。

電池は幼児・子供の手の届くところに置かないでください。
電池は幼児・子供が飲み込む恐れがあります。万一飲み込んだ場合、直ちに医師に相談してください。

万一、使用中に異常な音がする、異常に熱い、焦げ臭い、煙が出るなどの異常を感じたら、
① けがをしないように注意しながら速やかに電池を抜いてください。
② お買い上げ店またはオリンパスサービスステーションへ修理に出してください。
放置すると火災や火傷の原因となります。

水や海水などにつけたり、端子部を濡らさないでください。

液漏れ、変色、変形、その他異常が発生した場合、使用を中止してください。

電池の液が皮膚・衣類へ付着すると、皮膚に傷害を起こす恐れがありますので、直ちに水道水などのきれいな水で洗い流してください。

火気のある場所に電池を置かないでください。

⚠ 注意

電池に強い衝撃を与えたり、投げたりしないでください。

充電式電池の廃棄について

使用済みの充電式電池は貴重な資源です。充電式電池を捨てる際には、⊕ と ⊖ 端子をテープなどで絶縁してから最寄の充電式電池リサイクル協力店にお持ちください。
詳しくは一般社団法人 JBRC ホームページ (http://www.jbrc.com) をご覧ください。

AC アダプタについて

⚠ 警告

分解、修理、改造をしないでください。
感電やケガの恐れがあります。

内部に水、金属、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。
火災や感電の原因となります。

引火性ガスや物質（ガソリン、ベンジン、シンナーなど）の近くで使用しないでください。
爆発や火災、火傷の原因となります。

プラグ先端の ⊕ と ⊖ をショートさせないでください。
火災や火傷、感電の原因となります。

落下や損傷により内部が露出したら、
① 露出した内部に絶対触れないでください。感電、火傷、ケガの恐れがあります。
② 感電 、火傷 、ケガに注意し、直ちに電源プラグをコンセントから抜いてください。
③ お買い上げ店またはオリンパスサービスステーションへ修理に出してください。

水に落としたり、内部に水や金属、燃えやすい異物が入ったら、
① 電源プラグをコンセントから抜いてください。
② お買い上げ店またはオリンパスサービスステーションへ修理に出してください。
そのまま使用すると火災や感電の危険があります。

万一、使用中に異常な音がする、異常に熱い、焦げ臭い、煙が出るなどの異常を感じたら、
① 火傷に注意しながら速やかに電源プラグをコンセントから抜いてください。
② お買い上げ店またはオリンパスサービスステーションへ修理に出してください。
放置すると火災や火傷の原因となります。

⚠ 注意

濡らしたり、濡れた手で触らないでください。
感電の原因となります。

表示の電源電圧以外で絶対使用しないでください。

電源プラグにほこりをつけたまま、コンセントに差し込まないでください。

電源プラグのコンセントへの差し込みが不完全なまま使用しないでください。

使用しない場合、電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源コードを傷つけないでください。
- コードを引っ張って電源プラグをコンセントから抜かないでください。
- コードの上に重いものをのせないでください。
- 熱器具にコードを近づけないでください。
- コードを無理に曲げたり、強く引っ張らないでください。
- 火災や感電の原因となります。

本機について

⚠ 警告

分解、修理、改造をしないでください。
感電やケガの恐れがあります。

車両（自転車、バイク、車など）の運転をしながら操作しないでください。
交通事故などの原因となります。

この製品を幼児、子供の手の届く範囲に放置しないでください。

幼児 、子供の近くで使用する場合、細心の注意を払い不用意に製品から離れないでください。幼児、子供には警告・注意の内容の理解ができません。また、加えて以下のような事故の恐れがあります。例えば：
ー 誤ってイヤホンコードを首に巻き付け、窒息する。
ー 操作を誤りケガや感電事故などを起こす。

水に落としたり、内部に水や金属、燃えやすい異物が入ったら、
① 速やかに電池を抜いてください。
② お買い上げ店またはオリンパスサービスステーションへ修理をご依頼ください。そのまま使用すると火災や感電の危険があります。

航空機内や病院など使用に制限のある場所でのご使用はお避けになるか、その場所の指示にしたがってください。

⚠ 注意

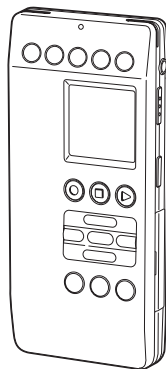
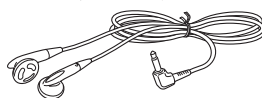
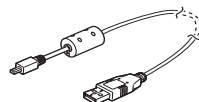
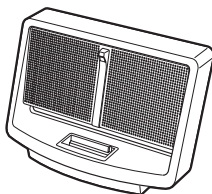
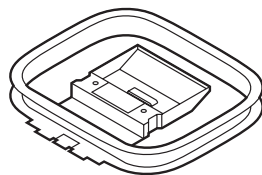
操作のまえから、音量を上げないでください。
聴覚障害、聴力低下を引き起こす恐れがあります。

お使いいただく前に

本書の見方

- 本書の中では、「microSD™ メモリーカード」、「microSDHC™ メモリーカード」を総称して「microSD カード」と表記しています。
- 本機は、各操作（一部を除く）を音声でご案内する「音声ガイド機能」を搭載しています。
  「音声ガイド /BEEP 音を設定する」（☞ P.118）
- 本書の表記中の録音残時間や各種設定の表示は、挿入している microSD カードの容量や録音状態によって異なることがあります。

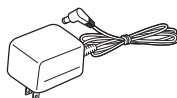
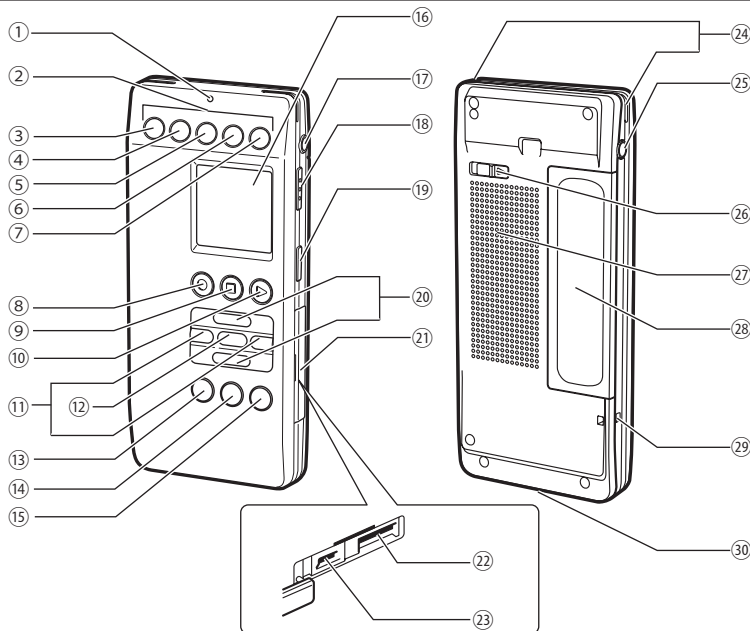
付属品を確認する

箱から出して、以下の付属品がそろっていることを確認してください。

インナーイヤー型
ステレオイヤホン

マルチクレードル

AM ループアンテナ

単三形エネループ
充電池（1 本）
取扱説明書（保証書付）
基本操作ガイド

クレードル用
AC アダプター

FM アンテナ

各部のなまえとはたらき

本体

① 録音 LED ランプ
録音中は赤く点灯し、本機が録音中の状態であることをお知らせします。

② ダイレクト選局ボタン（1 〜 5）
SD モード中：
それぞれのボタンごとに異なるはたらきをします。
ラジオモード中：
あらかじめプリセットしておいた放送局を呼び出します。また、お好みの放送局をプリセットすることもできます。

③ **A-B** ボタン（選局ボタン 1）
SD モード中：
再生中のファイルの一部分を繰り返し再生（A-B リピート）します。
ラジオモード中：
選局ボタン 1 としてはたらきます。

④ **聞直し**ボタン（選局ボタン 2）
SD モード中：
再生中のファイルを設定した秒数だけ戻って再生（聞直し再生）します。
ラジオモード中：
選局ボタン 2 としてはたらきます。

⑤ **インデックス**ボタン（選局ボタン 3）
SD モード中：
録音中、または再生中に、聞きたい場所の頭出しに便利なインデックスを付けることができます。
ラジオモード中：
選局ボタン 3 としてはたらきます。

⑥ **分割**ボタン（選局ボタン 4）
SD モード中：
1 つのファイルを 2 つに分割することができます。
ラジオモード中：
選局ボタン 4 としてはたらきます。

⑦ **消去**ボタン（選局ボタン 5）
SD モード中：
消去メニューを表示します。
ラジオモード中：
選局ボタン 5 としてはたらきます。

⑧ **録音**ボタン
録音を開始します。
録音中に押すと録音を一時停止します。もう一度押すと、一時停止を解除し、録音を再開します。

⑨ **停止 / もどる**ボタン
ファイルの録音や再生を停止します。
メニュー操作中は、一つ前の画面に戻ります。

⑩ **再生**ボタン
ファイルを再生します。
再生中に短押しすると、再生スピードが 70% → 150% → 100%（MP3）、70% → 120% → 100%（WMA）段階的に切り換わります。
再生中に長押しすると、音声フィルター再生されます。

⑪ ⏮ / ⏭（早戻し、早送り）ボタン
再生中に短押しすると、ファイルの頭出しをします。
再生中に長押しすると、再生中のファイルの早送り、早戻しをします。
停止中は、フォルダ内のファイルを選択します。
メニュー操作中やリスト画面操作中は一つ上（または下）の階層へ移動します。

⑫ **決定 / フォルダ選択**ボタン
メニュー操作中やリスト画面操作中は、選択した内容を決定して、次の画面に移ります。
SD モード中：
［**フォルダ選択**］画面を表示します。
ラジオモード中：
選局方法を切り換えます。

⑬ **予約**ボタン
［**タイマー予約設定**］画面を表示します。
MP3/WMA 再生中：
再生スピードを遅くします。

⑭ **FM/AM** ボタン
SD モード中：
ラジオモードに切り換わります。
MP3/WMA 再生中：
再生スピードを早くします。
ラジオモード中：
AM 放送と FM 放送を切り換えます。

⑮ **SD / リスト**ボタン
SD モード中：
リスト画面に切り換わります。
ラジオモード中：
SD モードに切り換わります。

⑯ 液晶パネル
本機の状態や様々な情報を表示します。
また、使用状況に応じて、パネルの明るさ（バックライト）やコントラストを調整することもできます。

⑰ マイク端子
外部マイク（別売）を使用して録音するときに、マイクを接続する端子です。

また、外部機器をこの端子に接続して、本機で録音することもできます。

⑱ **電源**ボタン
電源のオン / オフをおこないます。
電源オンのときは短押し、電源オフのときは長押しします。

⑲ **メニュー**ボタン
設定メニューを表示します。
再生中に押すと、再生メニューを表示します。
MUSIC（M）フォルダでリスト表示中に押すと、プレイリスト操作画面が表示されます。

⑳ 音量（**+** / **−**）ボタン
スピーカーやヘッドホンから出力される音量を調整します。
メニュー操作中やリスト画面操作中は、同じ階層内の項目やファイル（またはフォルダ）を選択します。

㉑ USB/microSD カードスロットカバー
カバーを開けると、USB 端子と microSD カードスロットがあります。
使用しないときは、カバーを閉じておいてください。

㉒ microSD カードスロット
録音や再生に使用する microSD カードを挿し込みます。

㉓ USB 端子
付属の USB ケーブルでパソコンと接続する端子です。

㉔ 内蔵ステレオマイク
本機のみで録音するときに使用するステレオマイクです。

㉕ ヘッドホン端子
ヘッドホンで音を聞くときに使用するステレオヘッドホン端子です。

㉖ ホールド /USB 充電スイッチ
誤作動を防止するためのスイッチです。
各ボタンを押しても機能しなくすることができます。
USB 接続後にスイッチを切り換えるとエネループの充電を開始します。

㉗ スピーカー
再生中の音声が出力されます。

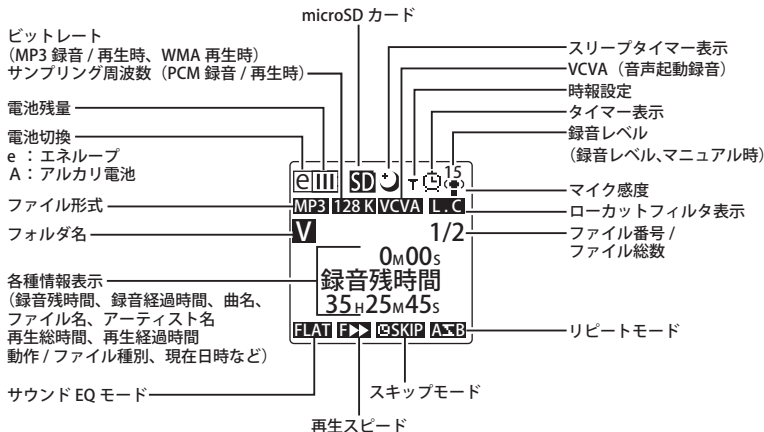
㉘ 電池カバー
電池を入れる、または交換するときに開けるふたです。

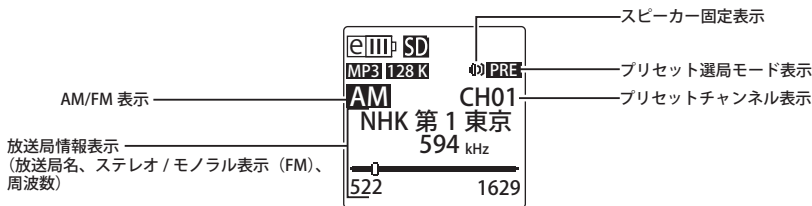
㉙ ストラップ穴
ストラップを取り付ける穴です。

㉚ I/O 端子
クレードルに接続する端子です。

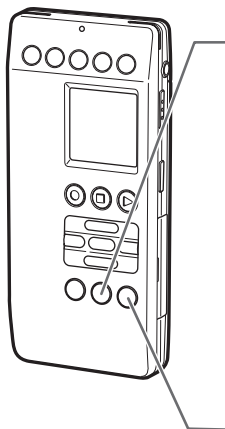
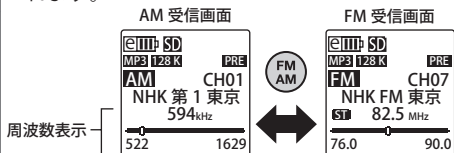
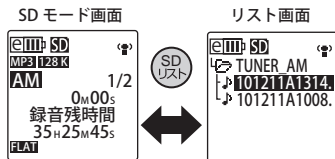
液晶パネル

SD モード画面

すべての画面を一度に表示することはできません。

ラジオモード画面

本機でラジオを受信中の画面です。

・液晶パネルのコントラストの調整をすることができます。
「画面のコントラストを調整する」（☞ P.122）

動作モードについて

本機は、ラジオを聞くときの「ラジオモード」とボイスレコーダーやミュージックプレイヤーとして使うときの「SD モード」を切り換えて使用します。

ファイル / フォルダについて

本機では、1回の録音単位を「ファイル」、そのファイルを入れておく場所を「フォルダ」と呼びます。「ファイル」は「フォルダ」に収容され、本機に挿入されている microSD カードに保存されます。

ファイルとは

1 回の録音操作（**録音**ボタンを押してから**停止** / もどるボタンを押すまで）を行うごとに、1 つの録音データが作成されます。この録音1回分のデータを「ファイル」と呼びます。本機で録音したファイルには自動的に任意の名前（ファイル名）がつき、10 回の録音を行うと 10 個の名前の違うファイルが作成されることになります。

ファイル名について

本機で録音したファイルには、以下のような構成で自動的に名前がつきます。

001_ 101220 A 1008.MP3
① ② ③ ④ ⑤

① **ファイル番号 *:**
録音するごとに、001、002、003…と順次ファイルが作成されていきます。
（本機では表示されません。パソコンでのみ表示されます。）

② **日付:**
ファイルを録音した日付です。
例 : 2010 年 12 月 20 日
101220

③ **録音内容:**
録音した内容によって変わります。
A: AM 録音、F: FM 録音、V: マイク録音

④ **周波数:**
AM 録音、FM 録音時のみ付けられます。

⑤ **拡張子※:**
ファイル形式です。MP3 録音した場合は MP3、PCM 録音した場合は WAV となります。

・ゴミ箱機能を使ってゴミ箱に移動したファイルは、ファイル名が変更されます。
「ゴミ箱機能について」（☞ P.93）

本機で録音した MP3 または WAV ファイルの名前をパソコンで変更すると、元のフォルダで再生できなくなります。上記のファイル名に沿ったファイル名に戻すか、MUSIC フォルダに移して再生してください。

※ 拡張子「.INX」ファイルはインデックス情報です。このファイルをパソコンで消去するとインデックス情報はなくなります。（☞ P.70）

フォルダとは

たくさんの録音を行うとファイルの数が多くなってくるので、あとから目的のファイルを探し出すのが大変です。そこで、録音する内容ごとにファイルを入れておく場所を分ければ、あとから必要なファイルを探し出すのに便利です。この、ファイルを入れておく場所を「フォルダ」と言います。
フォルダは、フォルダの中にさらにフォルダを作成し、細かく分類していくことができます。フォルダの中にフォルダを作ることを「階層」と呼び、階層が深くなっていく度に第1階層、第2階層…と言います。

本機のフォルダ構成について

本機では、以下のようにあらかじめいくつかのフォルダが用意されています。

TIMER フォルダ (T1 ～ T5)

タイマー予約録音用フォルダです。本機でタイマー予約録音した音声ファイルはここに保存されます。TIMER フォルダ内には T1 ～ T5 の 5 つのフォルダが用意されており、例えば T1 フォルダはラジオ講座用、T2 フォルダは FM エアチェック用といったように目的に応じて使い分ければ、後から録音したファイルを探すのに便利です。
「タイマー予約を設定する」(☞ P.79)

TUNER_AM フォルダ (AM)

AM ラジオ録音用フォルダです。本機で受信中の AM ラジオ放送を手動で録音した音声ファイルはここに保存されます。
「ラジオ放送を録音する」(☞ P.51)

TUNER_FM フォルダ (FM)

FM ラジオ録音用フォルダです。本機で受信中の FM ラジオ放送を手動で録音した音声ファイルはここに保存されます。
「ラジオ放送を録音する」(☞ P.51)

VOICE フォルダ (V)

マイク録音用フォルダです。会議や講義、楽器演奏など、本機でマイク録音した音声ファイルはここに保存されます
「会議など人の声を録音する」(☞ P.52)
「楽器や自然の音などを録音する」(☞ P.53)

MUSIC フォルダ (M)

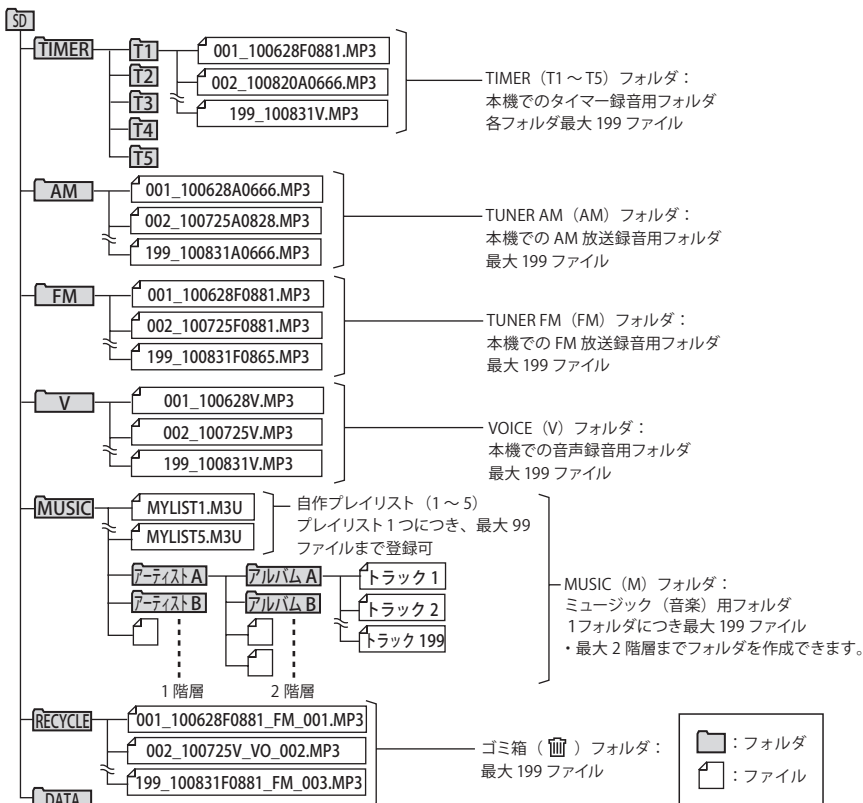
パソコンから MP3、WMA 形式および、本機で録音された WAV 形式のファイルを転送して再生するフォルダです。お手持ちの音楽 CD や語学 CD をパソコンに取り込み、本機で再生する場合はこのフォルダを利用します。但し、日本語及び英数字以外のファイル名のファイルは本機では再生できません。また、本機の録音操作で、このフォルダに録音することはできません。尚、パソコンを使えば MUSIC フォルダ内にさらに 2 階層まで任意のフォルダを作成することができます。
MUSIC フォルダには、あらかじめ 5 つのプレイリスト用ファイル (MYLIST1 ～ 5) が用意されています。MUSIC フォルダ内のファイルを各 MY LIST に登録することで、お好きな順番で再生することができます。
「Windows Media Player で音楽ファイルを転送する」(☞ P.139)
「プレイリスト機能」(☞ P.74)

RECYCLE フォルダ (🗑)

ゴミ箱フォルダです。ゴミ箱機能がオンの時、本機で消去したファイルがこのフォルダに移動されます。ゴミ箱フォルダ内のファイルは元に戻すことができますので、誤って消去した場合などでも安心です。
「ゴミ箱機能について」(☞ P.93)

DATA フォルダ

本機からは見えません。本機をパソコンに接続したときに見ることができます。
ワードやエクセルなどのファイルを入れて、本機を microSD カードリーダー / ライター (リムーバブルディスク) として使うためのフォルダです。
「microSD カードリーダー / ライターとして使用する」(☞ P.141)

フォルダ構成と最大ファイル数

・録音（録音→停止）するごとに、ファイルが 1.2.3. と順次作成されていきます。何度録音しても、上書きはされず、消去操作をしない限りファイルは消えません。
・ゴミ箱フォルダにファイルがたまると録音残時間が減りますので、定期的にゴミ箱を空にすることをおすすめします。（ゴミ箱の詳細については P.93 を参照してください。）

MUSIC フォルダの最大ファイル数について

MUSIC（M）フォルダの最大ファイル数（199 ファイル）には、サブフォルダやプレイリストファイルも含まれます。
例えば、MUSIC フォルダの直下には、あらかじめプレイリスト用ファイル（MYLIST1 ～ 5）が 5 つ用意されているので、収容可能なファイル数は、以下のようになります。

199（最大ファイル数）－ 5（MYLIST1 ～ 5）=194（収納可能なファイル数）

また、MUSIC フォルダの直下に、新しいフォルダを 10 個作った場合の収納可能なファイル数は、以下のようになります。

199（最大ファイル数）－ 5（MYLIST1 ～ 5）－ 10（サブフォルダの数）
=184（収納可能なファイル数）

ご注意

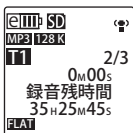
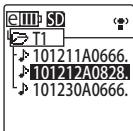
- プレイリストファイル、サブフォルダ、ファイルの合計が 199 を超えた場合、200 番目以降のファイルが本機で表示されず、本機で再生することができなくなります。最大 199 ファイルを超えないようにしてください。
- 最大 199 ファイルを超えると録音されなくなります。

リスト画面の操作

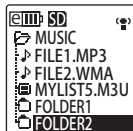
リスト画面は、microSD カード内のフォルダやファイルをツリー型の一覧で表示します。目的のフォルダやファイルをすばやく簡単に選ぶことができます。

リスト表示する

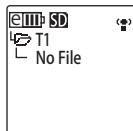
SD モード画面で **SD / リスト**ボタンを押すと、リスト画面に切り換わります。
リスト画面は、SD モード画面で選択していたファイルを最初に表示します。

SD モード画面（T1 フォルダ）

リスト画面（T1 フォルダ）

- 再生中や録音中は、リスト画面を表示できません。再生中に、**SD / リスト**ボタンを押すと、再生を停止してからリスト画面に切り換わります。
- ファイル名が画面に収まらない場合、カーソルを合わせたまま、しばらく待っているとスクロール表示します。
「ファイル名について」（☞ P.18）
- もう一度 **SD / リスト**ボタンを押すと、SD モード画面に戻ります。

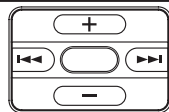
リスト画面に表示されるアイコンについて

MUSIC
FILE1.MP3
FILE2.WMA
MYLIST5.M3U
FOLDER1
FOLDER2

上図は例です

♪ : ファイル
▤ : プレイリストファイル
▢ : フォルダ

選択したフォルダにファイルがない場合

リスト画面で操作する

ファイルとフォルダの切り換え選択は音量（**+** / **−**）ボタン、⏮ / ⏭ボタンだけで行うことができます。

リスト表示中の各ボタンの機能

音量

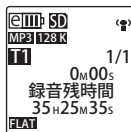
+	カーソルを上方向に移動します。
−	カーソルを下方向に移動します。
⏮	一つ上の階層に戻ります。
⏭	選択中のフォルダを開きます。
（決定）	選択中のフォルダを開きます。 ファイル選択時は、リスト画面を終了してSDモード画面を表示します。

録音	リスト画面を終了して録音を開始します。
停止	リスト画面を終了して SD モード画面に戻ります。
再生	選択中のフォルダまたはファイルの再生を開始します。 選択したフォルダにファイルがない場合は、[**再生するファイルがありません**] と表示してから SD モード画面に戻ります。

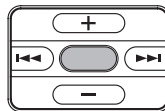
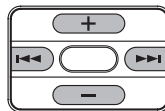
フォルダを切り換える

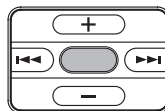
SD モード画面からフォルダを切り換える

1 電源を入れる

2 SD モード画面を表示する

- **SD / リスト**ボタンを押すごとに、SD モード画面⇔リスト画面が切り換わります。

3 決定ボタンを押す

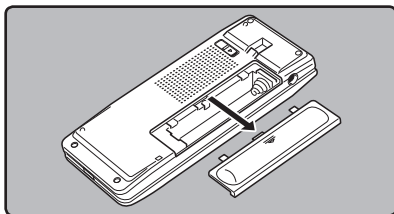
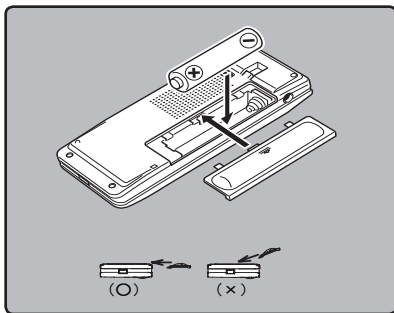
- [**フォルダ選択**] 画面が表示されます。

4 音量（**+ / −**）ボタン、**⏮ / ⏭**ボタンを押して、切り換えたいフォルダを選択する

5 決定ボタンを押す

- 選択したフォルダに切り換わり SD モード画面に戻ります。

1 お使いいただく前に

電池を入れる

付属のエネループ充電池を本機に入れます。

1 電池カバーをあける

・ 電池カバーを矢印の方向に横にすべらせるようにスライドさせてください。

2 エネループ充電池（付属）またはアルカリ乾電池を入れて、電池カバーを閉める

・ 電池の+、−の向きに注意して入れてください。
・ 電池を交換する際、5 分以内に新しい電池に交換しないと、カレンダー設定がクリアされたり、タイマー設定や時報設定の［**ON**］が［**OFF**］に変わったりすることがあります。この場合は、再度、カレンダー設定、タイマー設定、時報設定を行なってください。録音した内容やアラーム設定は消えません。

> **!** **電池カバーは横に滑らせるようにスライドさせて取り付けてください。斜めに差し込んで上から強く押し込むと、本機や電池カバーが破損することがあります。**

・本機に付属のエネループ充電池のほかに、市販のアルカリ乾電池を使うことができます。
・市販のアルカリ電池を使うときは、設定メニューの［**電池切換**］を［**アルカリ電池**］に設定してください。但し、エネループ充電池以外は充電できません。
「使用する電池の種類を切り換える」（☞ P.121）

エネループを充電する

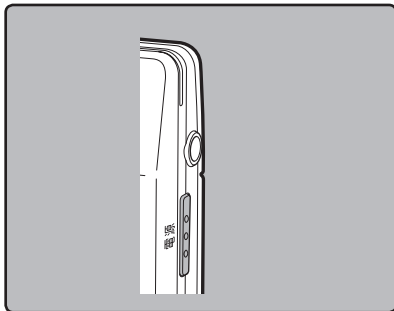
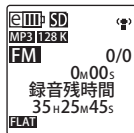
本機に付属のエネループは、本機に入れた状態でパソコンやクレードルで充電することができます。

・「パソコンまたは USB 対応 AC アダプターで充電する」（☞ P.129）
・「クレードルで充電する」（☞ P.35）

> **!** **充電時間は、使用状態、使用条件（環境温度等）によって、変わります。また、室温 35℃前後の環境下では、満充電できない場合がありますので、30℃以下の環境下での充電をお勧めします。**

電源を入れる / 切る

電源を入れる

電源ボタンを押す

・ 電源が入り、［**OLYMPUS**］と画面に表示された後、レジューム機能により前回電源を切る前に選ばれた動作モードが表示されます。
「動作モードについて」（☞ P.17）

・ SD モードでは、前回停止した位置から再生することができます。（再生レジューム機能）

電源を切る

電源ボタンを 2 秒以上長押しする

電源

・［**OLYMPUS**］が表示された後、電源が切れます。

電池の残量について

電池の残量は、画面で確認することができます。

・ □ が表示された場合は、新しい電池に交換するか、充電してください。
・ 電池が切れると、画面に［**電池切れです**］と表示された後、画面が消灯します。
・ 設定メニューの［**BEEP 音設定**］が［**音声ガイド**］または［**警告音**］に設定されている場合は、電池切れの際に「BEEP 音」または「音声ガイド」が鳴ります。
・ 周囲の温度や使用状態などにより、電池残量の表示状態が変わるため、残量表示はおおよその目安と考えてください。

レジューム機能について

電源が切れる前の本機の動作モード、ファイル、再生位置状態を記憶し、次回電源を入れたときに前回電源を切ったときの状態で起動する機能です。
ただし、以下のような場合には、レジューム機能ははたらきません。
- フォルダを切り換えたとき
- パソコンに接続したとき
- 電源オフ操作を行わずに、電池または microSD カードを抜いたとき
- 電源オン後に microSD カードを挿入したとき
- AC 動作モードで電源オフ操作を行わずに、本機と外部電源の接続をはずしたとき

※ボリューム設定については、安全上音量を下げる場合があります。

初めて電源を入れたときは

初めて本機の電源を入れたときは、カレンダーやお使いになる地域の設定を行ってください。

・「カレンダー（日時）を設定する」（☞ P.36）
・「お使いになる地域を設定する」（☞ P.38）

オートパワーオフ機能について

オートパワーオフ機能の設定により、電源が入った状態で約 15 分間放置すると自動的に電源が切れます。

・お買い上げ時はオートパワーオフ機能は「15 分」に設定されています。
・「オートパワーオフを設定する」（☞ P.121）

スリープタイマー機能について

スリープタイマーを設定すると、設定した時間が経過した後、自動的に電源を切ることができます。

・「スリープタイマーを使う」（☞ P.92）

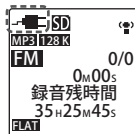
AC 動作モードで使用する（クレードル）

付属のクレードルに接続し、AC 動作モード（外部電源）で使用することができます。

1 **本機の電源を切った状態で、本機をクレードルに差し込む**

- 「クレードルを使う」（☞ P.34）
- エネループをご使用の場合は、充電が開始されます。

2 **本機をクレードルに接続した状態で本機の電源を入れる**

- AC 動作モード時は、電池切換の表示が に変わります。

- 本機でラジオ放送を受信したり、音声ファイルを再生したりすると、クレードルのスピーカーから音声が出力されます。

> **!** **本機を取り外すときは、電源ボタンを2秒以上長押しして本機の電源を切ってから取り外してください。**
>
> 電源

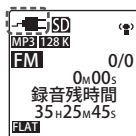
AC 動作モードで使用する（USB 電源）

クレードル以外の外部電源として、パソコンのUSB 端子からの電源供給または USB 対応 AC アダプター（別売：A514）がご利用可能です。

1 **付属の専用 USB 接続ケーブルをパソコンの USB 端子、または USB 対応 AC アダプター（別売：A514）に接続する**

・ USB 対応 AC アダプターは、コンセントに差し込んでください。

2 **本機の電源を切った状態で、再生ボタンを押しながら、専用 USB 接続ケーブルのもう一方を本機に接続する**

・「OLYMPUS」と表示され、電源が入ります。
・ AC 動作モード時は、電池切換の表示が に変わります。

・ 電源オンの状態で接続した場合は、AC 動作モードになりません。

AC 動作モードを終了するときは、電源ボタンを 2 秒以上押し、本機の電源を切ってから、本機を専用 USB 接続ケーブルから取り外してください。

電源

・必ず本機の電源を切ってから取り外してください。microSD カードにアクセス中は専用 USB 接続ケーブルを抜いたり、パソコンの電源を切ったりしないでください。ファイルが壊れる場合があります。
・もう一度電源をオンにするときは、一度本機を専用 USB 接続ケーブルから取り外し、再度手順 2 で電源をオンにしてください。

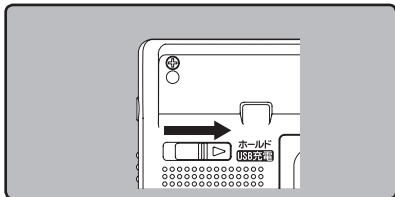
AC 動作モード（クレードル、USB 電源）で使用時のご注意

・AC 動作モードでの連続録音時間は 1 ファイルにつき最大 24 時間です。ただし、2GB 超えて連続録音することはできません。
「録音モードと録音可能時間」
（☞ P.159）
・USB 電源及び USB 対応 AC アダプターでのラジオの受信・録音は、外部ノイズの影響を受けやすいので、電池またはクレードルをお使いください。
・本機の使用中及び、不適切な使用や停電などにより生じた損害、逸失した利益が発生しても、補償に関しては、当社では一切の責任を負いかねます。予めご了承ください。
・USB 電源及び、USB 対応 AC アダプターによる AC 動作モードでの使用時は、タイマー設定した時刻になっても、タイマーは働きませんのでご注意ください。

誤動作を防止する（ホールド機能）

本機をカバンやポケットに入れたときなどに、物と接触しておこるボタンやスイッチなどの誤動作や、誤動作による電池の消耗を防ぎます。

・本機をカバンやポケットに入れているときは、誤動作防止のためホールド設定をすることをおすすめします。

ホールドスイッチをホールド側にスライドする

［**ホールド設定**］が表示され、各ボタンが機能しなくなります。

ホールドスイッチを戻すと、ホールド機能が解除されます。

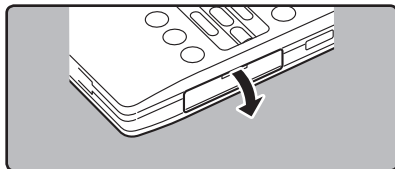
［**ホールド解除**］が表示され、各ボタンが機能します。

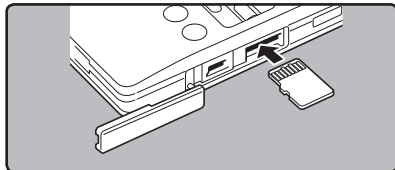
microSD カードを取り付ける / 取り外す

本機は、録音・再生に microSD カードを使用します。

1 本機の電源を切る

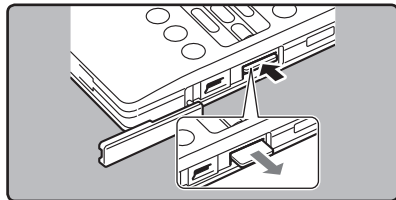
・「電源を切る」(☞ P.25)

2 microSD カードスロットのカバーを開ける

3 **取り付けるとき**
microSD カードスロットに、microSD カード（付属）を図の向きにまっすぐに差し込み、「カチッ」と音がするまで確実に押し込む

・ microSD カードを差し込む前に差込口を確認してまっすぐ差し込んでください。
・ 本機の電源を入れると、画面に SD が表示されます。

microSD カード表示

・ microSD カードを取り付けても認識しない場合は、いったん microSD カードを抜き、再度挿入し直してください。
・ microSD カードが入っていない、または microSD カードが正しく認識されていない状態で録音、再生などの操作を行おうとすると、[**SD カードを挿入して下さい**] と表示されます。

取り外すとき
microSD カードを軽く押し込む

・ microSD カードが少し飛び出すので、ゆっくりと引き抜いてください。

4 microSD カードスロットのカバーを閉じる

microSD カードについて

本機は、録音 / 再生用メモリーとして microSD カードを使用します。
本機で microSD カードを使うときは、microSD カードを初期化してください。

> **!** **初期化は必ず本機で行ってください。ほかの端末やパソコンで初期化した microSD カードは、使用できないことがあります。**
> ・「microSD カードを初期化する（初期化）」(☞ P.100)

本機で使用可能な microSD カード

本機は 512MB ～ 2GB の microSD カード、および 4GB、8GB の microSDHC カードに対応しております。

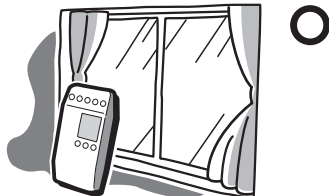
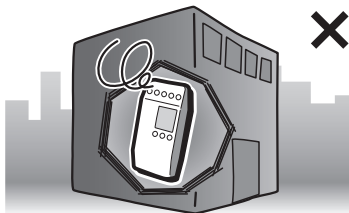
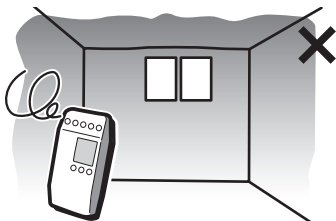
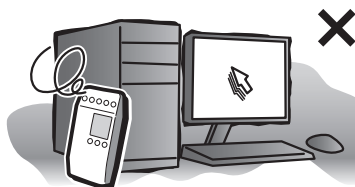
- microSD カード、microSDHC カードの製造メーカーや種類によっては本機で正しく動作しないものもあります。
- 当社基準において動作確認済の microSD カードについては、弊社 web サイトでご確認ください。
  httl://olympus-imaging.jp/
- ご利用の際は、必ず microSD カードに付属の取扱説明書を合わせてお読みください。
- microSD カードによっては本機との相性によって正しく認識しないことがあります。
- microSD カードの種類によっては処理速度が遅くなる場合があります。
  また、microSD カードは書き込みや削除を繰り返すことによって処理能力が落ちることがあります。
  この場合、microSD カードを初期化しなおしてください。
- 256MB 以下の microSD カードは利用できません。
- microSD カード全ての動作を保障するものではありません。

弊社 web サイト上の動作確認済みリストは、弊社が動作確認を行った microSD カードメーカーを紹介するものであり、弊社がお客様に microSD カードの動作保障をするものではありません。各カードメーカーの仕様変更などにより、対応できなくなる場合があります。あらかじめご了承ください。

microSD カードの取扱いについて

- microSD カードは、本機に正しく取り付けてください。正しく取り付けていないと本機での録音 / 再生ができません。
- microSD カードを取り出す際に、microSD カードを押した指をすぐにはなしたり、指ではじくようにして押し出すと、microSD カードが勢いよく飛び出すことがあります。
- microSD カードの取り付け / 取り外しの際に、必要以上に力を入れないでください。手や指をけがするおそれがあります。また、microSD カードおよび本機のカードスロットが破損するおそれがあります。
- microSD カードの端子面に触れたり、水に濡らしたり、汚したりしないでください。
- microSD カードを曲げたり、折ったり、重いものを載せたりしないでください。
- 当社基準において動作確認済の microSD カードをご使用ください。動作確認済以外の microSD カードを使用すると、データの消失や故障の原因となるおそれがあります。
- 本機の電源を入れたまま、microSD カードの抜き差しをしないでください。microSD カード内のデータが破損するおそれがあります。
- 挿入方向や microSD カードの表裏を間違うと奥まで挿入できません。
- micro SD カードは、サイズが小さいため抜き差し時の取り扱いには、充分ご注意ください。
- 静電気や電気的ノイズの発生しやすい場所での使用や保管は避けてください。
- microSD カードを腐食性の薬品の近くや腐食性ガスの発生する場所に置かないでください。故障、内部データ消失の原因となります。
- microSD カードを廃棄する場合、内部データが流出するおそれがありますので、内部データを消去するだけでなく物理的に microSD カードを破壊したうえで廃棄することをおすすめします。
- 挿入方向や microSD カードの表裏を間違うと microSD カード、および microSD カードスロットが破損するおそれがあります。
- microSD カードは、小さなお子様の手に届くところには絶対に置かないでください。誤って飲み込むおそれがあります。
- 電源オン時に microSD カードを認識しない場合、一度電源をオフにし、microSD カードを挿入し直してから、再度電源をオンにしてください。

本機の使用場所について

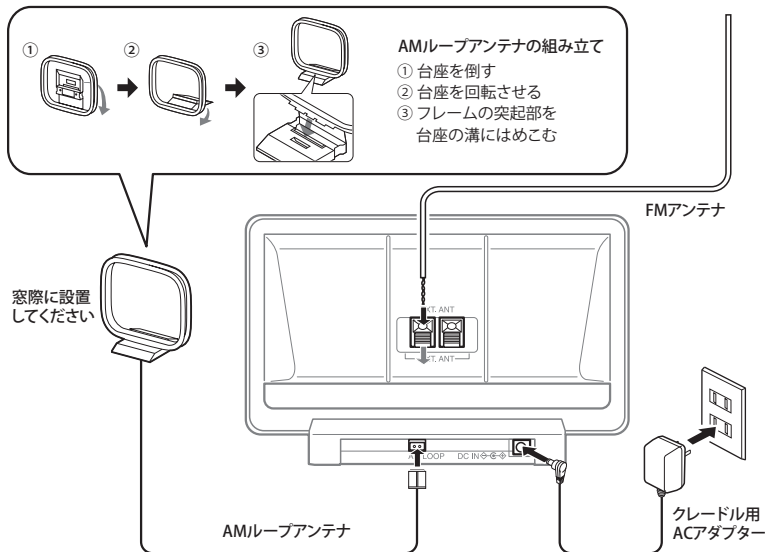
● 本機でラジオを受信する場合は、窓際などラジオの電波を受信しやすい場所でご使用してください。

● 窓から遠い部屋の中や、ビルの中は電波が届きにくいため、本機のご使用は避けてください。

● テレビやパソコンなどの家電製品の近くは、ノイズの影響を受けやすいため、本機のご使用は避けてください。

● 自動車やバイクの近くでは、ノイズが入る場合があります。自動車やバイクから離れた場所に移動してください。

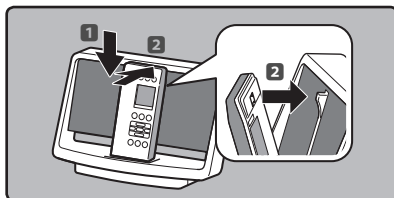
クレードルを使う

付属のクレードルに本機を接続すると、本機の充電や AC 駆動が可能です。また、接続時にはクレードルのスピーカーから大音量でラジオ放送や録音したファイルの再生ができます。

クレードルを設置する

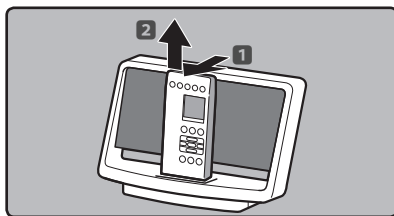
クレードルにアンテナや AC アダプターを接続し、クレードルを使用できる状態にします。

・クレードルは、安定した水平な場所に設置し、アンテナは、窓際などの電波の届きやすい場所に設置してください。

本機をクレードルにセットする

クレードルにセットする

1 本機の電源を切った状態で、本機をクレードルに差し込む

2 本機を矢印の方向に押す

・ カチッと音がして本機がクレードルにロックされます。

クレードルから取り外す

1 本機の電源を切った状態で本機を手前に引き、ロックを解除する

・ カチッと音がしてロックが解除されます。

2 本機をクレードルから抜く

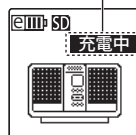
クレードルで充電する

本機の電源を切った状態でクレードルにセットする、または本機をクレードルにセットした状態で電源を切る

電源

・エネループ以外は充電できません。
「エネループを充電する」(☞ P129)

・録音 LED が点灯し、充電を開始します。

充電中表示

・充電が完了すると、録音 LED が消灯し、充電中表示が消えます。

カレンダー（日時）を設定する

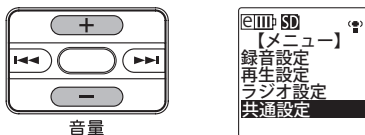
カレンダー設定は予約機能には必要となりますので必ず正確に設定してください。日付と時刻を設定しておくと、録音した日と時刻の情報がファイルごとに自動で記録されます。（タイムスタンプ機能）また、ファイル名に録音日の情報が入りますので大変便利です。
ここでは、カレンダーを「2010 年 12 月 20 日 24H 18 時 30 分」に設定する手順を説明します。

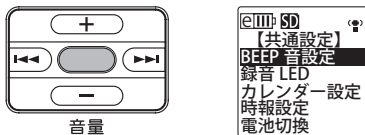
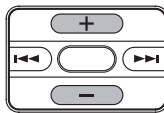
1 **本機の電源を入れる**

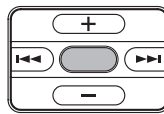
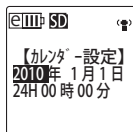
・「電源を入れる」(☞ P.25)

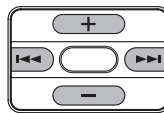
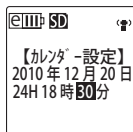
2 **メニューボタンを押す**

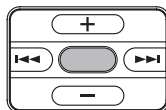
・［**メニュー**］画面が表示されます。

3 **音量（+ / −）ボタンを押して、［共通設定］を選択する**

4 **決定ボタンを押す**

・［**共通設定**］画面が表示されます。

5 **音量（+ / −）ボタンを押して、［カレンダー設定］を選択する**

6 **決定ボタンを押す**

・［**カレンダー設定**］画面が表示されます。

7 **カレンダー日時を設定する**

① ◀◀ / ▶▶ボタンを押して、西暦、月、日、24H/12H（AM/PM）、時、分を選択する
② 音量（+ / −）ボタンを押して、数値を変更する

8 **決定**ボタンを押す

・ カレンダーが設定され、[**共通設定**] 画面に戻ります。

9 **メニュー**ボタンを押してメニューを終了する

時刻自動補正機能（時報設定）について

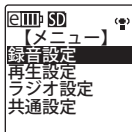
ラジオの時報情報を受信することにより、時刻を自動的に補正することができます。

・「時刻自動補正機能（時報設定）を設定する」(☞ P.119)

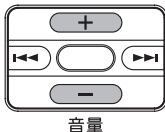
お使いになる地域を設定する

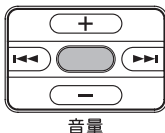
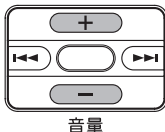
お使いになる地域を設定することで、設定した地域の放送局が登録されます。

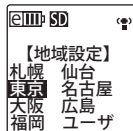
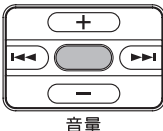
1 **本機の電源を入れる**

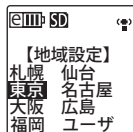
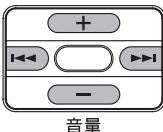
・「電源を入れる」(☞ P.25)

2 **メニューボタンを押す**

・［**メニュー**］画面が表示されます。

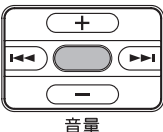
3 **音量（+ / −）ボタンを押して、［ラジオ設定］を選択する**

4 **決定ボタンを押す**

・［**ラジオ設定**］画面が表示されます。

5 **音量（+ / −）ボタンを押して、［地域設定］を選択する**

6 **決定ボタンを押す**

・［**地域設定**］画面が表示されます。

7 **音量（+ / −）ボタン、⏮ / ⏭ボタンを押して、お使いになる地域を選択する**

・例：ここでは［**東京**］を選択しています。

・「地域設定一覧」(☞ P.144)

8 **決定ボタンを押す**

・地域が設定され、［**ラジオ設定**］画面に戻ります。

9 **メニューボタンを押してメニューを終了する**

ユーザープリセットについて

［**地域設定**］画面で［**ユーザー**］を選択すると、お好みの放送局を登録し、呼び出すことができます。

・「オートプリセットを使う」(☞ P.116)
・「地域設定一覧」(☞ P.144)

表示情報を切り換える

SD モード画面で**停止 / もどる**ボタンを押すごとに、表示画面が以下の順番で切り換わります。
(例 : V フォルダの場合)

表示順	表示項目	再生対象ファイルがある場合	再生対象ファイルがない場合
1	録音残時間	MP3 128 K V 1/1 0M00S 録音残時間 35H25M35S FLAT	MP3 128 K V 0/0 0M00S 録音残時間 35H25M45S FLAT
2	現時刻	MP3 128K V 1/1 現時刻 10 年 12月20 日(月) 10 時 15 分 30 秒 FLAT	MP3 128K V 0/0 現時刻 10 年 12月20 日(月) 10 時 15 分 30 秒 FLAT
3	再生総時間	MP3 128K V 1/1 0M00S 再生総時間 2M41S FLAT	表示されません
4.	ファイル名	MP3 128K V 1/1 0M00S 101210V.MP3 FLAT	表示されません
5	録音日時	MP3 128K V 1/1 録音日時 10 年 12月20 日(月) 15 時 47 分 FLAT	表示されません

・MUSIC フォルダは、フォルダ内に再生対象ファイルがあっても［**録音日時**］は表示されません。また、録音残時間も表示されません。

液晶パネル画面のバックライトを設定する

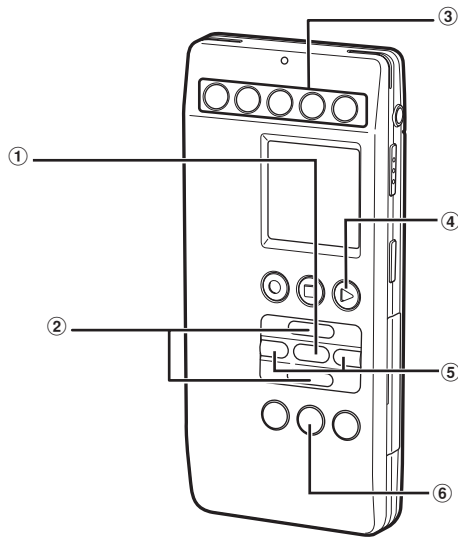
ボタンを押したときの画面のバックライトのON/OFF の設定を変更します。

・「画面のバックライトを設定する」（☞ P.121）

液晶パネル画面のコントラストを調整する

画面のコントラストを調整します。
調整は、10 段階で設定できます。

・「画面のコントラストを調整する」（☞ P.122）

ラジオの基本操作

① **決定**ボタン
周波数選局モードと手動選局モードを切り換えます。
長押しするとプリセット編集モードに切り換わります。

② 音量**+ / −**ボタン
ラジオの音量を調整します。
＋：音量が大きくなります。
−：音量が小さくなります。

③ 選局ボタン（1 ～ 5）
プリセットされている放送局を呼び出します。

④ **再生**ボタン
FM 方送受信中､FM モード（ステレオ／モノラル）を切り換えます。

⑤ ⏮ ⏭ボタン
プリセットチャンネルや周波数を切り換えて選局します。

⑥ **FM/AM** ボタン
ラジオモードに切り換えます。
ラジオ受信中は、AM ／ FM を切り換えます。

ラジオを聞く

本機で FM/AM 放送を受信します。

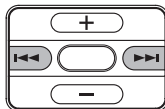
1 **本機の電源を入れる**

・「電源を入れる」(☞ P.25)

2 **FM/AM ボタンを押し、ラジオモード画面に切り換える**

ー 再生速度 ＋

・ ボタンを押すごとに、AM と FM が切り換わります。

3 **⏮ / ⏭ ボタンを押して、聞きたい放送局を選択する**

・ 聞きたい放送局が登録されていない場合は、手動で放送局を選局してください。
「自動選局 (オートスキャンチューニング) する」(☞ P.44)
「手動選局(マニュアルチューニング) する」(☞ P.45)

・ ラジオ音声をクレードルのスピーカーから大音量で聞くことができます。
「クレードルを使う」(☞ P.34)

ラジオ音声の出力先を設定する

ラジオ放送の音声を、ヘッドホン接続時もスピーカーから出力することができます。

・「音声の出力先を切り換える」(☞ P.116)

> **!** **ラジオの受信について**
>
> ・放送エリア内でもトンネルや地下道、ビルやマンションの内部や、これらの建物の影などでは電波が届きにくくなる場合があります。このような場所でのラジオ受信はできません。
> ・ラジオ受信をする場合、携帯電話、パソコンやテレビなど他の電気製品と同時に使用しないでください。ノイズが発生する恐れがあります。
>
> ● AM 放送
>
> ・AM アンテナは本機に内蔵されています。本機の向きによって受信状態が変わりますので、放送がもっともよく聞こえる向きに本機を向けてください。クレードルにセットしてお使いの場合は、クレードルのループアンテナの向きを、放送がもっともよく聞こえるように設置してください。
> ・AM ステレオ放送には対応していません。
> ・受信状態が悪い場合は、きれいに受信 / 録音できる場所へ移動してください。
> ・テレビの近くで聞いていると、テレビに色ずれが生じたり、本機にテレビの雑音が入ることがあります。本機をテレビから離してご使用ください。
> ・AM 放送を受信 / 録音するときは、画面表示を消すことによってノイズが軽減することがあります。
> 「AM 画面表示を切り換える」(☞ P.117)
>
> ● FM 放送
>
> ・ヘッドホンがアンテナの役目をするので、必ず付属のヘッドホンを本機のヘッドホン端子に接続してください。また、ヘッドホンのコードはできるだけ長く伸ばした状態でお使いください。ただし、クレードルをご使用の場合、クレードルに FM アンテナが取り付けられていれば、ヘッドホンを接続する必要はありません。
> ・テレビの近くで聞いていると、テレビに色ずれが生じたり、本機にテレビの雑音が入ることがあります。本機をテレビから離してご使用ください。
> ・FM 文字放送には対応していません。
> ・FM 放送受信時、受信状態によって雑音で聞こえにくい場合は、ラジオ設定メニューの［**FM モード**］の設定を［**モノラル**］に設定すると、受信状態に関わらず常にモノラル音声になるため、聞きやすくなる場合があります。
> 「FM モードを切り換える」(☞ P.117)

ラジオ放送の選局について

本機では、下記の方法で選局ができます。

プリセット選局モード

あらかじめ地域設定やオートプリセットなどを行なって登録した放送局を選局するときに使います。

・「お使いになる地域を設定する」(☞ P.38)
・「オートプリセットを使う」(☞ P.116)

周波数選局モード

周波数を切り換えながら、受信したい放送局を選局するときに使います。電波の強い放送局を自動で探し出す自動選局（オートスキャン)、手動で周波数を切り換える手動選局（マニュアルチューニング）2 通りの方法で選局することができます。

受信可能な放送局を自動で登録する（オートプリセット）

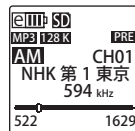
現在、本機で聞くことのできる電波の強い放送局を、FM/AM それぞれ受信して、メニュー設定［**地域設定**］の［**ユーザー**］にプリセットします。

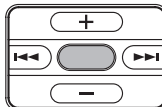
・「オートプリセットを使う」(☞ P.116)

登録されている放送局から選局する（プリセット選局）

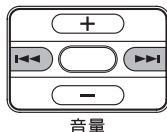
1 本機の電源を入れる

・「電源を入れる」(☞ P.25)

2 **FM/AM** ボタンを押して、AM 放送または FM 放送を選ぶ

・ボタンを押すごとに、AM と FM が切り換わります。

3 **決定**ボタンを押して、プリセット選局モードに切り換える

・ボタンを押すごとに、プリセット選局モード⇔周波数選局モードが切り換わります。
・プリセット選局モードに切り換えると画面に PRE とチャンネルが表示されます。

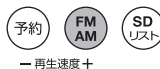
5
ラジオを使う

4 ⏮ / ⏭ボタンを押して、チャンネルを切り換える

・ ボタンを押すごとに、現在登録されている放送局（1CH ～ 20CH）が、順に切り換わります。
・ 登録されている放送局のチャンネル 1 ～ 5（CH01 ～ CH05）は、選局ボタン 1 ～ 5 でダイレクトに選局することができます。

自動選局（オートスキャンチューニング）する

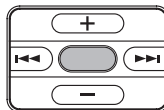
電波の強い放送局を自動で探し出します。

1 本機の電源を入れる

・「電源を入れる」（☞ P.25）

2 FM/AM ボタンを押して、AM 放送または FM 放送を選ぶ

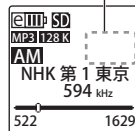
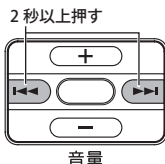
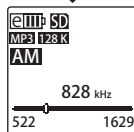
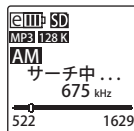
ー 再生速度 ＋

・ ボタンを押すごとに、AM と FM が切り換わります。

3 **決定**ボタンを押して、周波数選局モードに切り換える

・ ボタンを押すごとに、プリセット選局モード⇔周波数選局モードが切り換わります。
・ 周波数選局モードに切り換えると画面の PRE とチャンネルの表示が消えます。

表示が消える

5

ラジオを使う

4 ⏮ / ⏭ボタンを 2 秒以上押す

・画面に［**サーチ中…**］と表示され、周波数が自動的に進み（戻り）、放送を受信すると自動で停止します。

・電波が弱く受信状態がよくない場合は、自動で停止しません。
・周囲に妨害電波などがある場合は、妨害電波を受信して停止することがあります。
・本機をクレードルにセットした状態で AM 放送を受信した場合、妨害電波を受信して停止しやすくなりますので、クレードルにセットしない状態で操作してください。

手動選局（マニュアルチューニング）する

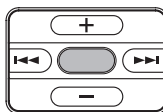
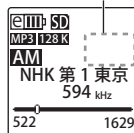
聞きたい放送局が登録されていない場合など、周波数を切り換えて選局します。

1 本機の電源を入れる

・「電源を入れる」（☞ P.25）

2 **FM/AM** ボタンを押して、AM 放送または FM 放送を選ぶ

・ボタンを押すごとに、AM と FM が切り換わります。

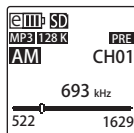
3 **決定**ボタンを押して、周波数選局モードに切り換える

・ボタンを押すごとに、プリセット選局モード⇔周波数選局モードが切り換わります。
・周波数選局モードに切り換えると画面のプリセット表示とチャンネルの表示が消えます。

4 ⏮/⏭ボタンをポンポンと１回づつ押す

・ AM 放送の場合
ボタンを押すごとに 9kHz ステップで周波数が進み（戻り）ます。
・ FM 放送の場合
ボタンを押すごとに 0.1MHz ステップで周波数が進み（戻り）ます。

放送局を登録 / 削除する

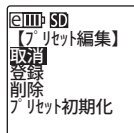
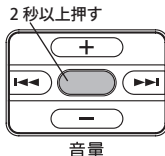
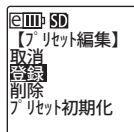
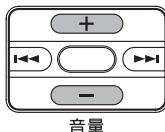
放送局を登録する

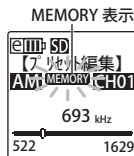
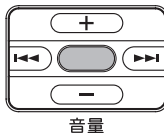
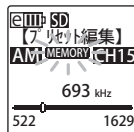
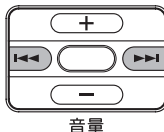
受信中の放送局をお好みのチャンネル（1CH ～ 20CH）に登録することができます。登録した放送局は、プリセット選局モードで選局することができます。

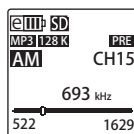
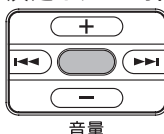
1 登録したい放送局を選局する

- 「登録されている放送局から選局する（プリセット選局）」（☞ P.43）
- 「自動選局（オートスキャンチューニング）する」（☞ P.44）
- 「手動選局(マニュアルチューニング) する」（☞ P.45）

2 **決定**ボタンを 2 秒以上押す

- ［**プリセット編集**］画面が表示されます。

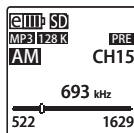
【プリセット編集】
取消
登録
削除
プリセット初期化

3 **音量**（**+** / **−**）ボタンを押して、［**登録**］を選択する

4 **決定**ボタンを押す

- ［**MEMORY**］が点滅し、チャンネルが表示されます。

5 **⏮** / **⏭**ボタンを押して、登録するチャンネル（CH01 ～ CH20）を選択する

- 登録を途中でやめる場合は、**停止 / もどる**ボタンを押してください。

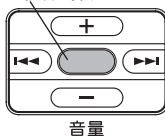
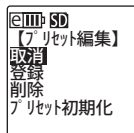
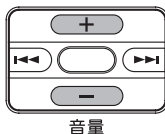
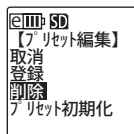
6 **決定**ボタンを押す

- チャンネルに放送局が登録されます。
- 以前にチャンネルに登録されていた放送局は、上書きされます。
- 本機では設定地域（地域 :7、ユーザー :1）ごとに、AM、FM それぞれ放送局を 20 局ずつ登録できます。
- 放送局をチャンネル 1 ～ 5（CH01 ～ CH05）に登録する場合は、選局ボタンで登録することもできます。手順 1 の後、選局ボタン（1 ～ 5）のいずれかを 2 秒以上押してください。“ピッ”と音が鳴り、放送局が登録されます。

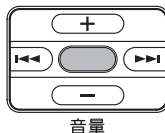
A-B ① 聞直し ② インデックス ③ 分割 ④ 消去 ⑤

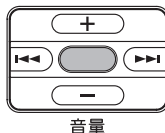
放送局を削除する

1 プリセット選局モードで、削除したい放送局を選局する

・「登録されている放送局から選局する（プリセット選局）」（☞ P.43）

2 決定ボタンを 2 秒以上押す

・［**プリセット編集**］画面が表示されます。

3 音量（**+ / −**）ボタンを押して、［**削除**］を選択する

4 決定ボタンを押す

・［**DELETE**］が点滅します。

5 決定ボタンを押す

・選択した放送局が削除され、削除した次のチャンネルの放送局を受信します。（次の放送局がない場合は、CH01 に戻ります。）

プリセットを初期化する

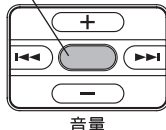
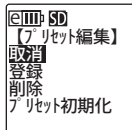
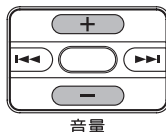
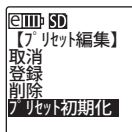
変更や登録の追加、削除などを加えた [**地域設定**] の設定をもとの状態に戻します。

1 初期化したい地域設定を選択する

・「お使いになる地域を設定する」(☞ P.38)

2 **FM/AM** ボタンを押して、ラジオモードに切り換える

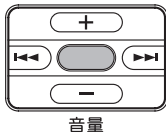
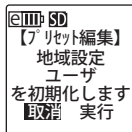
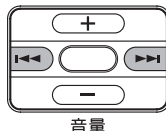
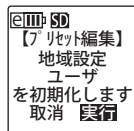
3 **決定**ボタンを 2 秒以上押す

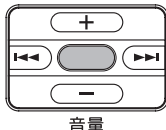
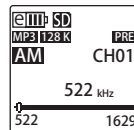
・ [**プリセット編集**] 画面が表示されます。

4 音量 (**+** / **−**) ボタンを押して [**プリセット初期化**] を選択する

5 **決定**ボタンを押す

・ 地域設定初期化画面が表示されます。
・ ここでは地域設定 [**ユーザ**] を選択しています。

SD
【プリセット編集】
地域設定
ユーザ
を初期化します
取消 実行

6 ⏮ / ⏭ ボタンを押して [**実行**] を選択する

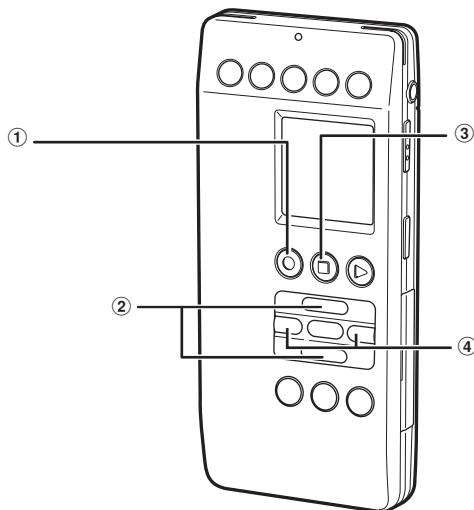
SD
【プリセット編集】
地域設定
ユーザ
を初期化します
取消 実行

7 **決定**ボタンを押す

・ 地域設定が初期化され、チャンネル 01 の放送局を受信します。

プリセットの初期化は、地域ごとに行ってください。全ての地域を一度に初期化する場合は、メニューの初期化を行ってください。

・「メニューを初期化する」(☞ P.123)

5

ラジオを使う

録音の基本操作

① **録音**ボタン
録音を開始します。
もう一度押すと、録音を一時停止します。

② **音量+ / ー**ボタン
録音モニター中の音量を調整します。
＋：音量が大きくなります。
ー：音量が小さくなります。

③ **停止 / もどる**ボタン
録音を停止します。/1 つ前の操作画面に戻ります。

④ ◀◀ ▶▶ボタン
録音レベルを調整します。（録音レベルがマニュアルのとき）

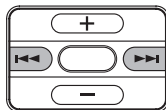
・本機をクレードルにセットした状態、あるいは AC 動作モードでの使用時で録音を開始した場合、本機をクレードルから取り外したり、USB 接続ケーブルを抜いたりしないでください。本機に電池がない状態や電池の残量が少ない状態でクレードルや USB 対応 AC アダプターから取り外すと、電源が切れ microSD カード内のデータが壊れる可能性があります。

ラジオ放送を録音する

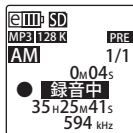
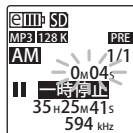
本機で受信したラジオ放送を、microSD カードに録音します。

1 本機の電源を入れる

- 「電源を入れる」(☞ P.25)

2 録音したい放送局を選択する

- 「登録されている放送局から選局する (プリセット選局)」(☞ P.43)
- 「自動選局 (オートスキャンチューニング) する」(☞ P.44)
- 「手動選局(マニュアルチューニング) する」(☞ P.45)

3 録音ボタンを押す

- 録音 LED が点灯し、受信中のラジオ音声の録音を開始します。

- 録音中は、画面のバックライトが常時オフになります。
- AM 放送を録音した音声は TUNER_AM フォルダに、FM 放送を録音した音声は TUNER_FM フォルダに、録音ファイルが保存されます。
- 録音中は放送局の変更はできません。
- 録音中に**録音**ボタンを押すと、録音を一時停止します。もう一度押すと、録音を再開します。

- 録音中に**インデックス**ボタンを押すと、インデックスをつけることができます。
「インデックスを付ける」(☞ P.70)
- 録音中、ヘッドホンまたはスピーカーから、録音している音声をモニターすることができます。音量は音量 (**+** / **−**) ボタンで調整できます。
「音声の出力先を切り換える」(☞ P.116)

4 停止 / もどるボタンを押す

- 録音 LED が消灯し、録音を終了してラジオ放送受信画面に戻ります。

ラジオ録音時の録音モードについて

サンプリング周波数は、ノイズの影響を避けるため、放送局によって自動的に切り換わります(32/44.1/48/kHz のいずれか)。ただし、ラジオ録音時の録音モードは、MP3:128 kbps に固定されています。

> **!**
>
> ・FM 放送録音時にノイズが多いときは、FM モードを［**モノラル**］に切り換えてください。
> 受信環境によっては、録音中ラジオ放送にノイズが入る場合があります。また、電波の弱い場所では、耳でラジオ放送を聞いているときにはきれいに聞こえていても、録音するとノイズを拾ってしまうことがあるため、実際に試し録音を行い、もし電波が弱くノイズが入るようであれば、場所を移動するなどして、きれいに録音できる場所で録音してください。
> 「FM モードを切り換える」（☞ P.117）
>
> ・AM 放送録音時にノイズが多いときは、AM 画面表示を［**OFF**］に切り換えてください。
> 「AM 画面表示を切り換える」（☞ P.117）

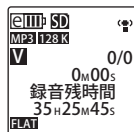
マイク録音する

会議など人の声を録音する

会議や講義など、人の声を microSD カードにマイク録音します。

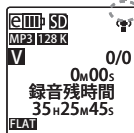
1 本機の電源を入れる

・「電源を入れる」（☞ P.25）

2 SD モード画面（またはリスト画面）を表示する

・**SD / リスト**ボタンを押すごとに、SD モード画面⇔リスト画面が切り換わります。

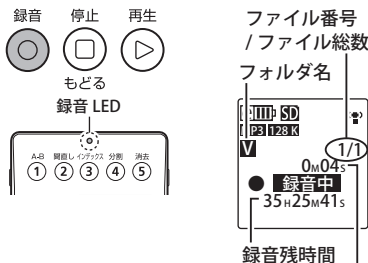
3 ［録音レベル］を［オート］に設定する

・お買い上げ時は、［**録音レベル**］は［**オート**］に設定されています。
・画面右上に数字が表示されていないことを確認してください。数字が表示されている場合は、［**録音レベル**］が［**マニュアル**］に設定されていますので、［**オート**］に設定してください。

数字が表示されていないことを確認

	録音レベル オート	録音レベル マニュアル
アイコン		15

・「録音レベルを切り換える」（☞ P.106）

4 録音ボタンを押す

- 録音 LED が点灯し、マイク録音を開始します。

- 録音中は、本機をさわったり、動かしたりしないでください。接触音が録音されます。
- マイク録音した音声は、VOICE（V）フォルダに録音ファイルが保存されます。
- 録音中に**録音**ボタンを押すと、録音を一時停止します。もう一度押すと、録音を再開します。

- 録音中に**インデックス**ボタンを押すと、インデックスをつけることができます。「インデックスを付ける」（☞ P.70）
- 録音中、ヘッドホンから、録音している音声をモニターすることができます。音量は音量（**+** / **−**）ボタンで調整できます。

5 停止 / もどるボタンを押す

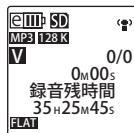
- 録音 LED が消灯し、録音を終了して SD モード画面に戻ります。

楽器や自然の音などを録音する

楽器演奏などを、本機の内蔵マイクで microSD カードに録音します。
録音する内容や音の大きさに合わせて、手動で録音レベルを調節して録音します。

1 本機の電源を入れる

- 「電源を入れる」（☞ P.25）

2 SD モード画面（またはリスト画面）を表示する

- **SD / リスト**ボタンを押すごとに、SD モード画面⇔リスト画面が切り換わります。

3 ［録音レベル］を［マニュアル］に設定する

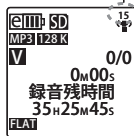
- 「録音レベルを切り換える」（☞ P.106）
- お買い上げ時は、［**録音レベル**］は［**オート**］に設定されています。
- ［**録音レベル**］の設定を変更すると画面に表示されるアイコンが変わります。

	録音レベル オート	録音レベル マニュアル
アイコン	((🎙))	15 ((🎙))

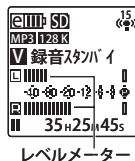
（お買い上げ時の設定：15）

- 画面右上に数字が表示されていない場合は、［**録音レベル**］が［**オート**］に設定されていますので、［**マニュアル**］に設定してください。

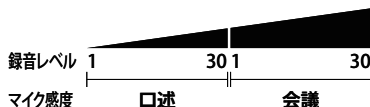
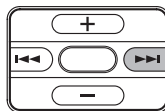
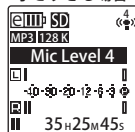
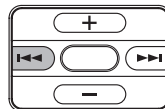
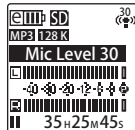
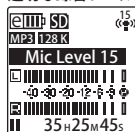
数字が表示されていることを確認

6 録音する

4 **録音ボタンを押す**
［**録音スタンバイ**］画面が表示されます。

・この状態ではまだ録音を行っていません。

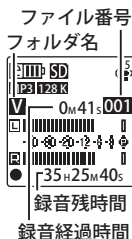
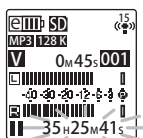
5 **楽器演奏などを録音する場合は、マイクに向かって実際に録音する音を鳴らす**

・ レベルメーターが左右に振れます。レベルメーターが右に振れるほど、大きな音で集音していることを表します。

6 **⏮ / ⏭ボタンを押して、録音レベルを調整する**

・ ボタンを押すと録音レベル表示が 0 から 30 の範囲で調整できます。録音レベルはマイク感度ごとに設定できます。録音レベル 0 の場合は無音が録音されます。

・ 録音 LED が点灯しない範囲で、できるだけ大きく集音する（レベルメーターが右に振れる）ように⏭ボタンを押して録音レベルを上げてください。

・ 録音 LED が点灯した場合は、録音 LED が消えるところまで⏮ボタンを押して録音レベルを少し下げてください。

・ 録音レベルを 1 まで下げても録音 LED が点灯する場合は、マイク感度を［**口述**］に設定してください。
・ 録音レベルを 30 まで上げてもレベルメーターが適切な録音レベルに達しない場合は、マイク感度を［**会議**］」に設定してください。
・ 適切な録音レベルは、録音したい音が最も大きくなった場合でも、レベルメーターが右に振り切れることなく録音 LED が点灯しない状態です。

※ メニュー設定で、録音 LED が［**OFF**］に設定されている場合は、録音 LED は点灯しません。
「録音 LED を設定する」（☞ P.118）

6 録音する

7 **録音**ボタンを押す

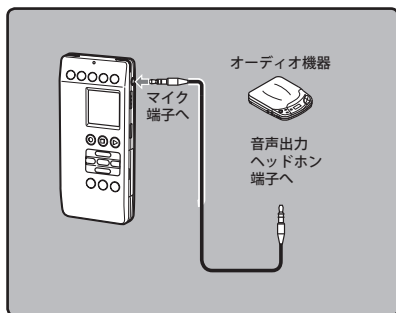
・ 録音 LED が点灯し、録音を開始します。

・ 録音中は、本機をさわったり、動かしたりしないでください。接触音が録音されます。
・ 録音中に**録音**ボタンを押すと、録音を一時停止します。もう一度押すと、録音を再開します。

・ 録音中に**インデックス**ボタンを押すと、インデックスをつけることができます。「インデックスを付ける」（☞ P.70）
・ 録音中、ヘッドホンから、録音している音声をモニターすることができます。音量は音量（**+** / **−**）ボタンで調整できます。
・ ハウリングをおこしますので、録音中はイヤホンをマイクに近づけないでください。
・ マイク録音した場合は、VOICE（V）フォルダに録音ファイルが保存されます。

8 **停止 / もどる**ボタンを押す

・ 録音 LED が消灯し、録音を終了して SD モード画面に戻ります。

外部機器から録音する

外部機器と接続して、それらの音楽などを録音することができます。

1 本機のマイク端子と外部機器の音声出力端子をつなぐ

・ 別売品：コネクティングコード「KA334」を使用してください。

6

録音する

2 外部音源を再生し、本機の**録音**ボタンを押して録音を始める

- VOICE（V）フォルダに録音されます。
- ［**録音レベル**］を［**マニュアル**］に設定し、録音レベルを調整して録音することをおすすめします。
- 本機の感度を［**口述**］にし、外部音源の音量を大きくして録音することをおすすめします。
  「楽器や自然の音などを録音する」（☞ P.53）
  「録音レベルを切り換える」（☞ P.106）
- 録音を始める前に事前に試し録音を行い、外部機器で録音の調整を行ってください。音量が大きすぎると、音割れの原因になります。

3 **停止 / もどる**ボタンを押して録音を停止し、外部機器の再生を停止する。

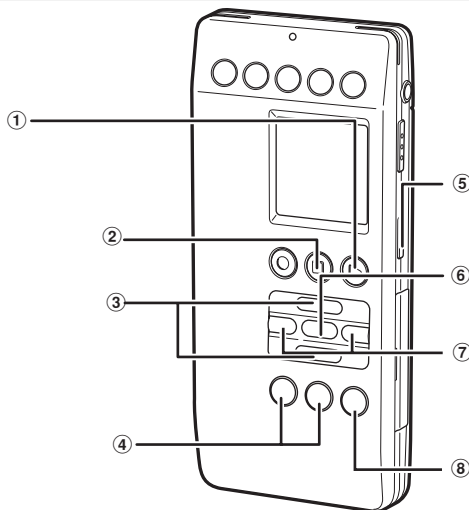
- ［ファイルが一杯です］と表示された場合、これ以上録音できません。フォルダを変更するか、不要なファイルを消去してから録音してください。
- ［容量が一杯です］と表示された場合は microSD カードの空き容量がありません。不要なファイルを消去してから録音をしてください。ゴミ箱機能設定が [ON] の場合はゴミ箱内のファイルも消去してください。(☞ P.93)

録音シーンごとの設定の目安

マイク録音に関する各種設定をおこなうことで、録音状況に応じた最適な音質を得ることができます。各設定について、詳しくは下記ページを参照してください。

<table>
<tr><th></th><th>音楽演奏
録音</th><th>動物の声や
環境音など</th><th>大人数での
会議・セミナー</th><th>少人数での会議・
お稽古ごと</th><th>ボイスメモ、
口元での録音</th></tr>
<tr><td>録音モード
☞ P.106</td><td colspan="5">音質を優先するか録音時間を優先するかによって、目的に合った録音モードを選んでください。</td></tr>
<tr><td>録音レベル
☞ P.106</td><td colspan="2">［マニュアル］</td><td colspan="3">［オート］</td></tr>
<tr><td>録音レベル
☞ P.52</td><td colspan="5">［録音レベル］を［マニュアル］に設定した場合は、録音レベルを手動で調整できます。
［録音レベル］を［オート］に設定した場合は、録音レベルが自動で調整されます。</td></tr>
<tr><td>マイク感度
☞ P.107</td><td>［口述］</td><td colspan="3">［会議］</td><td>［口述］</td></tr>
<tr><td>ローカットフィルタ
☞ P.109</td><td colspan="2">［OFF］</td><td colspan="3">［ON］</td></tr>
<tr><td>ステレオワイド
☞ P.109</td><td colspan="5">ステレオワイド機能を使用することにより、
ステレオ感が強調されたより広がりのある音で録音できます。</td></tr>
<tr><td>セルフタイマー録音
☞ P.110</td><td colspan="5">録音ボタンを押してから録音を開始するまでの時間を設定できます。
楽器演奏の録音など、準備が必要な場合に便利に使えます。
また、録音開始時に本機の操作音が録音されることも回避することができます。</td></tr>
</table>

・上記は、あくまで目安です。
・録音する際は、必ずあらかじめ確認してから録音してください。

再生の基本操作

① **再生**ボタン
再生を開始します。
再生中に押すと、再生速度が 3 段階に切り換わります。

② **停止 / もどる**ボタン
再生を停止します。/1 つ前の操作画面に戻ります。

③ **音量+ / ー**ボタン
再生中の音量を調整します。
＋ : 音量が大きくなります。
ー : 音量が小さくなります。

④ 予約・**FM/AM** ボタン
再生中に押すと、細かくスピードを切り換えることができます。

⑤ **メニュー**ボタン
再生中に押すと、再生メニューを表示します。

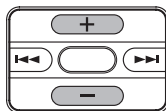
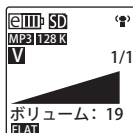
⑥ **決定**ボタン
停止中に押すと、フォルダ選択画面を表示します。

⑦ ⏮ ⏭ボタン
ファイルの早送り / 早戻しやファイルの頭出しができます。

⑧ **SD / リスト**ボタン
リスト画面と SD モード画面を切り換えます。

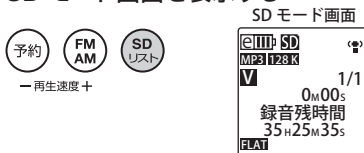
ファイルを再生する

音量を調節する

音量（**+** / **−**）ボタンを押して、聞きやすい音量に調節してください。
音量は 21 段階（0 ～ 20）で表示されます。

本機で録音したファイルを再生します。

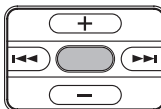
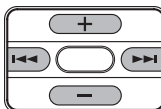
1 本機の電源を入れる

- 「電源を入れる」（☞ P.25）

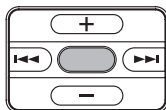
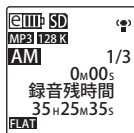
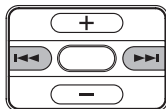
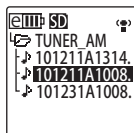
2 SD モード画面を表示する

SD モード画面

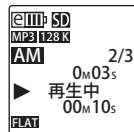
- **SD / リスト**ボタンを押すごとに、SD モード画面⇔リスト画面が切り換わります。

3 **決定**ボタンを押す

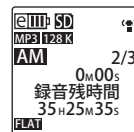
- ［**フォルダ選択**］画面が表示されます。

4 音量（**+** / **−**）ボタン、⏮ / ⏭ボタンを押し、再生したいファイルのあるフォルダを選択する

- 図は、AM フォルダを選択した場合です。
- T1 ～ T5: タイマー録音したファイルのフォルダ
- AM: AM 放送を録音したファイルのフォルダ
- FM: FM 放送を録音したファイルのフォルダ
- V: マイク録音したファイルのフォルダ
- M: パソコンから取り込んだファイルのフォルダ
- 🗑: ゴミ箱

5 決定ボタンを押す

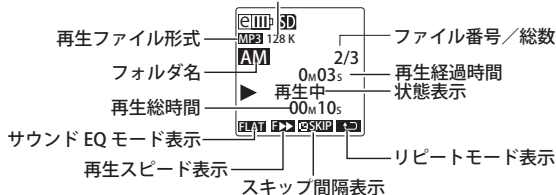
・ SD モード画面に戻り、左上に選択したフォルダ名（AM）が表示されます。

6 ⏮ / ⏭ボタンを押して、再生するファイルを選択する

・ フォルダ内にたくさんのファイルがある場合は、**SD / リスト**ボタンを押し、リスト画面に切り換えてファイルを選択すると便利です。
「リスト画面の操作」（☞ P.22）

7 再生ボタンを押す

・ ファイルが再生されます。

・ 選択したファイルの再生が終わると、そのまま次のファイルを再生します。

8 停止 / もどるボタンを押す

・ 再生を停止し、SD モード画面に戻ります。

再生中の画面表示

再生中の液晶画面の表示は、再生するフォルダにより異なります。
すべての画面を一度に表示することはできません。

● T1 ～T5、TUNER AM（AM）、TUNER FM（FM）、VOICE（V）フォルダ

● MUSIC（M）フォルダ

・ファイルによっては、再生経過時間と実際の経過時間が異なる場合があります。
・ファイルによっては登録されたアーティスト名や曲名などが表示されないことがあります。
・再生中、長い曲ファイル名はスクロール表示します。

データやファイルを早送り / 早戻しするには

早送り / 早戻しするには

再生中、▶▶|を押し続けると早送りします。|◀◀を押し続けると早戻しします。
ボタンを離すとその位置から再生を開始します。
・フォルダをまたがっての「早送り / 早戻し」はできません。

ファイルの頭出し（ファイル送り / ファイル戻し）をするには

再生中＊または停止中に▶▶|をポンと 1 回押すごとにファイル送りします。
|◀◀をポンと 1 回押すごとにファイル戻しします。

インデックス送り / インデックス戻しするには

インデックスを付けたファイルの再生中＊に▶▶|をポンと 1 回押すごとに次のインデックスに送ります。|◀◀をポンと 1 回押すごとに前のインデックスに戻ります。
・「インデックスを付ける」（☞ P.70）

スキップ（送り / 戻し）するには

スキップ間隔機能を設定した状態で、再生中に|◀◀または▶▶|をポンと 1 回押すごとに、設定された時間の間隔だけスキップします。
「スキップ間隔を設定する」（☞ P.112）
・設定したスキップ間隔より近い位置に、ファイルの頭出し位置やインデックスマークがある場合は、その位置にスキップします。
・スキップ間隔設定中に、ファイル送り / 戻しするには、一度ファイルの再生を停止してから|◀◀または▶▶|をポンと一回押します。

＊ スキップ間隔設定時は、スキップ間隔機能がはたらきます。

再生に関する機能と設定

本機は、語学学習や会議録音の再生などに効果的に使える様々な機能を搭載しています。詳しくは、下記ページを参照してください。

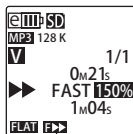
機能	効果	設定内容
早聞き / 遅聞き (☞ P.64)	再生スピードを早くしたり、遅くしたりすることができます。 聞き取りにくい音声は遅く、早く聞きたい場合は早くすることで、便利に使うことができます。 (PCM 録音ファイルは早聞き / 遅聞き機能は使えません。)	MP3: 50 ～ 200% WMA: 50 ～ 120%
A-B リピート (☞ P.65)	再生中のファイルの一部分(A 点と B 点)を指定し、繰返し聞くことができます。	–
聞直し再生 (☞ P.66、112)	再生中のファイルを設定した秒数だけ戻して再生する機能です。 音楽の短いフレーズや、語学学習などで聞き逃した場合にワンボタンで戻ることができます。	5、10、15 秒
スキップ間隔 (☞ P.112)	再生中のファイルをあらかじめ設定した時間だけスキップし、再生することができます。	OFF、30 秒、1 分、10 分、30 分
音声フィルター (☞ P.66)	再生時に雑音やノイズがある場合、音声フィルター機能を使用することで音声が聞き取りやすくなる場合があります。	ON、OFF
リピートモード (☞ P.111)	ファイルのリピートモードを設定することができます。	OFF、ONE、ALL、RANDOM
サウンド EQ (☞ P.113)	お好みの音質で再生することができます。	FLAT、BASS1、BASS2、POP、ROCK、JAZZ、USER
インデックス機能 (☞ P.70)	インデックスマークをつけることで、後で聞くときに素早く頭出しができます。 (ミュージック / ゴミ箱フォルダでは使用できません。)	–

早聞き / 遅聞き機能

語学学習や楽器演奏での聞き取りにくい箇所は再生スピードを遅く、会議の内容は早くといったように、必要に応じて再生スピードを調節して聞くことができます。音声はデジタルで自動調節され、音程が変わることなく聞くことができます。再生スピードの設定は、あらかじめ設定された間隔でスピードを切り換える方法と、再生スピードを細かく設定する方法の 2 つの方法があります。（PCM 録音ファイルは早聞き / 遅聞き機能は使えません。）

1. 設定された間隔でスピードを切り換える

再生中に再生ボタンを押す

録音　停止　再生

再生スピード表示（FAST）

- 押すごとに再生スピードが［**NORMAL**］⇒［**SLOW**］⇒［**FAST**］⇒［**NORMAL**］の順に切り換わります。
- 再生スピードを変更すると画面にアイコン表示されます。
- 再生スピードは、ファイル形式によって以下のように切り換わります。

	NORMAL	SLOW	FAST
アイコン	なし	S▶	F▶▶
MP3	100%	70%	150%
WMA	100%	70%	120%

- 再生スピードを切り換えることができるのは、MP3 と WMA 形式のファイルのみです。PCM（WAV）ファイルは再生スピードを切り換えることはできません。
- ファイルによっては、再生スピードを切り換えると正常に再生されない場合があります。

2. 再生スピードを細かく設定する

再生スピードを遅くしたいときは、再生中に、予約ボタンを押す

ー 再生速度＋

- ボタンを押すごとに再生スピードが遅くなります。

再生スピードを早くしたいときは、再生中に、FM/AM ボタンを押す

ー 再生速度＋

- ボタンを押すごとに再生スピードが早くなります。

- ［**SLOW**］再生は 5%ごとに、［**FAST**］再生は 10% ごとに段階的に再生スピードを切り換えることができます。

	NORMAL	SLOW	FAST
アイコン	なし	S▶	F▶▶
MP3	100%	50%から 100% までは 5% ごと	100% から 200%までは 10% ごと
WMA	100%	50%から 100% までは 5% ごと	100% から 120%までは 10% ごと

A-B リピート（部分リピート）再生

再生中のファイルの一部分（A 点から B 点まで）を指定し、繰り返し再生することができます。

1 A-B リピートを行うファイルを再生する

・「ファイルを再生する」（☞ P.59）

2 A-B リピート再生の開始位置で A-B ボタンを押す

・ 開始位置表示が点灯します。

開始位置表示

3 A-B リピート再生の終了位置で A-B ボタンを押す

A-B リピート表示

・ A-B リピート再生を解除するまで繰り返し再生します。
・ A-B リピート再生中に次の操作を行うと A-B リピートが解除されます。
  - もう一度 **A-B** ボタンを押す
  - **停止 / もどる**ボタンを押す
  - ⏮ / ⏭ボタンを押す
・ A-B リピート再生中にも、再生スピードの変更（☞ P.64）をしたり、インデックス（☞ P.70）をつけたり、聞直し再生（☞ P.66）を行ったりすることができます。
・ A 点と B 点の間隔が短すぎる場合、A-B リピートの設定ができません。
・ A 点を設定後、B 点を設定しなかった場合、そのファイルの末尾が B 点になります。
・ ファイルをまたいでの A-B リピートはできません。

聞直し再生

再生中のファイルを設定した秒数だけ戻して再生できる機能です。音楽の短いフレーズや、重要な音声を聞き逃したときなどに便利です。

再生中に聞直しボタンを押す

A-B 聞直し インデックス 分割 消去
① ② ③ ④ ⑤

・あらかじめ設定した秒数の位置に戻って再生します。
「聞直し再生間隔を設定する」(☞ P.112)
・もう一度戻して聞きたい場合は、もう一度**聞直し**ボタンを押します。
・A-B リピートを行っている場合は A-B リピート設定区間内で聞直し再生を行います。
・戻す秒数が、現在の再生位置より長い場合はファイルの最初から再生を行います。
・最大で、再生中ファイルの先頭まで戻りますが、ファイルをまたいで(1 つ前のファイルに)戻ることはありません。

音声フィルター再生

再生時に雑音やノイズがある場合、音声フィルター機能を使うことで、音声が聞きやすくなります。

再生中に再生ボタンを長押しする

録音 停止 再生

もどる

・音声フィルター機能が働きます。
・もう一度**再生**ボタンを長押しすると音声フィルター再生は解除されます。
・再生を停止すると、音声フィルターは解除されます。
・PCM: 44.1、MP3: 192、MP3: 128 モードで録音した音声の再生時に使うと、より効果があります。
・録音状態によっては、雑音が軽減しない場合があります。

音楽ファイルについて

本機に転送した音楽ファイルが再生できない場合、サンプリングレートや ビットレートが再生できる範囲かご確認ください。本機で再生できる音楽ファイルのサンプリングレートやビット数、ビットレートの組み合わせは下記のとおりになります。

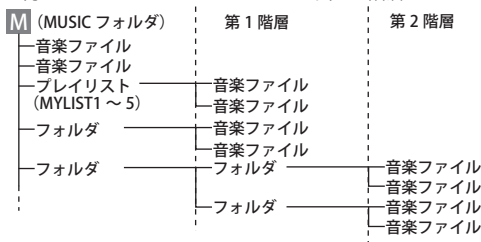
ファイル形式	サンプリングレート	ビット数及びビットレート
WAV 形式	44.1 kHz	16 bit
MP3 形式 MPEG1 Layer3 MPEG2 Layer3	16 kHz から 44.1 kHz まで	16 kbps から 320 kbps まで
WMA 形式	16 kHz から 44.1 kHz まで	32 kbps から 192 kbps まで

・可変ビットレート（1 つのファイル内でビットレートを可変させて変換）の MP3 ファイルの再生については、正常に動作しない場合があります。
・WAV ファイルは、本機で録音したファイルのみ再生可能です。
・本機は Microsoft Corporation の DRM9 に対応していますが、DRM10 には未対応です。
・本機でも再生可能なファイル形式であっても、全てのエンコーダに対応しているわけではありません。

MUSIC フォルダの再生について

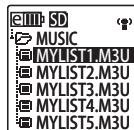
MUSIC（M）フォルダはパソコンから MP3、WMA および本機で録音した WAV ファイルを取り込んで再生するフォルダです。MUSIC（M）フォルダの中にお好みのフォルダを作成し、その中にファイルを転送して再生することもできます。
「Windows Media Player で音楽ファイルを転送する」（☞ P.139）

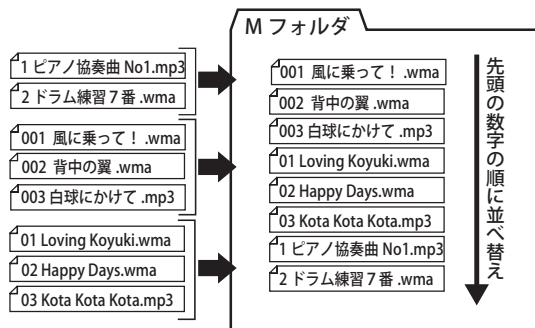
フォルダの階層について

・再生できるのは MUSIC フォルダの下位 2 階層までとなります。

・3 階層以上は表示されません。

MYLIST1 ～ 5 ファイルについて

・MUSIC フォルダには、あらかじめ 5 つのプレイリスト用ファイル（MYLIST1 ～ 5）が用意されています。MUSIC フォルダ内のファイルを各 MYLIST に登録することで、お好きな順番で再生することができます。
・MUSIC フォルダにパソコンからフォルダごとファイルを転送した場合、リスト画面では、「**MYLIST1 ～ 5**」の後に、パソコンから転送したフォルダが表示されますので、音量（**−**）ボタンを押して、転送したフォルダがあることを確認してください。
・「プレイリスト機能（MUSIC フォルダのみ）」（☞ P.74）

7
再生する

MUSIC フォルダのソート（並べ替え）について

MUSIC フォルダでは、フォルダ内にあるファイルのファイル名の先頭の数字によって、昇順（小さい順）に自動で並べ替えられます。
先頭の数字が「001 ～」、「01 ～」、「1 ～」と混在している場合は、「001 ～」が最も優先され、次に「01 ～」、「1 ～」の順に並べ替えられます。

インデックスを付ける / 消去する

インデックスをつけると、再生時に頭出し操作ができるため、聞きたい位置をすばやくさがすことができます。
「インデックス送り / インデックス戻しをするには」(☞ P.62)

インデックスを付ける

MUSIC（M）フォルダ、ゴミ箱（🗑）フォルダのファイル及び、タイマー録音中はインデックスをつけることはできません。

録音または再生中に、インデックスを付けたい位置でインデックスボタンを押す。

A-B 聞直し インデックス 分割 消去
① ② ③ ④ ⑤

・［**インデックス記録中**］と表示され、インデックスが記録されます。
・インデックスを付けた後も、録音または再生は続きますので、同様の操作で別の箇所にインデックスをつけることができます。
・インデックスをつけたファイルをファイル分割するとインデックスは消去されます。
・インデックスは、最大 36 個までつけることができます。
・microSD カードの空き容量がない場合、インデックスはつけられません。

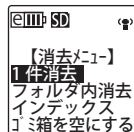
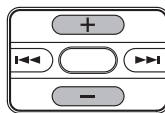
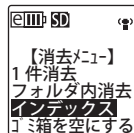
インデックスを消去する

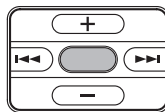
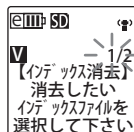
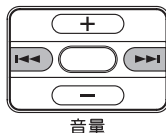
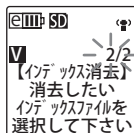
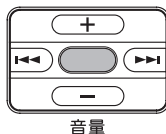
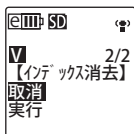
1 インデックスを消去するファイルがあるフォルダを選択する

・「フォルダを切り換える」(☞ P.23)

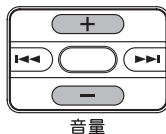
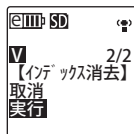
2 **消去**ボタンを押す

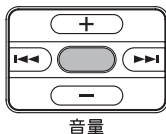
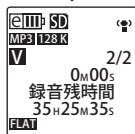
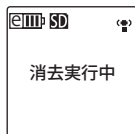
・ 消去メニューが表示されます。

A-B 聞直し インデックス 分割 消去
① ② ③ ④ ⑤

3 **音量（+ / −）**ボタンを押して、［**インデックス**］を選択する

4 **決定**ボタンを押す

・［**インデックス消去**］画面が表示され、ファイル番号が点滅します。

5 ⏮ / ⏭ボタンを押して、インデックスを消去するファイルを選択する

6 **決定**ボタンを押す

7 音量（+ / −）ボタンを押して、［実行］を選択する

・ インデックスの消去を途中でやめる場合は、［**取消**］を選択してください。

8 **決定**ボタンを押す

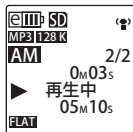
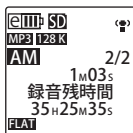
・ ［**消去実行中**］と表示された後、インデックスが消去され、SD モード画面に戻ります。

・ インデックスを消去しても音声は消去されません。
・ ファイル内に複数のインデックスが付けられている場合であっても、インデックスを個別に消去することはできません。ファイル内のインデックスはすべて一括で消去されます。
・ インデックスは本機内でのみ有効です。他の機器やパソコン経由でファイルを移動すると、インデックス情報が消えてしまいます。

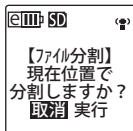
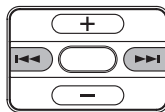
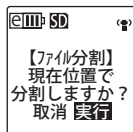
録音したファイルを分割する

本機で録音した 1 つのファイルを 2 つに分割することにより、不要部分のカットや必要部分を抜き出すことができます。

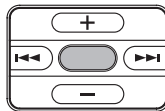
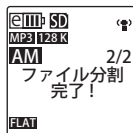
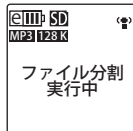
- MUSIC（M）フォルダ、ゴミ箱（🗑）フォルダのファイルは、分割できません。
- ファイル分割するには、microSD カードの空き容量が必要です。
- フォルダがいっぱいのときは、ファイル分割できません。

1 分割したいファイルを再生します

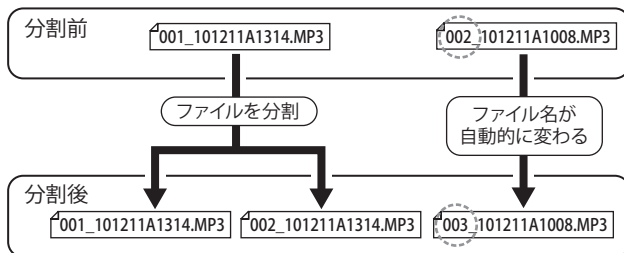
- 「ファイルを再生する」（☞ P.59）

2 分割したい場所で**停止 / もどる**ボタンを押す

3 **分割**ボタンを押す

- ［**ファイル分割**］画面が表示されます。

4 ⏮ / ⏭ボタンを押して、［実行］を選択する

- ファイルの分割を途中でやめる場合は、［**取消**］を選択してください。

5 **決定**ボタンを押す

- ［**ファイル分割 実行中**］→［**ファイル分割完了！**］と表示され、ファイルが分割されます。

- 分割中は録音 LED が点滅します。
- ファイル分割が完了するとフォルダ内のファイルが 1 つ増えます。
- インデックスをつけたファイルを分割すると、インデックスは消去されます。
- ファイル分割した際、指定した場所から前後にずれが生じる場合があります。
- ファイル分割するファイルが入っている microSD カードの空き容量がない場合や、フォルダ内に、ファイルとフォルダが合わせて 199 個ある場合は、ファイル分割できません。

ファイル分割のしくみと分割後のファイル名の付き方

例：001_100811A1314.MP3 ファイルを分割する。

001_100811A1314.MP3 のファイルを分割すると、002_100811A1314.MP3 のファイルが作成されます。ただし、フォルダ内に同じファイル番号のファイルが存在する場合は、分割後のファイルが優先され、もともとあったファイルのファイル番号が変更になります。
例えば、ファイル名 001_100811A1314.MP3 を分割すると 001_100811A1314.MP3 と 002_100811A1314.MP3 が作成され、フォルダ内に先に存在していた 002_100811A1008.MP3 は 003_100811A1008.MP3 にファイル番号が変更されます。

・分割した部分が前後のファイルで重複します。重複する時間と分割に必要なファイルの録音時間は下表の通りです。

録音モード		重複する時間	ファイル録音時間
MP3	32kbps	約 8 秒	約 16 秒以上
	64kbps	約 4 秒	約 8 秒以上
	128kbps	約 2 秒	約 4 秒以上
	192kbps	約 1 秒以下	約 2 秒以上
PCM	44.1kHz		

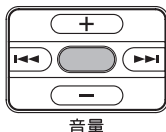
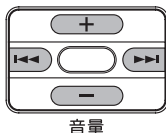
プレイリスト機能（MUSIC フォルダのみ）

本機にはあらかじめ MUSIC フォルダ内に本機で編集できる 5 つのプレイリストファイル（MYLIST1 ～ 5.M3U）が用意されています。MUSIC フォルダ内のお好みの曲を、お好みの順番で再生することができます。

- プレイリストに登録できるのは、MUSIC フォルダ内のファイルのみです。
- MYLIST1 ～ 5 は削除することはできません。
- MYLIST はパソコンで編集しないでください。
- 1 つの MYLIST につき、99 ファイルが登録できます。

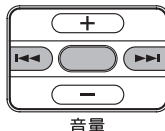
プレイリスト(MYLIST)にファイルやフォルダを登録する

1 SD モード画面で**決定**ボタンを押し、MUSIC（M）フォルダを選択する

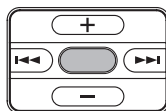
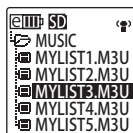
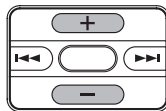
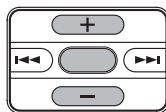
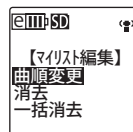
- 「フォルダを切り換える」（☞ P.23）

2 音量（+ / −）ボタン、⏮ / ⏭ボタンを押してプレイリストへ登録したいファイルまたはフォルダを選択し、**メニュー**ボタンを押す

3 ⏮ / ⏭ボタンを押して、登録したいプレイリスト（MYLIST1 ～ 5 のいずれか）を選択し、**決定**ボタンを押す

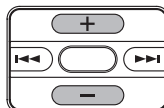
- 選択したプレイリストにファイルまたはフォルダが登録されます。

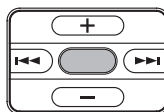
8

編集する

プレイリスト（MYLIST）の再生順を変更する

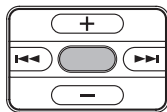
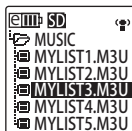
プレイリストに登録されているファイルの再生順を変更します。

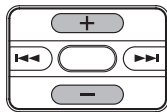
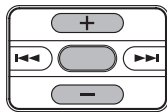
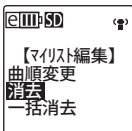
1 リスト画面で再生順を変更したいプレイリスト（MYLIST1 ～ 5.M3U）を選択し、**決定**ボタンを押す

2 音量（+ / −）ボタンを押して再生順を変更したいファイルを選択し、**メニュー**ボタンを押す

3 音量（+ / −）ボタンを押して［**曲順変更**］を選択し、**決定**ボタンを押す

4 音量（+ / −）ボタンを押して選択したファイルを再生したい順番の位置に移動する

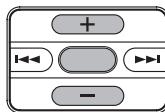
・ 選択中のファイルのアイコンが➡に変わります。

5 **決定ボタンを押す**

・ プレイリストの再生順が変更されました。

プレイリスト（MYLIST）のファイルを1件消去する

プレイリストに登録されているファイルの登録を消去します。
・プレイリスト内のファイルを消去しても、元となるファイルは消去されません。

1 リスト画面で消去したいファイルが入っているプレイリスト(MYLIST1 〜 5.M3U）を選択し、**決定**ボタンを押す

2 音量（＋ / －）ボタンを押して消去したいファイルを選択し、**メニュー**ボタンを押す

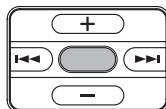
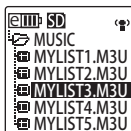
・ ここではファイル 01 を消去します。

3 音量(＋ / －) ボタンを押して[**消去**]を選択し、**決定**ボタンを押す

4 音量(＋ / －) ボタンを押して[**実行**]を選択し、**決定**ボタンを押す

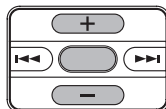
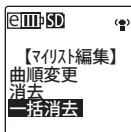
・ 選択したファイルがプレイリストから消去されます。

・ ファイル 01 が消去され、MYLIST には 02 〜 04 のファイルのみ登録されています。

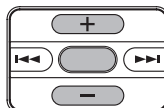
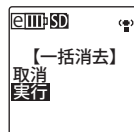
プレイリスト（MYLIST）の ファイルを全件消去する

プレイリストに登録されている全てのファイルの登録を消去します。

・プレイリスト内のファイルを消去しても、元となるファイルは消去されません。

1 リスト画面で全件消去したいプレイリスト（MYLIST1 ～ 5.M3U）を選択し、**決定**ボタンを押す

2 **メニュー**ボタンを押す

3 音量（**+** / **－**）ボタンを押して［**一括消去**］を選択し、**決定**ボタンを押す

4 音量(**+** / **－**) ボタンを押して[**実行**]を選択し、**決定**ボタンを押す

・ プレイリスト内の全てのファイルがプレイリストから消去され、［**No File**］と表示されます。

タイマー予約の流れ

あらかじめ設定した時間に、ラジオ放送の録音やマイク録音をしたり、ラジオ放送の受信やファイルの再生をしたりすることができます。録音と再生で一部手順が異なります。

タイマー予約設定の手順	録音	再生
step1　音量を調節し、タイマー設定の準備をする 本機に 20 件まで登録することができます。予約設定 1 〜 20 のいずれかを選択します。	○	○
step2　タイマーの ON/OFF を設定する タイマー設定の ON/OFF を切り換えます。	○	○
step3　繰り返し方法を設定する 繰り返し方法を、[**1 回**]、[**毎日**]、[**曜日指定**] のいずれかから選択することができます。	○	○
step4　曜日を設定する（step3 で、[**曜日指定**] を選択した場合のみ） タイマーを動作させる曜日を指定します。	○	○
step5　開始時間を設定する タイマーが作動する時間を設定します。	○	○
step6　終了時間を設定する タイマーが終了する時間を設定します。	○	○
step7　動作を設定する [**タイマー予約録音**]、[**タイマー予約再生**] のいずれかを選択します。	○	○
step8　再生先を設定する（タイマー予約再生のみ） タイマー再生するモードを [**AM**]、[**FM**]、[**ファイル再生**] のいずれかから選択します。	–	○
step9　録音元を設定する（タイマー予約録音のみ） タイマー録音するモードを [**AM**]、[**FM**]、[**MIC**] のいずれかから選択します。	○	–
step10　録音音質を設定する（マイク録音のみ） 録音する音質を設定します。	○	–
step11　録音先を設定する（タイマー予約録音のみ） 録音するフォルダを [**T1** 〜 **5**] のいずれかに設定します。	○	–
step12　出力を設定する（タイマー予約録音のみ） タイマー録音時に音声を出力するかどうかを設定します。	○	–
step13　タイマー設定の完了 タイマー設定を確定します。（必ず完了してください。）	○	○

タイマー予約を設定する

タイマー予約録音 / 再生の設定をします。

・タイマー動作時の音量は、タイマー予約 step13 で［**完了**］を選択し、**決定**ボタンを押した時点で設定されている音量になります。
・タイマー設定を行うときやタイマー設定が正常に動作しなかった場合は、91 ページをご確認ください。
・設定前に電池の残量が充分にあることを確認し、カレンダーを設定してください。
「電池の残量について」(☞ P.25)
「カレンダー（日時）を設定する」(☞ P.36)
・あらかじめメモリの残量を確認してください。マイクロSDカードの残量がなくなると録音が途切れます。
・フォルダ内のファイル数が 199 件を越えた場合、録音できなくなります、ご注意ください。

step1　音量を調節し、タイマー設定の準備をする

1 本機の電源を入れる

・「電源を入れる」(☞ P.25)
・「音量を調節する」(☞ P.59)

2 予約ボタンを押す

・［**予約設定**］画面が表示されます。

ー再生速度＋

【予約設定】 1/4
1 OFF ● 0:00
2 OFF ● 0.00
3 OFF ● 0:00
4 OFF ● 0:00
5 OFF ● 0:00

・［**予約設定**］画面では、予約設定の一覧が確認できます。
「予約設定画面の見方」(☞ P.91)

3 音量（＋ / ー）ボタンを押して、予約設定 1 ～ 20 のいずれかを選択する

・ 例 : ここでは 1 を選択します。

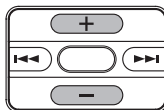
・ 予約番号 6 以降を表示する場合は、(**ー**) ボタンを押して、カーソルを下に移動してください。

4 決定ボタンを押す

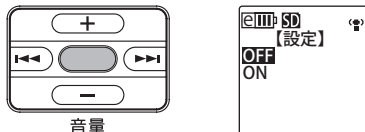
・ 選択した予約番号の設定画面が表示されます。
・ 必ず**決定**ボタンを押してください。

・「step2 タイマーの ON/OFF を設定する」へすすむ

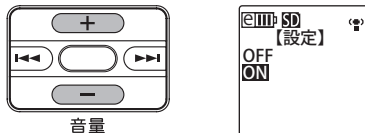
step2　タイマーの ON/OFF を設定する

1 音量（＋ / ー）ボタンを押して、［設定］の項目を選択する

2 **決定**ボタンを押す

・［**設定**］画面が表示されます。

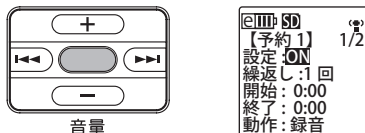
音量

3 音量(＋ / －) ボタンを押して、[ON] を選択する

・［**OFF**］: タイマーを実行しません
・［**ON**］: タイマーを実行します

音量

・タイマー設定が［**OFF**］になっていると、タイマー録音（再生）は動作しません。タイマー録音（再生）する場合は、[**ON**] に設定してください。設定のみ行い、タイマー録音（再生）しない場合は、[**OFF**] に設定してください。

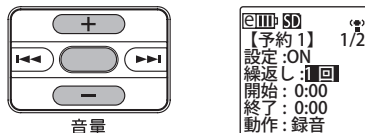
4 **決定**ボタンを押す

・タイマー ON/OFF の設定が完了し、選択した予約番号の設定画面に戻ります。
・必ず**決定**ボタンを押してください。

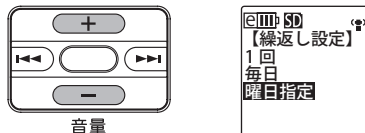
音量

・「step3 繰り返し方法を設定する」へすすむ

step3　繰り返し方法を設定をする

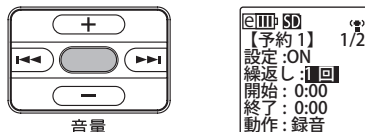
1 音量（＋ / －）ボタンを押して［**繰返し**］の項目を選択し、**決定**ボタンを押す

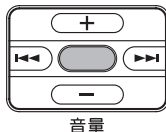
音量

2 音量（＋ / －）ボタンを押して、ご希望の繰返し設定を選択する

・［**1 回**］: 指定時刻になると一回だけ予約録音（再生）します
・［**毎日**］: 指定時刻になると毎日予約録音（再生）します
・［**曜日指定**］: 指定した曜日の指定時刻に予約録音（再生）します

音量

3 **決定**ボタンを押す

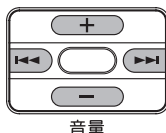
・繰返し方法の設定を完了します。
・必ず**決定**ボタンを押してください。
・2で［**1回**］または［**毎日**］を選択した場合は、選択した予約番号の設定画面に戻ります。

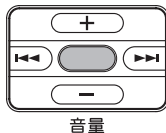
音量

・「step5 開始時間を設定する」へすすむ

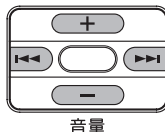
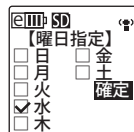
・ 2 で［**曜日指定**］を選択した場合は、［**曜日指定**］画面が表示されます。

• **「step4 曜日を設定する」へすすむ**

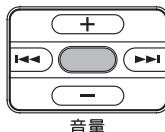
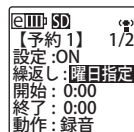
step4　曜日を設定する

Step3 で［**曜日指定**］を選択した場合に設定します。

1 音量（＋ / －）ボタン、⏮ / ⏭ボタンを押してご希望の曜日を選択する

2 **決定**ボタンを押す

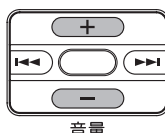
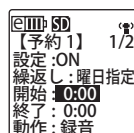
・ 曜日の左の□にチェックが入ります。

・ 曜日は、複数指定できます。
・ チェックを取り消すときは、もう一度**決定**ボタンを押します。

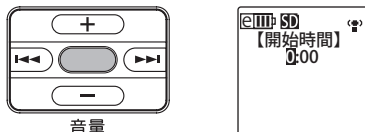
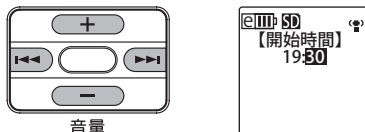
3 音量（＋ / －）ボタン、⏮ / ⏭ボタンを押して［**確定**］を選択する

4 **決定**ボタンを押す

・ 曜日の選択を完了し、選択した予約番号の設定画面に戻ります。

• **「step5 開始時間を設定する」へすすむ**

> **！ 手順 3 で、必ず［確定］を選んで決定ボタンを押してください。決定ボタンが押されていないと曜日指定が確定されず、設定が反映されません。**

step5　開始時間を設定する

1 音量（＋ / －）ボタンを押して、［**開始**］の項目を選択する

2 **決定**ボタンを押す

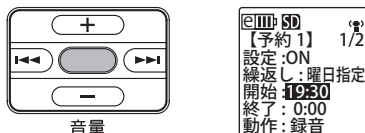
・［**開始時間**］設定画面が表示されます。

3 音量（+ / −）ボタン、⏮ / ⏭ボタンを押して、開始時間を設定する

・⏮ / ⏭ボタンを押すごとに"時"と"分"を移動します。

・音量（+ / −）ボタンを押すごとに数値が変更されます。

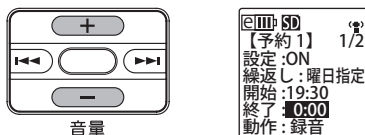
・AM12:00 は午前 0:00、PM12:00 は正午です。

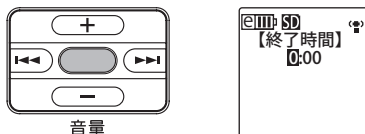
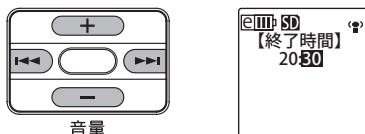
4 **決定**ボタンを押す

・タイマー開始時間の設定が完了し、選択した予約番号の設定画面に戻ります。

・必ず**決定**ボタンを押してください。

• **「step6 終了時間を設定する」へすすむ**

step6 終了時間を設定する

1 音量（+ / −）ボタンを押して、［終了］の項目を選択する

2 **決定**ボタンを押す

・［**終了時間**］設定画面が表示されます。

3 音量（+ / −）ボタン、⏮ / ⏭ボタンを押して、終了時間を設定する

・⏮ / ⏭ボタンを押すごとに"時"と"分"を移動します。

・音量（+ / −）ボタンを押すごとに数値が変更されます。

・AM12:00 は午前 0:00、PM12:00 は正午です。

・開始時刻から終了時刻までの設定可能時間は 12 時間です。

4 **決定**ボタンを押す

・ タイマー終了時間の設定が完了し、選択した予約番号の設定画面に戻ります。
・ 必ず**決定**ボタンを押してください。

【予約 1】 1/2
設定 :ON
繰返し : 曜日指定
開始 :19:30
終了 :20:30
動作 : 録音

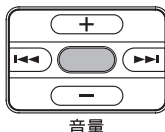
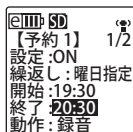
• **「step7 動作を設定する」へすすむ**

step7　動作を設定する

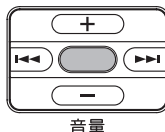
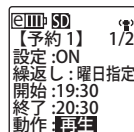
1 音量(**+** / **−**) ボタンを押して[**動作**]の項目を選択し、**決定**ボタンを押す

【予約 1】 1/2
設定 :ON
繰返し : 曜日指定
開始 :19:30
終了 :20:30
動作 : 録音

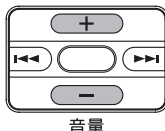
2 音量（**+** / **−**）ボタンを押して、再生または録音を選択する

・［**再生**］: タイマー設定時刻になると、自動的にファイルの再生を開始します。
・［**録音**］: タイマー設定時刻になると、自動的に録音を開始します。

3 **決定**ボタンを押す

・ タイマー動作の設定が完了し、選択した予約番号の設定画面に戻ります。
・ 必ず**決定**ボタンを押してください。

【予約 1】 1/2
設定 :ON
繰返し : 曜日指定
開始 :19:30
終了 :20:30
動作 : 再生

・ 2 で［**再生**］を選択した場合は
「step8 再生先を設定する」へすすむ

【予約 1】 1/2
設定 :ON
繰返し : 曜日指定
開始 :19:30
終了 :20:30
動作 : 録音

・ 2 で［**録音**］を選択した場合は
• **「step9 録音元を設定する」へすすむ**

step8　再生先を設定する

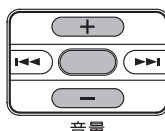
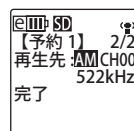
Step7 で［**再生**］を選択した場合に設定します。

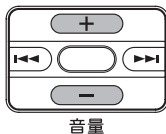
再生先を選択する

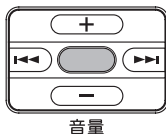
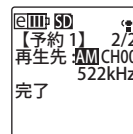
1 音量（**+** / **−**）ボタンを押して、[**再生先**］の項目を選択し、**決定**ボタンを押す

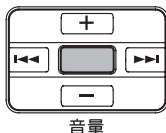
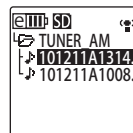
【予約 1】 2/2
再生先 :AM CH00
522kHz
完了

タイマー機能を使う

9

2 音量（+ / −）ボタンを押して、再生先を選択する

- ［**AM**］：AM 放送を受信します
- ［**FM**］：FM 放送を受信します
- ［**ファイル再生**］：
  選択したファイルを再生します。

3 決定ボタンを押す

- 必ず**決定**ボタンを押してください。
- 2 で［**AM**］または［**FM**］を選択した場合は、選択した予約番号の設定画面に戻ります。

- **「放送局を選択する」へすすむ**

- 2 で［**ファイル再生**］を選択した場合は、リスト画面が表示されます。

- **「再生するファイルを選択する」へすすむ**

放送局を選択する

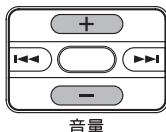
［**AM**］または［**FM**］を選択した場合に設定します。

1 音量（+ / −）ボタンを押して、受信したい放送局がプリセットされているチャンネル（CH）または周波数（AM: kHz、FM: MHz）に移動する

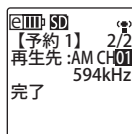
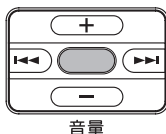
2 決定ボタンを押す

- 1でチャンネルを選択した場合は［**プリセット設定**］画面が表示されます。

- 1 で周波数を選択した場合は［**周波数設定**］画面が表示されます。

3 音量（＋ / −）ボタンを押して、受信したいラジオ放送のチャンネル（CH）または周波数（AM: kHz、FM: MHz）を選択する

・ボタンを押すごとにチャンネル（CH）または周波数（AM: kHz、FM: MHz）が切り換わります。

4 **決定**ボタンを押す

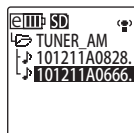
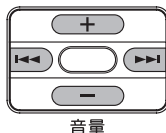
・再生先の放送局の設定が完了し、選択した予約番号の設定画面に戻ります。
・必ず**決定**ボタンを押してください。

• **「step13 タイマー設定の完了」へすすむ**

ご注意

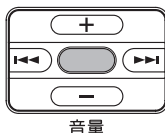
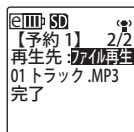
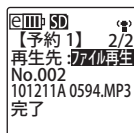
・ラジオ（AM/FM）をタイマー予約録音する場合は、あらかじめ録音する放送局がよく受信できることを確認し、その状態から本機（あるいはクレードルのループアンテナ）を動かさないでください。
・FM 放送をタイマー予約録音する場合は、ヘッドホン端子にステレオヘッドホン（付属）を接続したままにしておいてください。ヘッドホンがアンテナの役目をするため、ヘッドホンを接続していない状態では、タイマー作動時に FM 放送を受信できません。(ただし、クレードルに FM アンテナが接続された状態で、クレードルを使用する場合は、ヘッドホンを接続する必要はありません。)

再生するファイルを選択する

［**ファイル再生**］を選択した場合に設定します。

1 ⏮ / ⏭ボタン、音量（＋ / −）ボタンを押して、再生したい音声ファイルが格納されているフォルダから再生したいファイルを選択する

・「リスト画面の操作」（☞ P.22）
・ゴミ箱（RECYCLE）フォルダのファイルは選択できません。
・選択したファイルが削除された場合、指定時刻に BEEP 音が鳴ります。
・リピートモードが［**OFF**］に設定されている場合、ファイルを一回再生して停止します。タイマー設定時間中にタイマー指定した時間より短いファイルを繰返し再生したい場合は、リピートモードを［**OFF**］以外に設定してください。

2 **決定**ボタンを押す

- 再生するファイルの設定が完了し、選択した予約番号の設定画面に戻ります。
- 必ず**決定**ボタンを押してください。

MUSIC フォルダのファイルを選択した場合

- **「step13 タイマー設定の完了」へすすむ**

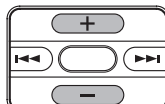
step9 録音元を設定する

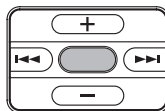
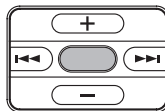
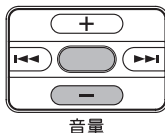
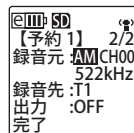
録音元を選択する

Step7 で［**録音**］を選択した場合に設定します。

1 音量（－）ボタンを押して、［**録音元**］の項目を選択し、**決定**ボタンを押す

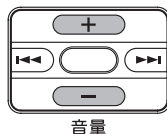
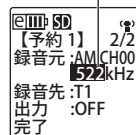
2 音量（**+ / －**）ボタンを押して、録音元を選択する

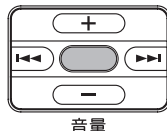
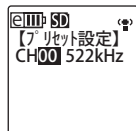
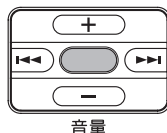
- ［**AM**］： AM 放送を録音（再生）します
- ［**FM**］： FM 放送を録音（再生）します
- ［**MIC**］： マイク録音や外部録音をします

3 **決定**ボタンを押す

- 録音元の設定が完了し、選択した予約番号の設定画面に戻ります。
- 必ず**決定**ボタンを押してください。

- **2 で［AM］または［FM］を選択した場合は、「放送局を選択する」へすすむ**

- **2 で［MIC］を選択した場合は、「step10 録音音質を設定する」へすすむ**

放送局を選択する

［**AM**］または［**FM**］を選択した場合に設定します。

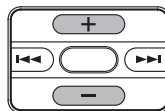
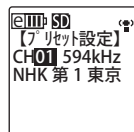
1 音量（**＋** / **－**）ボタンを押して、録音したい放送局がプリセットされているチャンネル（CH）または周波数（AM: kHz、FM: MHz）を選択する

音量

2 **決定**ボタンを押す

・ 1でチャンネルを選択した場合は［**プリセット設定**］画面が表示されます。

音量

・ 1で周波数を選択した場合は［**周波数設定**］画面が表示されます。

音量

3 音量（**＋** / **－**）ボタンを押して、録音したいラジオ放送のチャンネル（CH）または周波数（AM: kHz、FM: MHz）を選択する

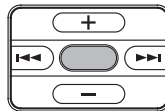
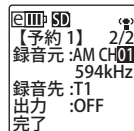
音量

【周波数設定】
594kHz
NHK 第 1 東京

・ ボタンを押すごとにチャンネル（CH）または周波数（AM: kHz、FM: MHz）が切り換わります。

4 **決定**ボタンを押す

・ 録音元の放送局の設定が完了し、選択した予約番号の設定画面に戻ります。
・ 必ず**決定**ボタンを押してください。

音量

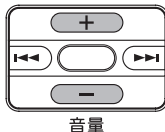
【予約 1】 2/2
録音元 :AM CH01
594kHz
録音先 :T1
出力 :OFF
完了

• **「step11 録音先を設定する」へすすむ**

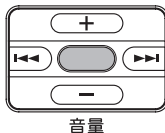
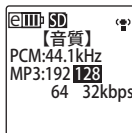
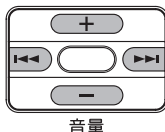
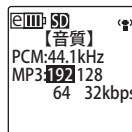
step10 録音音質を設定する

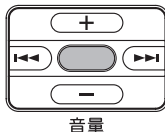
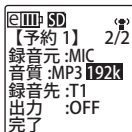
Step9 で［**MIC**］を選択した場合に設定します。

1 音量（+ / −）ボタンを押して、［音質］の項目を選択する

音量

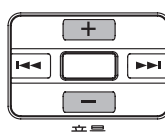
【予約 1】 2/2
録音元 :MIC
音質 :MP3 128k
録音先 :T1
出力 :OFF
完了

2 決定ボタンを押す

・［**音質**］設定画面が表示されます。

音量

3 ⏮ / ⏭ボタン、音量（+ / −）ボタンを押して、録音する音質を選択する

音量

4 決定ボタンを押す

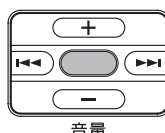
・ タイマー動作の設定が完了し、選択した予約番号の設定画面に戻ります。
・ 必ず**決定**ボタンを押してください。

音量

・「step11 録音先を設定する」へすすむ

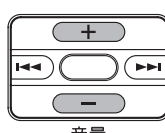
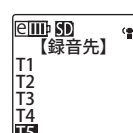
step11 録音先を設定する

Step7 で［**録音**］を選択した場合に設定します。

1 音量（+ / −）ボタンを押して、［録音先］の項目を選択する

音量

2 決定ボタンを押す

・［**録音先**］設定画面が表示されます。

音量

3 音量（+ / −）ボタンを押して、録音するフォルダ（T1 ～ T5）を選択する

音量

・ T1 ～ T5 以外のフォルダへ録音することはできません。

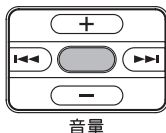
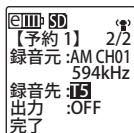
・ お買い上げ時は、予約録音 1 ～ 20 の録音先は、下表の通りそれぞれ T1 ～ T5 フォルダに設定されています。録音先を選択せずに予約録音した場合は、表の通り T1 ～ T5 までの各フォルダに保存されます。

タイマー予約番号	録音先フォルダ
1、6、11、16	T1 フォルダ
2、7、12、17	T2 フォルダ
3、8、13、18	T3 フォルダ
4、9、14、19	T4 フォルダ
5、10、15、20	T5 フォルダ

4 決定ボタンを押す

・ 録音先となるフォルダの設定が完了し、選択した予約番号の設定画面に戻ります。
・ 必ず**決定**ボタンを押してください。

音量

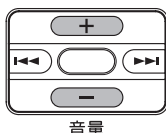
【予約 1】 2/2
録音元 :AM CH01
594kHz
録音先 :T5
出力 :OFF
完了

• 「step12 出力を設定する」へすすむ

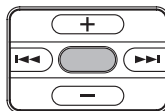
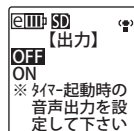
step12 出力を設定する

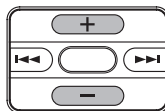
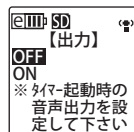
Step7 で［**録音**］を選択した場合に設定します。

1 音量（＋ / −）ボタンを押して、［出力］を選択する

音量

【予約 1】 2/2
録音元 :AM CH01
594kHz
録音先 :T5
出力 :OFF
完了

2 決定ボタンを押す

・ ［**出力**］設定画面が表示されます。

音量

3 音量（＋ / −）ボタンを押して、［OFF］または［ON］を選択する

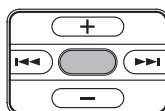
・ ［**OFF**］：音声を出力しません。(音量”0”)
・ ［**ON**］： 音声を出力します。

音量

ご注意

・“step 9”で録音元を［**MIC**］に設定した場合、ここで出力を［**ON**］に設定しても、本機及びクレードルのスピーカーから音声は出力されません。音声はヘッドフォンから聞くことができます。

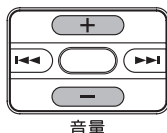
4 決定ボタンを押す

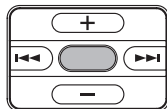
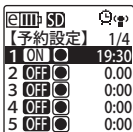
・ 出力の設定が完了し、選択した予約番号の設定画面に戻ります。
・ 必ず**決定**ボタンを押してください。

音量

【予約 1】 2/2
録音元 :AM CH01
594kHz
録音先 :T5
出力 :OFF
完了

• 「step13 タイマー設定の完了」へすすむ

step13 タイマー設定の完了

1 音量（+ / −）ボタンを押して、［完了］を選択する

2 決定ボタンを押す

- ［**予約設定**］画面に戻ります。
- 必ず［**完了**］を選択し、**決定**ボタンを押してください。

3 予約ボタンを押す

- SD モード画面またはラジオ受信画面に戻ります。

- タイマー設定が［**ON**］になっている場合は、画面にが表示されます。

ご注意

- タイマー設定や時報設定が重複している場合はタイマー設定が完了できず、エラーが表示されます。タイマー設定が重複しないように、各タイマー設定の開始時刻と終了時刻はそれぞれ 1 分以上空けて設定をおこなってください。また、時報設定とタイマー設定時刻は重複しないように、4 分空けて設定してください。
- タイマー設定中に、別に設定しているタイマーの設定時刻になった場合は、タイマー録音（再生）を開始します。
  - 電源をオフにしている場合も、タイマー開始時刻になると電源が入り動作します。タイマー終了時刻になると電源が切れます。
  - 再生中やラジオ受信中にタイマー開始時刻になると、タイマーを実行します。
  - 録音中は、タイマー開始時刻になってもタイマーは実行されません。
  - 予約時間設定表示の初期値は 24 時間表示です。

カレンダー設定が 24 時間表示の場合

カレンダー設定が 12 時間表示の場合

カレンダーを 12 時間表示に設定している場合は、タイマー開始時刻や終了時刻を設定するときに AM（午前）と PM（午後）を間違えないようにご注意ください。夜の 12 時に予約録音をする場合、開始時刻は「AM12:00」に設定してください。

- **タイマー動作時の音量は、step13 で完了を選択して決定ボタンを押した時点で設定されている音量になります。クレードルに接続した状態でタイマー動作 (録音・再生) を実行する場合、IC レコーダ本体のみで操作、確認している場合よりも大きな音で再生されますので、予めクレードル接続状態で再生時の音量を確認しておくことをおすすめします。また、深夜や早朝時など、音を出さずにタイマー録音したい場合は、出力設定を［OFF］にすることをおすすめします。**
- カレンダー設定が初期化された場合、全てのタイマー設定は［**OFF**］になります。
- タイマー再生でファイル再生を設定後に、選択したファイルを消去した場合は、タイマー設定時刻になるとファイル再生の代わりにビープ音が 30 秒間鳴ります。
- 次のような場合は、タイマー予約録音（再生）が正しくできないことがあります。
  - 録音中にタイマー開始時刻になった場合
  - microSD カードが入っていない、または microSD カードの残容量が少なく、タイマー予約録音が指定した時間できない場合
  - 録音ファイル数の上限を超えた場合
  - パソコンなどと接続していて、タイマー開始時刻になっても動作できない場合
  - タイマー録音中（再生中）に、電池 / 電源が切れた場合
- 上記のような理由により、タイマーが動作しなかった場合は、［**タイマー動作が実行できませんでした**］が表示されます。また、［**予約設定**］画面で動作しなかったタイマー設定の設定番号の先頭に（×）が表示されます。ただし、本機の電池を抜いていた場合、（×）は表示されません。

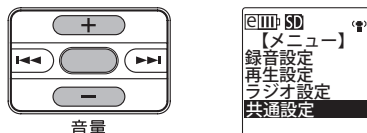
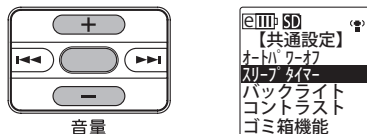
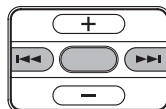
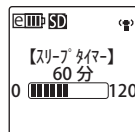
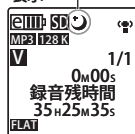
予約設定画面の見方

スリープタイマーを使う

スリープタイマーを設定すると、設定した時間が経過した後、自動的に電源を切ることができます。

1 本機の電源を入れ、**メニュー**ボタンを押す

電源

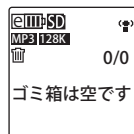
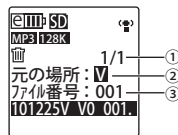
2 音量（**+** / **−**）ボタンを押して［**共通設定**］を選択し、**決定**ボタンを押す

3 音量（**+**/**−**）ボタンを押して［**スリープタイマー**］を選択し、**決定**ボタンを押す

4 ⏮ / ⏭ボタンを押してスリープタイマーが作動するまでの時間を設定し、**決定**ボタンを押す

- 10 分～ 120 分の間で 10 分単位で設定できます。
- 0 分に設定するとスリープタイマーが［**OFF**］に設定されます。
- 一度スリープタイマー設定した後に、再度スリープタイマー設定メニューに入ると残り時間を確認できます。
- スリープタイマーが設定されると、画面にが表示されます。

5 **メニュー**ボタンを押してメニューを終了する

ゴミ箱機能について

ゴミ箱機能をオンに設定すると、本機で消去したファイルはゴミ箱（🗑）フォルダに移動されます。ゴミ箱（🗑）フォルダの中のファイルは元に戻すことができるので、間違って消去した場合でも安心です。
お買い上げ時は、ゴミ箱機能が［**ON**］に設定されています。ゴミ箱機能を［**OFF**］に設定すると、ファイル、フォルダの消去を行なった場合、データは microSD カードから消去され、元に戻すことができません。誤消去防止のため、ゴミ箱機能を［**ON**］にすることをおすすめします。（☞ P.122）

・ゴミ箱（🗑）フォルダの最大ファイル数は 199 ファイルです。ゴミ箱に 199 ファイルある場合は、それ以上のファイルを削除できないため、ゴミ箱（🗑）フォルダ内のファイルを元のフォルダ内に戻すか、ゴミ箱フォルダを空にしてください。
「ゴミ箱フォルダ内のファイルを元に戻す」（☞ P.95）
「ゴミ箱内のファイルを空にする」（☞ P.95）
・M フォルダのファイルは、ゴミ箱機能設定が［**ON**］［**OFF**］にかかわらず、ゴミ箱（🗑）フォルダに移動しません。本機から完全に消去されます。
・ゴミ箱（🗑）フォルダにファイルが多くたまると、動作の低下をまねくおそれがあります。定期的にゴミ箱を“空”にすることをおすすめします。
・ゴミ箱機能が［**ON**］のときにファイルを削除しても、録音残時間表示は増えません。
・ゴミ箱（🗑）フォルダにファイルを移動すると元のフォルダに作成されたインデックスは自動的に消去されます。
・microSD カードを初期化した場合は、ゴミ箱にあるファイルもすべて消去されます。
・ゴミ箱（🗑）フォルダ選択時に録音ボタンを押すと VOICE（V）フォルダへ移動して録音を開始します。
・ゴミ箱機能を［**OFF**］にしても、ゴミ箱（🗑）フォルダ内のファイルは消去されません。
・ゴミ箱（🗑）フォルダは、リスト画面では［**RECYCLE**］と表示されます。

ゴミ箱機能設定時のゴミ箱フォルダの表示について

ファイルがない時

ファイルがある時

①ゴミ箱フォルダ内のファイル番号
②消去前に保存されていたフォルダ
③消去前のファイル番号

・ゴミ箱内のファイルは、**再生**ボタンで再生することができます。

ゴミ箱に移動したファイルのファイル名について

ゴミ箱に移動したファイルのファイル名は自動的に変更されます。

例 :AM フォルダの“001_101225A1008.MP3”のファイルをゴミ箱に移動した場合

001_101225 A 1008_AM_003.MP3
① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦

①: ゴミ箱内のファイル番号 *(001、002、003…というように、ゴミ箱に移動された順番でつけられます)
②: 日付 (ファイルを録音した日付です)
③: 録音内容 (ゴミ箱に移動する前のフォルダ名です)
④: 周波数 (AM フォルダ、FM フォルダから移動したファイルのみ)
⑤: 元のフォルダ (AM、FM、VO、T1 ～ T5)
⑥: ファイル番号 (ゴミ箱に移動する前のファイル番号です)
⑦: 拡張子 (ファイル形式です。MP3 録音した場合は MP3、PCM 録音した場合は WAV となります)
* 本機では表示されません。パソコンでのみ表示されます。

ゴミ箱フォルダ内のファイルを元に戻す

1 ゴミ箱フォルダを選択する

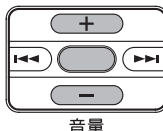
・「フォルダを切り換える」(☞ P.23)

2 **消去**ボタンを押す

・ ゴミ箱メニューが表示されます。

A-B 聞直し インデックス 分割 消去
① ② ③ ④ ⑤

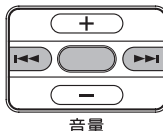
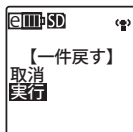
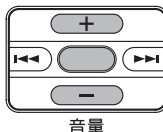
3 音量(**+** / **−**)ボタンで[**一件戻す**]を選択し、**決定**ボタンを押す

音量

4 ⏮ / ⏭ボタンを押して元に戻すファイルを選択し、**決定**ボタンを押す

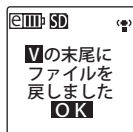
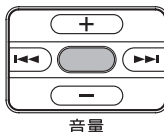
ファイルを選択する

音量

5 音量(**+** / **−**)ボタンで[**実行**]を選択する

音量

6 **決定**ボタンを押す

・[**ゴミ箱からファイルを戻しています ...**]と表示された後、[***の末尾にファイルを戻しました**]と表示されます。(*はフォルダ名が入ります)

音量

ゴミ箱内のファイルを元に戻した場合、ファイル名が変わり、元のフォルダの最後尾に復元されます。

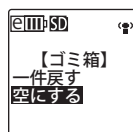
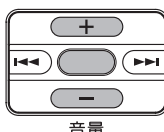
・手順 6 で[***が一杯です。ファイルを戻せません**]と表示された場合は元のフォルダのファイル数が制限数に達しています。ファイルを消去して空き容量を増やしてください。(*はフォルダ名が入ります。)

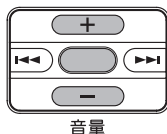
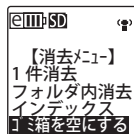
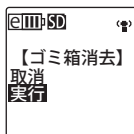
・インデックスをつけたファイルをゴミ箱から戻した場合、ファイルのみが復元されます。インデックス情報は復元されません。

ゴミ箱内のファイルを空にする

ゴミ箱を空にすると、ゴミ箱内のファイルは完全にメモリから削除されます。元に戻すことはできないので、空にする前に必要なデータはパソコンや外部機器などに保存してください。

1 「ゴミ箱フォルダ内のファイルを元に戻す」の手順 3 で[**空にする**]を選択し、**決定**ボタンを押す

音量

2 音量（**+** / **−**）ボタンで［**実行**］を選択し、**決定**ボタンを押す

・［**ゴミ箱を空にしています ...**］と表示され、ゴミ箱が空になります。

・SD モード画面で停止中に**消去**ボタンを押して、消去メニューからゴミ箱を空にすることもできます。

1 件消去する（1 件消去）

フォルダ内のファイルを 1 つ選んで消去することができます。

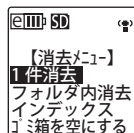
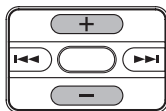
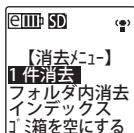
・ゴミ箱機能がオフに設定されている場合（☞ P.122）、一度消去した音声などは元に戻すことができません。消去する前に、必ず録音内容を確認してください。
・M フォルダのファイルは、ゴミ箱機能設定が［**ON**］［**OFF**］にかかわらず、ゴミ箱（🗑）フォルダに移動しません。本機から完全に消去されます。
・操作前に電池の残量が十分にあることを確認してください。

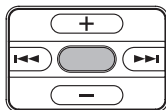
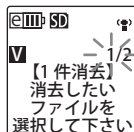
1 **消去したいファイルのあるフォルダを選択する**

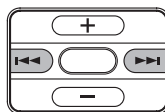
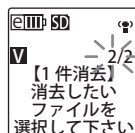
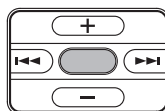
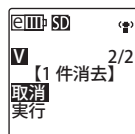
・「フォルダを切り換える」（☞ P.23）

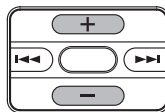
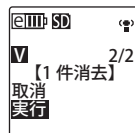
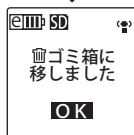
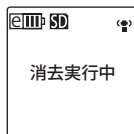
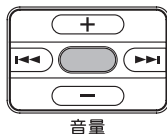
2 **消去ボタンを押す**

・消去メニューが表示されます。

A-B ① 聞直し ② ｲﾝﾃﾞｯｸｽ ③ 分割 ④ 消去 ⑤

3 **音量（+ / −）ボタンを押して、［1 件消去］を選択する**

4 **決定ボタンを押す**

・［**1 件消去**］画面が表示されます。

5 **⏮ / ⏭ボタンを押して、消去するファイルを選択します**

・ボタンを押すごとに右上の数字が切り換わります。

6 **決定ボタンを押す**

7 **音量（+ / −）ボタンを押して、［実行］を選択する**

・消去を中止する場合は、［**取消**］を選択してください。

8 **決定**ボタンを押す

・ ゴミ箱機能がオンに設定されている場合は、［**消去実行中**］の表示後、［**ゴミ箱に移しました**］と表示され、ファイルがゴミ箱に移動します。もう一度**決定**ボタンを押すと、SD モード画面に戻ります。
・ ゴミ箱機能がオフに設定されている場合は、［**消去実行中**］の表示後、ファイルが消去され SD モード画面に戻ります。

全件消去する（フォルダ内消去）

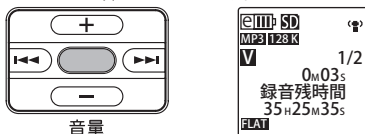
フォルダ内の全ファイルを一括して消去することができます。

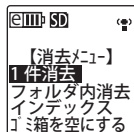
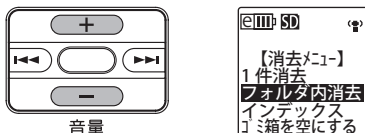
- ゴミ箱機能がオフに設定されている場合（☞ P.122）、一度消去した音声などは元に戻すことができません。消去する前に、必ず録音内容を確認してください。
- M フォルダのファイルは、ゴミ箱機能設定が［**ON**］［**OFF**］にかかわらず、ゴミ箱（🗑）フォルダに移動しません。本機から完全に消去されます。
- 操作前に電池の残量が十分にあることを確認してください。

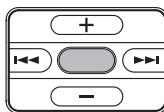
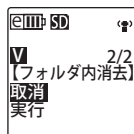
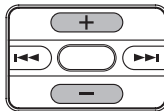
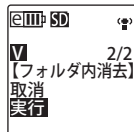
1 全件消去したいフォルダを選択する

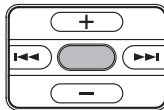
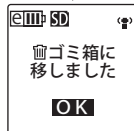
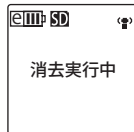
- 「フォルダを切り換える」（☞ P.23）

2 **決定**ボタンを押す

- SD モード画面に戻り、左上に選択したフォルダ名が表示されます。

3 **消去**ボタンを押す

- 消去メニューが表示されます。

4 **音量（＋ / ー）**ボタンを押して、［**フォルダ内消去**］を選択する

5 **決定**ボタンを押す

- ［**フォルダ内消去**］画面が表示されます。

6 **音量（＋ / ー）**ボタンを押して、［**実行**］を選択する

- 消去を中止する場合は、［**取消**］を選択してください。

7 **決定**ボタンを押す

- ゴミ箱機能がオンに設定されている場合は、［**消去実行中**］」の表示後、［**ゴミ箱に移しました**］と表示され、ファイルがゴミ箱に移動します。もう一度**決定**ボタンを押すと、SD モード画面に戻ります。
- ゴミ箱機能がオフに設定されている場合は、［**消去実行中**］の表示後、ファイルが消去され SD モード画面に戻ります。
- M フォルダのサブフォルダは消去できません。パソコンに接続して、パソコン上で消去してください。

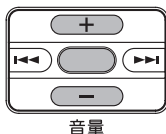
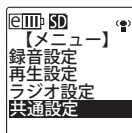
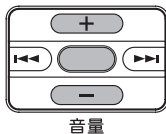
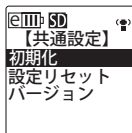
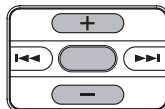
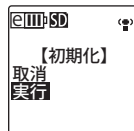
microSD カードを初期化する（初期化）

初期化を行うと、ゴミ箱機能がオンの場合でも全てのファイルが完全に消去されます（mircoSD カード初期化）。一度消去したファイルは元に戻すことができません。
消去前に必ず mircoSD カード内の録音内容を確認してください。全データの消去前に、必要なデータはパソコンや外部機器にバックアップしてください。（☞ P.131）

・全データを消去する前に電池の残量が充分にあることを確認してください。

1 **メニュー**ボタンを押す

・ メニュー項目が表示されます。

2 音量（+ / −）ボタンを押して［**共通設定**］を選択し、**決定**ボタンを押す

3 音量（+ / −）ボタンを押して［**初期化**］を選択し、**決定**ボタンを押す

4 音量（+ / −）ボタンを押して［**実行**］を選択し、**決定**ボタンを押す

・［**初期化中！**］⇒［**初期化完了**］と表示され、mircoSD カード内の全データを消去します。
・ 消去を実行しないときは［**取消**］を選択し、**決定**ボタンを押します。
・ 消去実行中は、取り消しはできません。
・ 初期化中に microSD カードや電池を抜かないでください。

5 **メニュー**ボタンを押してメニューを終了する

メニューについて

メニュー操作のしかた

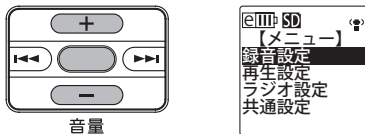
メニュー画面で本機の設定を変更したり、本機の機能を使うことができます。
ここでは、基本的なメニュー設定の操作について説明します。
例 : 録音モードを変更する場合

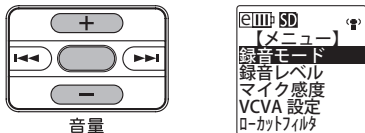
1 本機の電源を入れ、**メニュー**ボタンを押す

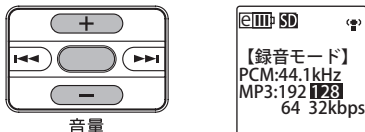
・ メニュー項目が表示されます。

電源

2 メニュー項目を選択する

・ 音量（**+** / **−**）ボタンを押してメニュー項目を選択し、**決定**ボタンを押します。
・ ここでは［**録音設定**］を選びます。

3 設定項目を選択する

・ 音量（**+** / **−**）ボタンを押して設定項目を選択し、**決定**ボタンを押します。
・ ここでは［**録音モード**］を選びます。

4 設定内容を変更する

・ 設定する内容は、設定項目により異なります。
・ ここでは◀◀ / ▶▶ボタン、音量（**+** / **−**）ボタンを押して［**MP3:128kbps**］を選択し、**決定**ボタンを押します。

5 **メニュー**ボタンを押す

・ メニュー操作を終了します。
・ これで設定は完了です。

メニュー一覧

■停止中メニュー
SD モード画面で停止中、またはラジオ受信中に**メニュー**ボタンを押す

※設定内容の**太字**はお買い上げ時（工場出荷時）の設定です。

※設定内容の**太字**はお買い上げ時（工場出荷時）の設定です。

※1 音声ガイドまたは警告音設定時のみ音量が設定できます。
※2 お買い上げ時（工場出荷時）は 2010 年 1 月 1 日 24h 0 時 00 分に設定されています。

※設定内容の**太字**はお買い上げ時（工場出荷時）の設定です。

【メニュー項目】	【設定項目】	【設定内容】	【参照ページ】
共通設定	オートパワーオフ	OFF（0）～ **15** 分	121 ページ
	スリープタイマー	**OFF**（0）～ 120 分	92 ページ
	バックライト	OFF/**ON**	121 ページ
	コントラスト	（淡）1 ～ **5** ～ 10（濃）	122 ページ
	ゴミ箱機能	OFF/**ON**	122 ページ
	初期化	**取消** / 実行	100 ページ
	設定リセット	**取消** / 実行	123 ページ
	バージョン	バージョンの表示	123 ページ

再生中メニュー

再生中に**メニュー**ボタンを押す

消去メニュー

停止中に**消去**ボタンを押す

【ボタン操作】	【設定項目】	【設定内容】	【参照ページ】
消去ボタン	1 件消去	**取消** / 実行	97 ページ
	フォルダ内消去	**取消** / 実行	99 ページ
	インデックス	**取消** / 実行	70 ページ
	ゴミ箱を空にする	**取消** / 実行	95 ページ

ゴミ箱メニュー

ゴミ箱フォルダで**消去**ボタンを押す

プレイリスト編集メニュー

プレイリスト（MYLIST）内をリスト表示中に**メニュー**ボタンを押す

録音に関するメニュー設定（録音設定）

録音モードを切り換える

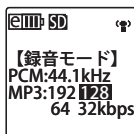
マイク録音時の音質を変更することができます。目的に応じて最適な音質をお選びいただけます。

1 本機の電源を入れ、SD モード画面で**メニュー**ボタンを押す

2 音量（+ / −）ボタンを押して［**録音設定**］を選択し、**決定**ボタンを押す

3 音量（+ / −）ボタンを押して［**録音モード**］を選択し、**決定**ボタンを押す

4 ⏮ / ⏭ボタン、音量（+ / −）ボタンを押して［**録音モード**］を選択し、**決定**ボタンを押す

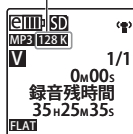
【録音モード】
PCM:44.1kHz
MP3:192 128
64 32kbps

PCM	44.1kHz	高音質録音 ↑
MP3	192kbps	
	128kbps	標準音質
	64kbps	↓
	32kbps	長時間録音

・ PCM は音声データをすべて非圧縮で記録し、MP3 は圧縮して記録します。音質を高めるとデータサイズは大きくなり録音できる時間はそれだけ短くなります。音質を優先するか、録音時間を優先するかを考え、目的に合った録音モードをお選びください。
「録音モードと録音可能時間」（☞ P.159）

・ ラジオ録音時の音質は、MP3: 128kbps に固定されています。

5 **メニュー**ボタンを押してメニューを終了する

・ 選んだ録音モードが画面に表示されます。

128kbps の場合

録音レベルを切り換える

会議や人の声を録音するときは［**録音レベル**］を［**オート**］に、楽器演奏や自然の音など、手動で録音レベルを調整して録音するときは［**録音レベル**］を［**マニュアル**］に設定してください。

録音レベル	録音レベル オート	録音レベル マニュアル
特長	大きい音は少し小さく、小さい音は少し大きく録音します。音割れや歪みを抑え、聞き取りに適した音声録音を行います。	音の大小をそのまま録音し、原音に忠実な音声録音を行います。
主な使用場面	会議や商談、講演やインタビューなど	楽器演奏など

・ラジオ録音時は、録音レベルは機能しません。

1 本機の電源を入れ、SD モード画面で**メニュー**ボタンを押す

2 音量（+ / −）ボタンを押して［**録音設定**］を選択し、**決定**ボタンを押す

3 音量（+ / −）ボタンを押して［**録音レベル**］を選択し、**決定**ボタンを押す

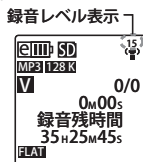
4 音量（**+** / **−**）ボタンを押して［**マニュアル**］または［**オート**］を選択し、**決定**ボタンを押す

【録音レベル】
マニュアル
オート

5 **メニュー**ボタンを押してメニューを終了する

- ［**録音レベル**］の設定を切り換えると画面のアイコンが変わります。

録音レベル表示

MP3 128 K
0/0
0M00S
録音残時間
35H25M45S
FLAT

レベル表示なし

- 録音レベル［**オート**］時：
- 録音レベル［**マニュアル**］時：

レベル表示あり

- ［**録音レベル**］を［**マニュアル**］に設定すると、マイク感度のアイコンの上に現在の録音レベルが表示されます。（［**オート**］に設定されているときは何も表示されません。）
- ［**録音レベル**］は、マイク録音時のみ有効になります。

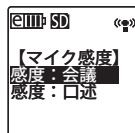
マイク感度を切り換える

録音状況に応じて、マイクの感度を切り換えることができます。
録音した音声が小さい場合や大きすぎる場合は、マイク感度を切り換えて調整してください。
・ラジオ録音時は、マイク感度は機能しません。

1 本機の電源を入れ、SD モード画面で**メニュー**ボタンを押す

2 音量（**+** / **−**）ボタンを押して［**録音設定**］を選択し、**決定**ボタンを押す

3 音量（**+** / **−**）ボタンを押して［**マイク感度**］を選択し、**決定**ボタンを押す

4 音量(**+** / **−**) ボタンを押して[**会議**]または［**口述**］を選択し、**決定**ボタンを押す

- **会議**：録音した音声が小さすぎる場合は［**会議**］に設定してください。
- **口述**：録音した音声が大きすぎる場合は［**口述**］に設定してください。

5 **メニュー**ボタンを押してメニューを終了する

- マイク感度の設定を切り換えると画面のアイコンが変わります。

- マイク感度 会議：
- マイク感度 口述：
- マイク感度は、マイク録音時のみ有効になります。

メニューについて

11

VCVA (音声起動録音）を設定する

VCVA を［**ON**］に設定すると、録音状態で音声を感知したときに自動的に録音を開始し、音声が一定レベル以下になると録音が自動的に一時停止（録音待機）します。

- ［**録音レベル**］が［**マニュアル**］に設定されている場合、VCVA 録音はできません。
- VCVA 設定［**オート**］で録音中に、一時停止（録音待機）になっても、オートパワーオフ機能は働きません。
  ただし、VCVA 録音中に**録音**ボタンを押す（一時停止）と、通常の録音一時停止状態になります。（オートパワーオフを［**ON**］に設定しているときは、設定された時間の経過後に自動的に電源が切れます。）
- ラジオ録音時は、VCVA は設定できません。
- 小さな音の場合は録音しないことがありますので、大切な録音をするときは、この機能を［**OFF**］に設定してください。
- ローカットフィルタを［**ON**］に設定すると低域の音がカットされるため、正しく録音されない場合があります。そのような場合は、ローカットフィルタを［**OFF**］に設定してください。

1 **本機の電源を入れ、メニューボタンを押す**

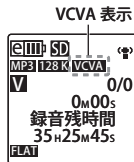
2 **音量（+ / −）ボタンを押して［録音設定］を選択し、決定ボタンを押す**

3 **音量（+ / −）ボタンを押して［VCVA 設定］を選択し、決定ボタンを押す**

4 **音量（+ / −）ボタンを押して［OFF］または［ON］を選択し、決定ボタンを押す**

- ［**OFF**］: VCVA をオフにします。
- ［**ON**］: VCVA をオンにします。

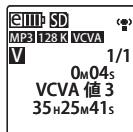
5 **メニューボタンを押してメニューを終了する**

- VCVA を［**ON**］に設定すると、画面にアイコンが表示されます。

VCVA 表示

6 **SD モードで録音ボタンを押す**

- 音声を感知すると自動的に録音が始まります。音声を感知できない場合は、一時停止（録音待機）になり、経過時間と VCVA 表示が点滅し、一時停止状態になります。
- **停止 / もどる**ボタンを押すと録音停止状態になります。

■**音声感知レベルの調整**

VCVA 設定［**ON**］で録音中に⏮/⏭ボタンを押すと、録音感知レベルを調整できます。

- 1 ～ 5 段階に調整できます。（お買い上げ時は 3 に設定されています。）
- 数値が高くなるほど小さな音を感知して録音を開始しますが、雑音の多い場所では、録音が一時停止しない場合があります。

ローカットフィルタを設定する

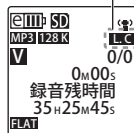
録音時に低い周波数の音を減衰させ、クリアな音を録音します。会議録音で気になる空調設備の音などを低減したい時に効果的です。
- ラジオ録音時はローカットフィルタは機能しません。

1 本機の電源を入れ、**メニュー**ボタンを押す

2 音量（**+** / **−**）ボタンを押して［**録音設定**］を選択し、**決定**ボタンを押す

3 音量（**+** / **−**）ボタンを押して［**ローカットフィルタ**］を選択し、**決定**ボタンを押す

4 音量（**+** / **−**）ボタンを押して［**OFF**］または［**ON**］を選択し、**決定**ボタンを押す

ローカットフィルタ表示

5 **メニュー**ボタンを押してメニューを終了する
- ローカットフィルタをオンに設定すると画面にアイコンが表示されます。

ステレオワイドを設定する

本機のマイク録音時、ステレオ感が強調された、より広がりのある録音ができます。
- ラジオ録音時はステレオワイドは設定できません。

1 本機の電源を入れ、**メニュー**ボタンを押す

2 音量（**+** / **−**）ボタンを押して［**録音設定**］を選択し、**決定**ボタンを押す

3 音量（**+** / **−**）ボタンを押して［**ステレオワイド**］を選択し、**決定**ボタンを押す

4 音量（**+** / **−**）ボタンを押して［**OFF**］または［**ON**］を選択し、**決定**ボタンを押す

- ［**OFF**］：ステレオワイドをオフにします。
- ［**ON**］：ステレオワイドをオンにします。

5 **メニュー**ボタンを押してメニューを終了する

メニューについて

11

セルフタイマーで録音する

本機のマイク録音時、**録音**ボタンを押してから録音を開始するまでの時間をお好みで設定できます。楽器の練習等、録音までの準備を一定時間必要とする録音に最適です。

・ラジオの録音は、セルフタイマー録音できません。

1 本機の電源を入れ、**メニュー**ボタンを押す

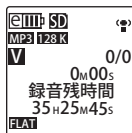
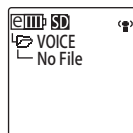
2 音量（**+** / **−**）ボタンを押して［**録音設定**］を選択し、**決定**ボタンを押す

3 音量（**+** / **−**）ボタンを押して［**セルフタイマー録音**］を選択し、**決定**ボタンを押す

4 音量（**+** / **−**）ボタンを押してセルフタイマーの設定時間を選択し、**決定**ボタンを押す

・［**OFF**］： セルフタイマーを設定しません。
・［**5 秒**］： **録音**ボタンを押した 5 秒後に録音を開始します。
・［**10 秒**］： **録音**ボタンを押した 10 秒後に録音を開始します。
・［**30 秒**］： **録音**ボタンを押した 30 秒後に録音を開始します。

5 **メニュー**ボタンを押してメニューを終了する

6 **SD / リスト**ボタンを押して、SD モード画面またはリスト画面を表示する

SD モード画面　　リスト画面

7 **録音**ボタンを押す

・セルフタイマー待機画面が表示され、設定した時間のカウントダウンが始まります（録音 LED が［**ON**］に設定されているときは、録音 LED が点滅します）。
・［**録音レベル**］が［**マニュアル**］に設定されている場合は、「録音スタンバイモード」になります。録音レベルを調整した後、再度**録音**ボタンを押してください。セルフタイマー待機画面となり、設定時間のカウントダウンが始まります。

・**手順 4 で設定した時間が経過すると、録音を開始します。**

・一度セルフタイマー録音を開始すると、自動的にセルフタイマー録音の設定が［**OFF**］になります。もう一度、セルフタイマー録音を行うには、再度 1 〜 4 の手順で設定を行ってください。
・カウントダウン中に**停止 / もどる**ボタンを押すと、セルフタイマー録音をキャンセルできます。キャンセルした場合は、もう一度**録音** ボタンを押すとカウントダウンが始まります。

再生に関するメニュー設定（再生設定）

リピート設定を切り換える

ファイルをリピート再生（繰り返し再生）することができます。1ファイルを何度も繰り返したり、フォルダ内のファイルを順に再生したり、ランダムに再生したり、いろいろなリピート再生を選択することができます。

1 本機の電源を入れ（または再生中に）、**メニュー**ボタンを押す

2 音量（**+** / **−**）ボタンを押して［**再生設定**］を選択し、**決定**ボタンを押す

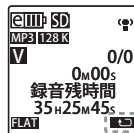
3 音量（**+** / **−**）ボタンを押して［**リピート設定**］を選択し、**決定**ボタンを押す

4 音量（**+** / **−**）ボタンを押してリピートモードを選択し、**決定**ボタンを押す

- ［**OFF**］：リピート再生をオフにします。
- ［**ONE**］：選択中のファイルを繰り返し再生します。
- ［**ALL**］：フォルダ内のすべてのファイルを繰り返し再生します。（フォルダをまたがっての再生はできません）
- ［**RANDOM**］：フォルダ内のすべてのファイルを順不同に並べ換えて繰り返し再生します。（フォルダをまたがっての再生はできません）

5 **メニュー**ボタンを押してメニューを終了する

- リピートを設定すると画面にアイコンが表示されます。

1	ONE
	ALL
RND	RANDOM

リピート表示

- ファイルを再生すると、設定されているリピートモードで再生を開始します。
- リピート再生を中止するときは、リピートモードの設定で［**OFF**］を選択してください。

聞直し再生間隔を設定する

再生中のファイルを設定した秒数だけ戻して再生できる機能です。音楽の短いフレーズや、重要な音声を聞き逃したときなどに便利です。

1 本機の電源を入れ（または再生中に）、**メニュー**ボタンを押す

2 音量（**+** / **−**）ボタンを押して［**再生設定**］を選択し、**決定**ボタンを押す

3 音量（**+** / **−**）ボタンを押して［**聞直し再生**］を選択し、**決定**ボタンを押す

4 音量（**+** / **−**）ボタンを押して聞直し再生する時間を選択し、**決定**ボタンを押す

- ［**5 秒**］： 5 秒戻って聞直し再生します。
- ［**10 秒**］：10 秒戻って聞直し再生します。
- ［**15 秒**］：15 秒戻って聞直し再生します。

5 **メニュー**ボタンを押してメニューを終了する

- 再生中に聞直しボタンを押すと聞直し再生をします。
- 「聞直し再生」（☞ P.66）

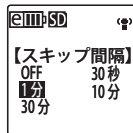
スキップ間隔を設定する

再生中のファイルをあらかじめ設定した時間だけスキップして再生することができます。
同じ箇所を繰り返したり、再生位置をすばやく移動させたりする時に便利です。

1 本機の電源を入れ（または再生中に）、**メニュー**ボタンを押す

2 音量（**+** / **−**）ボタンを押して［**再生設定**］を選択し、**決定**ボタンを押す

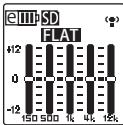
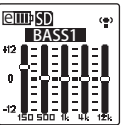
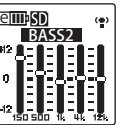
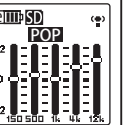
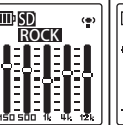
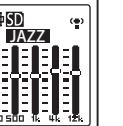
3 音量（**+** / **−**）ボタンを押して［**スキップ間隔**］を選択し、**決定**ボタンを押す

4 音量（**+** / **−**）ボタン、⏮ / ⏭ボタンを押してスキップする時間を選択し、**決定**ボタンを押す

- ［**OFF**］： スキップ間隔機能をオフにします。
- ［**30 秒**］：30 秒ごとにスキップします。
- ［**1 分**］： 1 分ごとにスキップします。
- ［**10 分**］：10 分ごとにスキップします。
- ［**30 分**］：30 分ごとにスキップします。

5 **メニュー**ボタンを押してメニューを終了する

- スキップ間隔を設定すると画面にアイコンが表示されます。

スキップ間隔表示

- 「スキップ（送り / 戻し）するには」（☞ P.62）

サウンド EQ を設定する

サウンド EQ を設定することにより、お好みの音質で音楽をお楽しみいただけます。
・サウンド EQ は、ステレオヘッドホン再生時、またはクレードル接続再生時のみ有効となります。

サウンド EQ モードを選択する

あらかじめプリセットされている［**FLAT**］、［**BASS1**］、［**BASS2**］、［**POP**］、［**ROCK**］、［**JAZZ**］の 6 種類のサウンド EQ モードと、5 バンドのサウンドレベルを自由に設定できる［**USER**］から選択することができます。プリセットサウンドの特徴は、以下のとおりです。

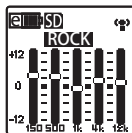
FLAT	BASS1	BASS2	POP	ROCK	JAZZ
FLAT	BASS1	BASS2	POP	ROCK	JAZZ
「サウンド EQ」機能を使わず、原音のまま再生します。	低音域をやや強調します。	低音域をより強調します。	高音域をより強調します。	低音域と高音域をやや強調します。	中音域を強調します。

・［**USER**］の出荷時の設定は、［**FLAT**］と同様です。
・プリセットされている 6 種類のサウンド EQ モードは、設定内容の変更（調整）はできません。
・細かい設定内容の変更を行いたい場合は、［**USER**］を選択してください。
・「サウンド EQ をお好みの音質に設定する」（☞ P.114）

1 本機の電源を入れ（または再生中に）、**メニュー**ボタンを押す

2 音量（**+** / **−**）ボタンを押して［**再生設定**］を選択し、**決定**ボタンを押す

3 音量（**+** / **−**）ボタンを押して［**サウンド EQ**］を選択し、**決定**ボタンを押す

4 ⏮ / ⏭ボタンを押してお好みのサウンド EQ モードを選択し、**決定**ボタンを押す

- 6 つのプリセットサウンド EQ モードと、［**USER**］から選択できます。
- ［**USER**］を選択した場合は、次の「サウンド EQ をお好みの音質に設定する」を参照の上、設定してください。

5 **メニュー**ボタンを押してメニューを終了する

- 設定したサウンド EQ モードが画面に表示されます。

EQ モード表示

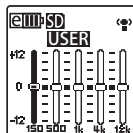
サウンド EQ をお好みの音質に設定する（USER 選択時のみ）

サウンド EQ で［**USER**］を選択している場合、サウンド EQ の 5 バンドの各レベルを自由に設定することができます。

1 サウンド EQ 設定で USER を選択する

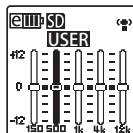
- 「サウンド EQ モードを選択する」（☞ P.113）

2 音量（**−**）ボタンを押す

- 150Hz 帯が黒色バー表示になり、選択されます。

3 ⏮ / ⏭ボタンを押して、変更したい周波数帯を選ぶ

- 選択している周波数帯が黒色バー表示になります。
- ［**150Hz**］、［**500Hz**］、［**1kHz**］、［**4kHz**］、［**12kHz**］の周波数帯の調整ができます。

メニューについて

11

4 音量（+ / −）ボタンを押して、選択した周波数帯のレベルを調整する

- − 12dB 〜 12dB（25 段階）まで、1 dB ごとに調整できます。dB の数字が大きいほど強調されます。
- 音量（**+**）ボタンを押すとレベルが大きくなります。
- 音量（**−**）ボタンを押すとレベルが小さくなります。
- 他の周波数を変更する場合は手順 3 と手順 4 の操作を繰り返してください。
- 途中で設定を中止するときは、**停止 / もどる**ボタンを押してください。手順 1 の画面に戻ります。

5 決定ボタンを押す

6 メニューボタンを押してメニューを終了する

ラジオに関するメニュー設定（ラジオ設定）

オートプリセットを使う

現在、本機で聞くことのできる電波の強い放送局を受信して、メニュー設定［**地域設定**］の［**ユーザー**］にプリセットします。

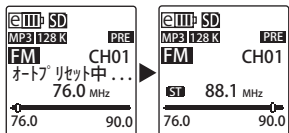
・オートプリセットを使うと、プリセットできたチャンネルを⏮ / ⏭ボタンで選局できます。

1 本機の電源を入れ（またはラジオ受信中に）、**メニュー**ボタンを押す

2 音量（**+** / **−**）ボタンを押して［**ラジオ設定**］を選択し、**決定**ボタンを押す

3 音量（**+** / **−**）ボタンを押して［**オートプリセット**］を選択し、**決定**ボタンを押す

4 音量（**+** / **−**）ボタンを押して［**AM**］または［**FM**］を選択し、**決定**ボタンを押す

・［**オートプリセット中**］と表示され、周波数の下限から自動的に選局が始まり、受信した放送局が自動的にプリセットされます。

・受信できる放送局が 20 局登録されるか、周波数の上限に達するとオートプリセットを終了し、チャンネル 01 に登録された放送局を受信します。

・電波が弱く、受信状態が悪い場合は、オートプリセットができない場合があります。

・周囲に妨害電波がある場合は、妨害電波を受信してプリセットすることがありますが、故障ではありません。

・本機をクレードルにセットした状態で AM 放送を受信した場合、妨害電波を受信して停止しやすくなりますので、クレードルにセットしない状態で実行してください。

・オートプリセットを実行すると、地域設定は自動的に［**ユーザー**］に切り換わります。

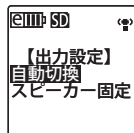
音声の出力先を切り換える

ラジオ受信時に、ヘッドホンを接続している時も音声をスピーカーから出力することができます。FM 放送受信時はヘッドホンがアンテナの役目をするため、ヘッドホンを本機に接続しておかなければなりません。通常、ヘッドホンを接続するとヘッドホンからのみ音声が出力されますが、［**スピーカー固定**］に設定するとヘッドホンを接続した状態でもスピーカーから音声を出力することができます。

1 本機の電源を入れ（またはラジオ受信中に）、**メニュー**ボタンを押す

2 音量（**+** / **−**）ボタンを押して［**ラジオ設定**］を選択し、**決定**ボタンを押す

3 音量（**+** / **−**）ボタンを押して［**出力設定**］を選択し、**決定**ボタンを押す

4 音量（**+** / **−**）ボタンを押して［**自動切換**］または［**スピーカー固定**］を選択し、**決定**ボタンを押す

・［**自動切換**］：ヘッドホン接続時は、スピーカーから音声を出力しません。

・［**スピーカー固定**］：
ヘッドホン接続時も、スピーカーから音声を出力します。

メニューについて

11

5 **メニュー**ボタンを押してメニューを終了する

・［**スピーカー固定**］は、ラジオ受信時のみ有効です。ファイル再生時はヘッドホンを接続すると、スピーカーから音声は出力されません。

スピーカー固定表示

FM モードを切り換える

FM 放送受信時、受信状態によって雑音で聞こえにくい場合は、モノラルに切り換えると聞きやすくなる場合があります。

1 本機の電源を入れ（またはラジオ受信中に）、**メニュー**ボタンを押す

2 音量（**+** / **−**）ボタンを押して［**ラジオ設定**］を選択し、**決定**ボタンを押す

3 音量（**+** / **−**）ボタンを押して［**FM モード**］を選択し、**決定**ボタンを押す

4 音量（**+** / **−**）ボタンを押して［**ステレオ**］または［**モノラル**］を選択し、**決定**ボタンを押す

・［**ステレオ**］：ステレオで受信します。
・［**モノラル**］：常にモノラルになります。
・FM ラジオ受信中に**再生**ボタンを押して、FM モードを切り換えることもできます。

5 **メニュー**ボタンを押してメニューを終了する

AM 画面表示を切り換える

AM 放送受信中の画面表示を設定します。
AM 放送を受信しているときにノイズが入る場合は、画面表示を消すことによってノイズが少なくなることがあります。

1 本機の電源を入れ（またはラジオ受信中に）、**メニュー**ボタンを押す

2 音量（**+** / **−**）ボタンを押して、［**ラジオ設定**］を選択し、**決定**ボタンを押す

3 音量（**+** / **−**）ボタンを押して、［**AM 画面表示**］を選択し、**決定**ボタンを押す

4 音量（**+** / **−**）ボタンを押して、［**OFF**］、または［**常に ON**］を選択し、**決定**ボタンを押す

・［**OFF**］： 何も操作をしていないときは、自動的に画面表示が消えます。いずれかのボタンを押すと、2 秒間画面が表示されます。
・［**常に ON**］：何も操作をしていないときでも、常に画面が表示されます。

5 **メニュー**ボタンを押してメニューを終了する

その他のメニュー設定（共通設定）

音声ガイド /BEEP 音を設定する

ボタン操作時の BEEP 音（ビープ : ピピピピッ）や音声ガイドを設定したり、鳴らないようにしたりすることができます。

1 本機の電源を入れ、**メニュー**ボタンを押す

2 音量（**+** / **−**）ボタンを押して［**共通設定**］を選択し、**決定**ボタンを押す

3 音量（**+** / **−**）ボタンを押して［**BEEP 音設定**］を選択し、**決定**ボタンを押す

4 音量（**+** / **−**）ボタンを押して［**OFF**］、［**音声ガイド**］または［**警告音**］を選択し、**決定**ボタンを押す

【BEEP 音設定】
OFF
音声ガイド
警告音

・［**OFF**］： ボタン操作時に音声ガイド、BEEP 音を鳴らしません。
・［**音声ガイド**］： ボタン操作時に音声ガイドと BEEP 音を鳴らします。
・［**警告音**］： ボタン操作時に BEEP 音を鳴らします。

5 ［**音声ガイド**］、［**警告音**］を選択した場合は、音量（**+** / **−**）ボタンを押してお好みの音量を選択し、**決定**ボタンを押す

【音量設定】
音量大
音量中
音量小

6 **メニュー**ボタンを押してメニューを終了する

録音 LED を設定する

録音時、録音 LED を点灯しないように設定することができます。

1 本機の電源を入れ、**メニュー**ボタンを押す

2 音量（**+** / **−**）ボタンを押して［**共通設定**］を選択し、**決定**ボタンを押す

3 音量（**+** / **−**）ボタンを押して［**録音 LED**］を選択し、**決定**ボタンを押す

4 音量（**+** / **−**）ボタンを押して［**OFF**］または［**ON**］を選択し、**決定**ボタンを押す

・［**OFF**］： 録音時、録音 LED が点灯しません。
・［**ON**］： 録音時、録音 LED が点灯します。

5 **メニュー**ボタンを押してメニューを終了する

時刻自動補正機能（時報設定）を設定する

ラジオの時報情報を受信することにより、現在時刻を自動的に補正することができます。

- 時刻自動補正機能は、本機の電源オフ時、または、クレードル充電時のみ動作します。
- 時刻自動補正機能で補正できる範囲は、時報の± 2 分間です。あらかじめカレンダー設定で誤差が 2 分以内になるように設定してください。
- 時報設定する前に、設定する周波数の放送が正しく聞こえることをご確認ください。ノイズが入ると、正しく時報設定ができないのでご注意ください。
- FM を受信させる場合は、あらかじめ本機にヘッドホンを接続しておくか、本機をクレードルにセットしておいてください。受信状態が悪い場合は、正しく補正できません。感度が悪くノイズが入る場合は、ラジオ設定メニューの FM モードを［**モノラル**］に設定するとノイズが低減する場合があります。
- ラジオの受信状態が悪い場合は、誤動作防止のため、時刻自動補正機能を［**OFF**］に設定してください。
- 録音、再生時など本機の動作中に時刻自動補正の設定時間になった場合は、補正を行いません。
- 毎時、時報が放送されるわけではありません。また、放送局によっては時報のお知らせがない場合があります。

1 本機の電源を入れ、**メニュー**ボタンを押す

2 音量（**+** / **−**）ボタンを押して［**共通設定**］を選択し、**決定**ボタンを押す

3 音量（**+** / **−**）ボタンを押して［**時報設定**］を選択し、**決定**ボタンを押す

- ［**時報設定**］画面が表示されます。

【時報設定】
設定 :OFF
受信先 :AM CH01
594kHz
受信時間 :AM 12 時
完了

4 設定（ON/OFF）を選択する

- 時刻自動補正の ON/OFF を設定します。

① 音量（**+** / **−**）ボタンを押して［**設定**］を選択し、**決定**ボタンを押す
② 音量（**+** / **−**）ボタンを押して［**ON**］または［**OFF**］を選択し、**決定**ボタンを押す

- ［**ON**］： 設定する
- ［**OFF**］： 設定しない

5 受信先（AM/FM）を選択する

- 時報情報を受信する受信先を AM/FM から選択します。

① 音量（**+** / **−**）ボタンを押して［**受信先**］に移動し、**決定**ボタンを押す
② ［**AM**］または［**FM**］を選択し、**決定**ボタンを押す

6 受信先（放送局）を選択する

・ 時報情報を受信する放送局を選択します。
・ 放送局の選局方法は､「チャンネル」と「周波数」の 2 通りあります。

チャンネルで選局する場合

① 音量（**+** / **−**）ボタンを押してチャンネル［**CH**］に移動し、**決定**ボタンを押す

チャンネル

【時報設定】
設定 : OFF
受信先 :AM CH01
594kHz
受信時間 :AM 12 時
完了

② 音量（**+** / **−**）ボタンを押して放送局が登録されているチャンネルを選択し、**決定**ボタンを押す

【ﾌﾟﾘｾｯﾄ設定】
CH01 594kHz
NHK 第 1 東京

• **手順 7 へすすむ**

周波数で選局する場合

① 音量（**+** / **−**）ボタンを押して周波数に移動し、**決定**ボタンを押す

【時報設定】
設定 : OFF
受信先 :AM CH01
594kHz
受信時間 :AM 12 時
完了

周波数

② 音量（**+** / **−**）ボタンを押して放送局が登録されている周波数を選択し、**決定**ボタンを押す

【周波数設定】
594kHz
NHK 第 1 東京

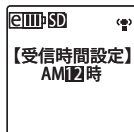
• **手順 7 へすすむ**

7 受信時間を選択する

・ 時報情報を受信する時間を設定します。

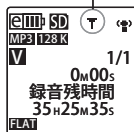
① 音量（**+** / **−**）ボタンを押して［**受信時間設定**］に移動し、**決定**ボタンを押す

② 音量（**+** / **−**）ボタンを押して時間を選択し、**決定**ボタンを押す

【受信時間設定】
AM12時

8 時報設定を終了する

・ 音量（**+** / **−**）ボタンを押して［**完了**］に移動し、**決定**ボタンを押す

9 メニューボタンを押してメニューを終了する

・ 時報設定を［**ON**］に設定すると、画面にアイコン（T）が表示されます。

・ 設定した時間になると、ラジオの時報情報を受信し、現在時刻が自動的に補正されます。
・ 時報情報受信の成功 / 失敗によりアイコンの表示が変わります。

受信成功	受信失敗
OK T	T

10 本機の電源を切る

・ 本機の動作中は自動補正機能が働きません。

メニューについて

11

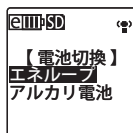
使用する電池の種類を切り換える

使用する電池の種類（エネループ充電池、またはアルカリ乾電池）を設定します。

1 本機の電源を入れ、**メニュー**ボタンを押す

2 音量（+ / −）ボタンを押して［**共通設定**］を選択し、**決定**ボタンを押す

3 音量（+ / −）ボタンを押して［**電池切換**］を選択し、**決定**ボタンを押す

4 音量（+ / −）ボタンを押して使用している電池の種類を選択し、**決定**ボタンを押す

5 **メニュー**ボタンを押してメニューを終了する

・ 設定した種類と異なる電池を使用すると、電池残量などが正しく表示されません。

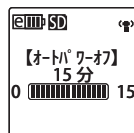
オートパワーオフを設定する

電源オン状態で、設定した時間、本機を使用しなかった場合、自動的に電源が切れる機能です（録音中、録音スタンバイ中、VCVA 録音で一時待機中、再生中、ラジオ受信中を除く）。電源を切り忘れても自動で電源が切れるので、余分な電池の消耗を防ぎます。

1 本機の電源を入れ、**メニュー**ボタンを押す

2 音量（+ / −）ボタンを押して［**共通設定**］を選択し、**決定**ボタンを押す

3 音量（+ / −）ボタンを押して［**オートパワーオフ**］を選択し、**決定**ボタンを押す

4 音量（+ / −）ボタンを押してオートパワーオフ機能がはたらく時間を選択し、**決定**ボタンを押す

・ OFF（0）～ 15 分（15）
・ 1 分単位で設定できます。
・ OFF に設定するとオートパワーオフ機能ははたらきません。

5 **メニュー**ボタンを押してメニューを終了する

画面のバックライトを設定する

ボタンを押したときの画面のバックライトの設定を変更します。

1 本機の電源を入れ、**メニュー**ボタンを押す

2 音量（+ / −）ボタンを押して［**共通設定**］を選択し、**決定**ボタンを押す

3 音量（+ / −）ボタンを押して［**バックライト**］を選択し、**決定**ボタンを押す

4 音量（**+** / **−**）ボタンを押して［**ON**］または［**OFF**］を選択し、**決定**ボタンを押す

【バックライト】
OFF
ON

- ［**OFF**］：バックライトは点灯しません
- ［**ON**］： ボタンを押したとき、15 秒間バックライトが点灯します

5 **メニュー**ボタンを押してメニューを終了する

- お買い上げ時は、［**ON**］に設定されています。
- 電池残量が少ない場合は、バックライトが点灯しないことがあります。

画面のコントラストを調整する

画面のコントラストを調節します。
調整は 10 段階で設定できます。

1 本機の電源を入れ、**メニュー**ボタンを押す

2 音量（**+** / **−**）ボタンを押して［**共通設定**］を選択し、**決定**ボタンを押す

3 音量（**+** / **−**）ボタンを押して［**コントラスト**］を選択し、**決定**ボタンを押す

4 ⏮、⏭ボタンを押してコントラストの濃淡を調整し、**決定**ボタンを押す

【コントラスト】
表示調整 6
淡 濃

- 表示調整：1（淡）〜 10（濃）

5 **メニュー**ボタンを押してメニューを終了する

ゴミ箱機能を設定する

ゴミ箱機能を無効［**OFF**］にして消去したファイルは、元に戻すことができません。
通常は、誤消去防止のため有効［**ON**］に設定しておくことをおすすめします。
M フォルダのファイルはゴミ箱機能設定が［**ON**］［**OFF**］にかかわらず、ゴミ箱（🗑）フォルダに移動しません。本機から完全に消去されます。

1 本機の電源を入れ、**メニュー**ボタンを押す

2 音量（**+** / **−**）ボタンを押して［**共通設定**］を選択し、**決定**ボタンを押す

3 音量（**+** / **−**）ボタンを押して［**ゴミ箱機能**］を選択し、**決定**ボタンを押す

4 音量（**+** / **−**）ボタンを押して［**ON**］または［**OFF**］を選択し、**決定**ボタンを押す

【ゴミ箱機能】
OFF
ON

- ［**OFF**］：ゴミ箱機能が無効になります。
- ［**ON**］： ゴミ箱機能が有効になります。

5 **メニュー**ボタンを押してメニューを終了する

メニューを初期化する

本機の設定を初期化すると、メニュー設定（カレンダー設定を除く）/ 予約設定 / ラジオプリセット設定はお買い上げ時の状態に戻ります。

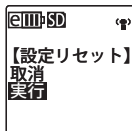
・メニューを初期化しても microSD カード内のデータは消去されません。

1 本機の電源を入れ、**メニュー**ボタンを押す

2 音量（+ / −）ボタンを押して［**共通設定**］を選択し、**決定**ボタンを押す

3 音量（+ / −）ボタンを押して［**設定リセット**］を選択し、**決定**ボタンを押す

4 音量(+ / −) ボタンを押して[**実行**] を選択し、**決定**ボタンを押す

・ 設定メニューの初期化が行われます。

5 **メニュー**ボタンを押してメニューを終了する

バージョンを確認する

本機ファームウェアのバージョンを確認することができます。

1 本機の電源を入れ、**メニュー**ボタンを押す

2 音量（+ / −）ボタンを押して［**共通設定**］を選択し、**決定**ボタンを押す

3 音量（+ / −）ボタンを押して［**バージョン**］を選択し、**決定**ボタンを押す

・ ファームウェアのバージョンが表示されます。

【バージョン】
Ver 1.00

4 **メニュー**ボタンを押してメニューを終了する

動作環境の確認

動作環境

本機は以下のパソコン環境で動作します。

対応機種	Windows 標準搭載パソコン
対応 OS （日本語版）	Windows 7 Windows Vista Windows XP
USB 端子	本機接続時に 1 つ必要
その他	スピーカーまたはヘッドホンが必要 サウンド再生機能を搭載のパソコン

Windows Media Player について
お使いの OS に対応した、以下のいずれかの Windows Media Player をお使いください。

Windows Media Player12	Windows 7
Windows Media Player11	Windows Vista / Windows XP
Windows Media Player10	Windows XP

・ 上記以外の Windows Media Player での動作保証はいたしません。
・ 上記は 2010 年 11 月現在での動作環境です。

最新の Windows Media Player は、以下の URL から入手してください。
http://www.microsoft.com/japan/windows/windowsmedia/download/default.aspx
「Windows Media Player のバージョンを確認する」(☞ P.125)
・Macintosh など Windows を搭載していないパソコンや、自作パソコンでは動作保証いたしません。
・以下の環境での動作保証はいたしません。
　-Windows 各 OS からのアップグレード環境
　-Windows95、Windows NT、Windows98、Windows98SE、Windows Me、Windows2000
　-Windows 各 OS のデュアルブート環境
・推奨環境すべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。
・ご利用の環境によっては、スタンバイ、サスペンド※などのモードが正常に動作しない場合があります。その場合は、本機使用時にはそれらのモードを使用しないでください。
・Windows 7/Windows Vista/XP をお使いの場合、管理者権限（Administrators）のユーザにてご使用ください。
・Windows 2000 以降で導入された「ダイナミック ディスク」には動作保証していません。
※サスペンド：
　CPU、LCD、HDD などを停止し、電力消費量を極限まで減らしている状態。スリープと異なり、CPU は停止しているが ROM への電力供給はされている状態。

パソコン接続時のご注意

- 本機で録音した MP3 または、WAV ファイルの名前をパソコンで変更すると、元のフォルダで再生できなくなります。ファイル名規則に則ったファイル名に戻すか、MUSIC フォルダに移して再生してください。(☞ P.18)
- microSD カードの初期化は必ず本機側で行ってください。パソコンで初期化を行うと、以降の録音が正常に行われなくなることがあります。
- パソコンで初期化してしまった場合は、再度本機で初期化してください。(☞ P.100)
- バスパワー型 USB ハブ、または USB 延長ケーブル（付属ケーブル以外）をご使用の場合は動作保証いたしません。必ず、付属の専用 USB 接続ケーブルのみで接続してください。
- パソコンとの接続時は、本機に電池がなくても動作します。

Windows Media Player のバージョンを確認する

お使いのパソコンのメーカーや OS のバージョンにより、お客さまのパソコン表示画面と本書掲載画面とが一致しない場合があります。本書の説明で使用する画面は、Windows XP/ Windows Media Player 11 となります。

1 ［スタート］メニューから［すべてのプログラム］-［Windows Media Player］を選択して、Windows Media player を起動する

2 メニューバーが表示されている場合は、［ヘルプ］-［バージョン情報］をクリックする

- メニューバーが表示されていない場合は、手順 1 の Windows Media Player を起動した状態で、キーボードの［**Ctrl**］キーを押しながら［**M**］を押すとメニューバーが表示されます。

3 ［バージョン］の右側に表示されている数字を確認する

- 一番左のケタ番号が、お使いの Windows Media Player のバージョンです。
  10.XX.XX ⇒　バージョン 10
  11.XX.XX ⇒　バージョン 11
  12.XX.XX ⇒　バージョン 12
  7.XX…、8.XX…、9.XX…と表記されているバージョンは動作保証致しません。

パソコンでできること

パソコンを使ってこんなことができます。

パソコンを使って充電する

本機をパソコンに接続して、エネループを充電することができます。(☞ P.129)

録音した音声ファイルをパソコンに保存する

本機で録音した音声ファイルをパソコンにバックアップできます。(☞ P.131)

パソコンに保存した音声ファイルを本機に戻す

本機からパソコンにバックアップした音声ファイルを、もう一度本機に戻して聞くことができます。(☞ P.133)

音声ファイルを CD-R/RW にコピーする

本機で録音した音声ファイルを Windows Media Player で CD-R/RW にコピーすることができます。(☞ P.135)

音声ファイルを作成する (CD リッピング)

音楽 CD や語学 CD から、本機で再生可能なファイルをパソコンで作成します。(☞ P.138)

Windows Media Player で音楽ファイルを転送する

パソコンで作成した音楽ファイルを、Windows Media Player を使って本機に取り込みます。(☞ P.139)

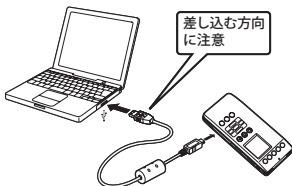
microSD カードリーダー / ライターとして使用する

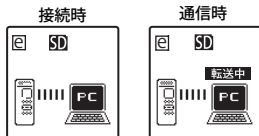
本機を microSD カードリーダー / ライターとして使うことができます。(☞ P.141)

パソコンに接続する / 取り外す

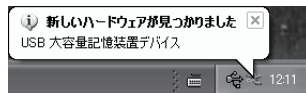
パソコンに接続する

1 専用 USB 接続ケーブルをパソコンの USB 端子に接続する

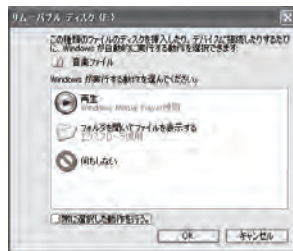
2 電源オフの状態で、専用 USB 接続ケーブルのもう一方を本機に接続する

- バスパワー型 USB ハブ、または USB 延長ケーブル（付属ケーブル以外）をご使用の場合は動作保証いたしません。必ず、付属の専用 USB 接続ケーブルのみで接続してください。
- パソコンとの接続時は、本機に電池がなくても動作します。

パソコンに接続中の画面の表示

通信中は本機をパソコンから抜かないでください。
接続画面表示中は、本機のどのボタンやスイッチを押しても動作しません。

初めて接続した場合

図のようなメッセージが複数回表示されるので、メッセージが消えるまでは本機を取り外さないでください。

- パソコンに何も表示されない場合は(☞ P.142)

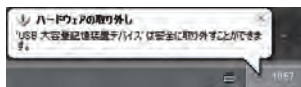
自動再生画面について

Windows XP/Windows Vista/Windows 7 をお使いの場合は自動再生画面が表示される場合があります。

自動再生画面で［**フォルダを開いてファイルを表示する**］を選択して［**OK**］をクリックすると、本機のフォルダが表示されます。
また、自動再生画面で実行する動作の種類や表記は、お使いのパソコン環境によって変わります。

パソコンから取り外す

1 タスクトレイの をクリックし、**[USB 大容量記憶装置デバイス - ドライブを安全に取り外します]** をクリックする

・ お使いのパソコン環境により、ドライブのアルファベット表記が異なりますが、問題はありません。

2 下図のメッセージが表示されたら、本機を専用 USB 接続ケーブルから取り外す

・ タスクトレイに アイコンが表示されていない場合は、 アイコンをクリックしてください。隠れているアイコンが表示されます。それでも 表示されない場合は、パソコンの電源を切り、本機を取り外してください。

・ LCD 画面に「転送中」表示中は、絶対に USB 接続ケーブルを取り外さないでください。データが破損する恐れがあります。

パソコンまたは USB 対応 AC アダプターで充電する

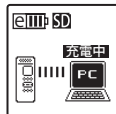
本機をパソコンまたは USB 対応 AC アダプター（別売：A514）に接続し、エネループ充電池（付属）を充電することができます。

- 本機にエネループ充電池が入っていることを必ず確認してください。
- アルカリ電池等を入れたまま充電すると、液漏れ等、本機の故障の原因となります。
- 電池切換を［**エネループ**］に設定してください。
「使用する電池の種類を切り換える」（☞ P.121）

エネループを充電する

1 本機をパソコンまたは USB 対応 AC アダプターに接続する

- 「パソコンに接続する」（☞ P.127）

2 本機の画面が PC 接続中の表示であることを確認して、ホールドスイッチをホールド側にする

- 録音 LED が点灯し、充電が始まります。
- 充電中は画面の電池残量の表示が図のように切り換わります。
- 途中で充電を止めるときは、ホールドスイッチを戻してください。
- 充電が完了すると、録音LEDが消灯します。
- 充電時間は約 220 分です。

※ 充電時間は、使い切った電池を満充電する場合の目安です。電池の残量や周囲温度などによって充電時間は変化します。

3 充電が完了したら、本機をパソコンまたは USB 対応 AC アダプターから取り外す

- 「パソコンから取り外す」（☞ P.128）

- クレードルを使って本機を充電することもできます。
「クレードルで充電する」（☞ P.35）
- 電池切換の設定が［**アルカリ電池**］に設定されている場合は充電されません。
- ホールドスイッチをホールド側にした状態でパソコンまたは USB 対応 AC アダプターに接続すると充電が開始されません。ホールドスイッチをいったん戻してから、再度ホールド側に切り換えてください。
- 画面に PC 接続中の表示が出ないときは、再度、本機をパソコンまたは USB 対応 AC アダプターに接続し直してください。
「パソコンに接続する」（☞ P.127）
- 以下の状態のときは充電しない場合があります。
  - パソコンが休止状態のモードになったとき
  - パソコンを再起動したとき
- 図のように充電表示に☒が表示されると、以下のような理由により充電できません。

  - エネループ充電池以外の電池が入っている
  - 本機に電池が入っていない
  - 本機の温度が上がっている
（パソコンから取り外し、電源オフ状態でしばらく放置してから接続してください。）
- 充電中に電池があたたかくなることがありますが異常ではありません。
- 満充電しても、電池の使用時間が著しく短くなったときが電池の寿命です。新しい単 3 形エネループ充電池をお買い求めください。
- 充電中は電池カバーを必ず閉めてください。
- データ転送中でも充電はできますが、使用状況によっては充電完了後の使用時間が短くなることがあります。
- 充電は周囲の温度が 5 ～ 30℃の環境でおこなってください。（☞ P.24）

パソコンで見る本機のフォルダ / ファイルについて

1 本機をパソコンに接続する

・「パソコンに接続する」(☞ P.127)

2 マイ コンピュータを開く

・［**スタート**］メニューから［**マイ コンピュータ**］をクリックする。または、デスクトップ上の［**マイ コンピュータ**］をダブルクリックする。

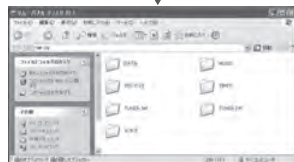
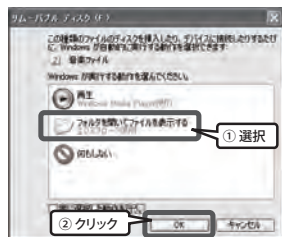
3 リムーバブル ディスクを開く

・［**リムーバブル ディスク**］をダブルクリックする。

・リムーバブル ディスクが表示されなかったら
「PC 接続時に、リムーバブル ディスクが表示されない」(☞ P.153)

・本機のフォルダが表示されます。
「フォルダとは」(☞ P.19)

・本機接続時に自動再生画面 (☞ P.127) が表示された場合、［**フォルダを開いてファイルを表示する**］を選択し、［**OK**］をクリックしても、本機のフォルダを表示させることができます。

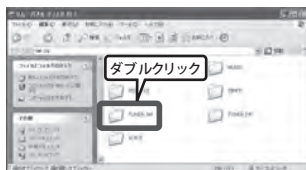
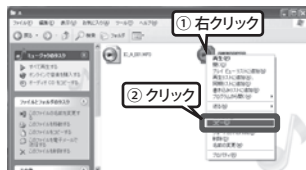
ご注意

・本機で録音した MP3 または、WAV ファイルの名前をパソコンで変更すると、元のフォルダで再生できなくなります。ファイル名規則に沿ったファイル名に戻すか、MUSIC フォルダに移して再生してください。(☞ P.18)

録音した音声ファイルをパソコンに保存する

1 本機をパソコンに接続し、マイコンピューターからリムーバブルディスクを開く

- 「パソコンに接続する」(☞ P.127)
- マイコンピューターの開き方については (☞ P.130)

2 録音した音声ファイルが入っているフォルダを開く

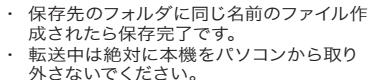
- ［**リムーバブル ディスク**］内の［**TUNER_AM**］をダブルクリックする。
- ここでは、［**TUNER_AM**］フォルダを開く例です。
  「ファイル / フォルダについて」(☞ P.18)

3 パソコンに保存したいファイル (MP3 または WAV) にマウスポインタを合わせて右クリックし、メニューから［**コピー**］をクリックする

- コピーする準備が完了しました。
- パソコンに保存するとともにそのファイルを本機から消去する場合は［**切り取り**］を選んでください。
- 拡張子「.INX」ファイルはインデックス情報です。このファイルをパソコンで消去するとインデックス情報はなくなります。(☞ P.70)

4 保存先のフォルダを開く

- ［**スタート**］メニューから［**マイミュージック**］をクリックする。
- ここでは［**マイ ミュージック**］に保存する例です。

5 音声ファイルを転送する

・［**編集**］をクリックし、表示されたメニューから［**貼り付け**］をクリックする。

・保存先のフォルダに同じ名前のファイル作成されたら保存完了です。
・転送中は絶対に本機をパソコンから取り外さないでください。

6 本機をパソコンから取り外す

・「パソコンから取り外す」（☞ P.128）

パソコンに保存した音声ファイルを本機に戻す

マイミュージックに保存した音声ファイルを本機に戻して再生する方法について説明します。
パソコンに保存されたファイルを本機で聞くときは、MUSIC フォルダに転送してください。

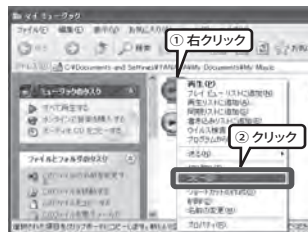
1 本機をパソコンに接続する

・「パソコンに接続する」(☞ P.127)

2 マイ ミュージックを開く

・［**スタート**］メニューから［**マイ ミュージック**］をクリックする。または、デスクトップ上の［**マイ ミュージック**］をダブルクリックする。

・マイ ミュージック以外の他の場所にファイルを保存している場合は、ファイルが保存されている場所を開いてください。

3 転送したい音声ファイルにマウスポインタを合わせて右クリックし、メニューから［コピー］をクリックする

・コピーする準備が完了しました。

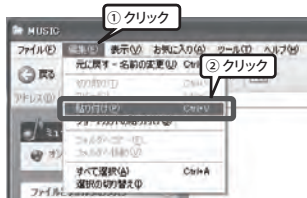
4 マイ コンピュータからリムーバブルディスクを開く

・マイコンピューターの開き方については(☞ P.130)

5 MUSIC フォルダを開く

・［**MUSIC**］をダブルクリックする。

6 音声ファイルを転送する

・［**編集**］をクリックして表示されるメニューから［**貼り付け**］をクリックする。

・コピーが開始され、同じ名前のファイルが作成されたら転送完了です。
・転送中は絶対に本機をパソコンから取り外さないでください。

7 本機をパソコンから取り外す

・「パソコンから取り外す」(☞ P.128)

ファイルを VOICE、TIMER (T1 ～ T5)、TUNER_AM、TUNER_FM フォルダに戻す場合

ファイル名規則 (☞ P.18) に沿ったファイルのみ再生できます。ファイル名を確認し、元のフォルダへ入れてください。例えば、“001_101220 A 1008.MP3” のファイルは TUNER AM フォルダに、“001_101220 V.MP3” のファイルは VOICE フォルダに戻します。その他のフォルダへ戻しても、再生できません。
・ファイル名から元のフォルダを調べることができます。

001_101220A1008. MP3

元のフォルダ

A: TUNER_AM または T1 ～ T5 フォルダ
F: TUNER_FM または T1 ～ T5 フォルダ
V: VOICE または T1 ～ T5 フォルダ

音声ファイルを CD-R/RW にコピーする

本機で録音した音声ファイルを Windows Media Player で CD-R/RW にコピーすることができます。以降の手順は、本機で録音した音声ファイルを、［**マイ ドキュメント**］の［**マイミュージック**］に保存した状態で説明しています。

・CD-R/RW にコピー中は、他の操作をしないでください。ノイズ混入の原因になります。

1 Windows Media Player を起動する

・ 画面左下の［**スタート**］メニューから［**すべてのプログラム**］－［**Windows Media Player**］をクリックして、Windows Media Player11 を起動する。

2 ［書き込み］をクリックする

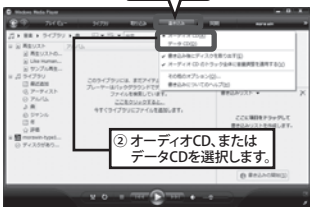
クリック

・ 書き込み画面が表示されます。

3 書き込み形式（作成する CD の種類）を選択する

・ ［**書き込み**］ボタンの上で右クリックし、表示されるメニューから、［**オーディオ CD**］または［**データ CD**］をクリックする。

① 右クリック

② オーディオCD、または データCDを選択します。

・ ［**オーディオ CD**］：
CD-DA 形式に変換して CD-R/RW にコピーします。CD-R 対応のコンポやカーオーディオなどで再生できます。

・ ［**データ CD**］：
本機で録音した形式（MP3、PCM）のまま CD-R/RW にコピーします。パソコン上で再生できますが、一般のオーディオ機器では再生できません。

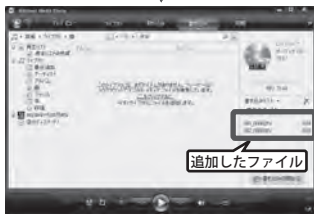
・ オーディオ CD を選択して CD-R/RW にコピーする場合、CD の容量によって最大で以下の記録時間となります。（あくまで理論値であり、保証するものではありません）
650MB…74 分
700MB…80 分
コピーしたい音声ファイルが上記時間以上のときは、あらかじめ本機でファイル分割してください。
「録音したファイルを分割する」（☞ P.72）

4 空の CD-R を CD-R/RW ドライブに挿入する

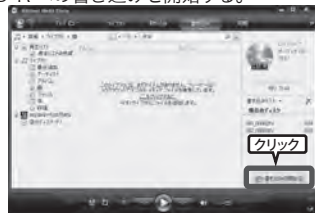
・ 書き込みリストの上に、挿入した CD の情報（残り記録時間など）が表示されます。

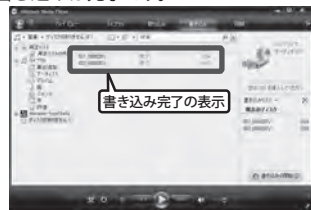
5 ［スタート］メニューから［マイミュージック］を開く

・ マイミュージック以外の他の場所に書き込むファイルを保存している場合は、ファイルが保存されている場所を開いてください。

6 CD-R にコピーしたいファイルを Windows Media Player の［**書き込みリスト**］にドラッグ&ドロップして追加する

- ［**書き込みリスト**］に追加されたファイルが表示されます。
- ドラッグ&ドロップとは、パソコン画面上でマウスポインタがファイルのアイコンなどに重なった状態で、マウスの左ボタンをクリックしたまま移動（ドラッグ）させ、別の場所でマウスのボタンを離す（ドロップ）操作のことです。
- 書き込みリスト上でファイルの再生時間が表示されていないファイルは、書き込みエラーとなります。この場合は一度そのファイルをダブルクリックして再生してください。時間が表示されるようになり、書き込みもできるようになります。

7 書き込みを開始する

- ［**書き込みの開始**］をクリックして、CD-R への書き込みを開始する。

8 書き込みの完了

- ［**完了**］と表示されたら、CD-R/RW への書き込みは完了です。

- Windows Media Player の設定によっては、自動的に CD トレイが開きます。
- 書き込みリストに追加した音声ファイルの合計時間が記録可能時間を超えた場合、Windows Media Player11 は自動的に複数の CD に分けて書き込みます。また、Windows Media Player11 は書き込み時に曲の間に 2 秒間の間隔を空けるため、合計時間が CD の長さと正確に一致していても最後の曲が収まらない可能性があります。

本機で音楽を聞く

本機で音楽を楽しむには、まずパソコンに音楽ファイルを記録し、それを本機に転送する必要があります。

音楽ファイルを記録するには

音楽ファイルを記録するには以下の 2 通りの方法があります。
・音楽 CD や語学 CD から作成する
・インターネット上の音楽配信サービスを利用する
本機で再生できる形式は、次の 3 形式のファイルです。
・WMA 形式のファイル（PD-DRM 対応）
・MP3 形式のファイル
・本機で録音した WAV 形式のファイル
※ AAC 形式など、本機に対応していない記録形式では再生できません。

ファイル形式	サンプリングレート	ビット数及びビットレート
WAV 形式	44.1 kHz	16 bit
MP3 形式 MPEG1 Layer3 MPEG2 Layer3	16 kHz から 44.1 kHz まで	16 kbps から 320 kbps まで
WMA 形式	16 kHz から 44.1 kHz まで	32 kbps から 192 kbps まで

ご注意

・ お客様が取得した MP3・WMA・WAV 形式ファイルは個人として楽しむほかは著作権法上、権利者に無断で複製や配布したり、インターネットへの掲載などに使用することは、固く禁じられています。
・ 本機およびパソコンの不具合により、転送やダウンロードができなかった場合、または音楽ファイルが破損、消去された場合、ファイル内容の補償はいたしません。

音楽 CD を記録する場合

Windows Media Player を起動し、音楽 CD の曲をライブラリへ取り込みます。
ライブラリへの取り込みが終わった段階で、音楽 CD の内容が MP3（または WMA）形式の音楽ファイルへと変換されます。
• **音楽ファイルを作成する（CD リッピング）（☞ P.138）**

音楽配信サービスを利用する場合

WMA 形式に対応している音楽配信ホームページから音楽ファイルを購入します。
本機は PD-DRM に対応しています（DRM10 には対応していません）。

▼

Windows Media Player を使って音楽ファイルを転送します。
• **Windows Media Player で音楽ファイルを転送する（☞ P.139）**

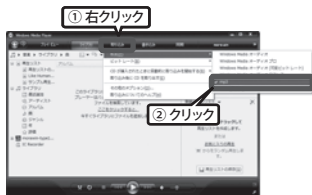
音楽ファイルを作成する（CD リッピング）

音楽 CD や語学 CD から本機で再生可能なファイル（MP3 または WMA）を作成し、パソコンに取り込む方法について説明します。
・CD から音楽ファイルを取り込み中は、他の操作をしないでください。ノイズ発生の原因となります。

1 Windows Media Player を起動する

・［**スタート**］メニューから［**すべてのプログラム**］－［**Windows Media Player**］を選択して、Windows Media Player を起動する。

2 Windows Media Player の設定を変更する

・［**取り込み**］の上で右クリックして表示されるメニューから、［**形式**］-［**mp3**］をクリックする。

3 ［取り込み］をクリックし、音楽 CD をパソコンの CD-R/RW ドライブに挿入する

・お使いのパソコンがインターネット接続環境にある場合、自動的にインターネットから音楽 CD の曲情報を入手して表示します。インターネットに接続していない場合や、CD の種類によっては曲情報を表示しない場合もあります。

4 取り込みを開始する

・パソコンに取り込みたい曲にチェックをつけて［**取り込みの開始**］をクリックする。

・Windows Media Player の設定によっては、CD を挿入したとき自動的に取り込みが開始されます。

5 取り込みの完了

・選択した曲がすべて［**ライブラリに取り込み済み**］と表示されたら、取り込みは完了です。

・取り込まれたファイルは、Windows Media Player の初期設定では、マイミュージックにアーティストやアルバムごとに分かれて保存されます。

Windows Media Player で音楽ファイルを転送する

パソコンに取り込んだ音楽ファイルを、本機に転送することができます。
CD からパソコンに音楽ファイルを取り込む方法については「音楽ファイルを作成する (CD リッピング)」を参照してください。(☞ P.138)

・音楽ファイルは Windows のエクスプローラで転送することもできます (☞ P.133)

1 Windows Media Player を起動する

・［**スタート**］メニューから［**すべてのプログラム**］-［**Windows Media Player**］を選択して、Windows Media Player を起動する。

2 ［同期］をクリックする

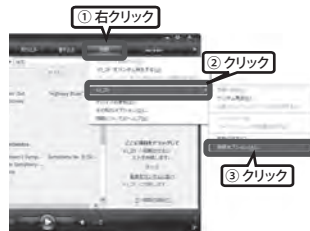
・同期画面が表示されます。

3 本機をパソコンに接続する

・「パソコンに接続する」(☞ P.127)
・接続した機器の情報が表示されます。

・デバイスの設定画面が表示された場合は［**完了**］をクリックしてください。

4 同期の設定を行う

・［**同期**］の上で右クリックし、表示されるメニューから［**リムーバブルディスク**］－［**詳細オプション**］をクリックする。

5 ［同期］タブの［デバイスにフォルダ階層を作成する］にチェックをつけ、［OK］をクリックする

・初期状態でチェックが入っていると、フォルダが作成されない場合がありますので、一度チェックを外してから、再度チェックをつけ、[**OK**] をクリックしてください。

6 同期リストを作成する

・ 画面左側のライブラリから同期したい音楽ファイルを選択し、画面右側の［**同期リスト**］にドラッグ＆ドロップする。

・ Ctrl キーを押しながら音楽ファイルを選択することで、複数のファイルをまとめて選択して追加することができます。
・ アーティストやアルバムのジャケット画像をドラッグ＆ドロップすれば、そのアーティストやアルバムに含まれるすべての曲が同期リストに追加されます。

7 同期を開始する

・ 画面右下の［**同期の開始**］ボタンをクリックする。

8 同期の完了

・［**デバイスに同期されました**］と表示されたら、同期は完了です。

microSD カードリーダー / ライターとして使用する

本機は、ラジオレコーダーとしての使い方のほかに、microSD カードリーダー / ライターとしてご使用いただけます。文書や画像データを microSD カードに保存することもできます。

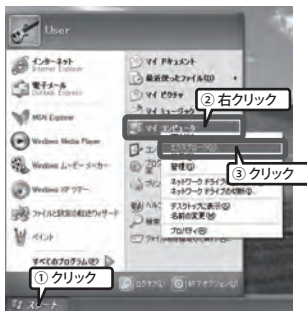
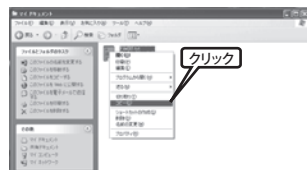
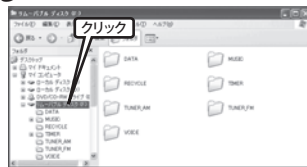
パソコンのデータを本機にコピーする

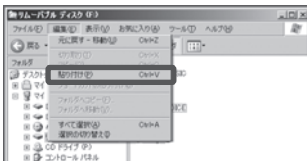
1 パソコンを起動する

2 本機をパソコンに接続する

- 「パソコンに接続する」(☞ P.127)

3 エクスプローラを起動する

- ［**スタート**］メニューをクリックし、［**マイコンピュータ**］の上で右クリックし、表示されたメニューから［**エクスプローラ**］をクリックする。

4 コピーするファイルが入っているフォルダを開き、コピーするファイルを選択して右クリックし、［**コピー**］をクリックする

5 ［**リムーバブル ディスク**］をクリックする

6 ［**編集**］をクリックし、メニューから［**貼り付け**］をクリックする

- リムバームディスクに同名のファイルが作成されたら、コピー完了です。

7 本機をパソコンから取り外す

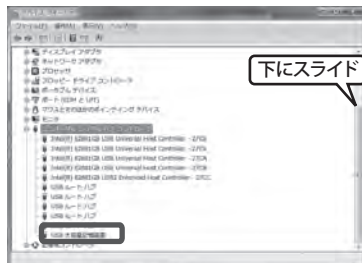
- 「パソコンから取り外す」(☞ P.128)

本機が正常に認識されているか確認する

Windows 7、Windows Vista

本機をパソコンに接続した状態で、以下の確認作業を行ってください。

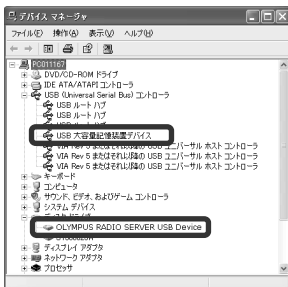
① ［**スタート**］メニューの「コンピュータ」アイコンの上で右クリックし、表示されるメニューから［**プロパティ**］を選択して［**システム**］画面を開きます。

② ［**デバイスマネージャ**］をクリックし、表示されるユーザーアカウント制御画面から［**続行**］を選択して［**デバイスマネージャ**］画面を開きます。
［**ディスクドライブ**］及び［**ユニバーサルシリアルバスコントローラ**］に下図のデバイスが表示されていれば正常です。

Windows XP

本機をパソコンに接続した状態で、以下の確認作業を行ってください。

① ［**スタート**］メニュー（またはデスクトップ上）の［**マイコンピュータ**］アイコンの上で右クリックし、表示されるメニューから［**プロパティ**］を選択して［**システムのプロパティ**］画面を開きます。

② ［**ハードウェア**］タブ内の［**デバイスマネージャ**］をクリックして［**デバイスマネージャ**］画面を開き、［**ディスクドライブ**］および［**USB (Universal Serial Bus) コントローラ**］に次ページの図のデバイスが表示されていれば正常です。

〈WindowsXP〉

デバイスマネージャで正しく表示されなかったら

以下の手順で確認を行ってください。

① 起動中のアプリケーションはすべて終了させてください。
② 接続されている他の USB 機器（正しく動作しているマウス・キーボードは除く）はすべて取り外して、本機を単独で接続してください。
③ パソコンに USB 端子が複数ある場合(前面·背面など) は、別の USB 端子に本機を接続してください。
④ バスパワー型 USB ハブ（USB 端子分配用周辺機器）を介して本機を接続している場合は、一旦ハブを取り外してパソコンの USB 端子に直接付属の専用 USB 接続ケーブルを使用して本機を接続してください。

・接続する USB ケーブルは、必ず付属の専用 USB 接続ケーブルを使用してください。

地域設定一覧

FM 周波数

エリア	放送局	表示名	周波数
札　幌	FM 北海道	AIR-G'	80.4 MHz
	FM ﾉｰｽｳｪｰﾌﾞ	NORTH WAVE	82.5 MHz
	NHK FM 札幌	NHK 札幌	85.2 MHz
仙　台	FM 岩手	FM IWATE	76.1 MHz
	FM 仙台	Date fm	77.1 MHz
	FM 青森	FM 青森	80.0 MHz
	FM 山形	BOY FM	80.4 MHz
	ふくしま FM	ふくしま FM	81.8 MHz
	NHK FM 仙台	NHK 仙台	82.5 MHz
	FM 秋田	FM 秋田	82.8 MHz
東　京	Inter FM	Inter FM	76.1 MHz
	FM 栃木	RADIO BERRY	76.4 MHz
	bay fm	bayfm	78.0 MHz
	NACK5	NACK5	79.5 MHz
	TOKYO FM	TOKYO FM	80.0 MHz
	J-WAVE	J-WAVE	81.3 MHz
	NHK FM 東京	NHK FM 東京	82.5 MHz
	FM 富士	FM-FUJI	83.0 MHz
	FM ヨコハマ	FM ヨコハマ	84.7 MHz
	FM 群馬	FM GUNMA	86.3 MHz

エリア	放送局	表示名	周波数
名古屋	FM 福井	FMFUKUI	76.1 MHz
	FM-NIIGATA	FM-NIIGATA	77.5 MHz
	ZIP FM	ZIP-FM	77.8 MHz
	FM 三重	RADIO3 FM 三重	78.9 MHz
	FM PORT	FM PORT	79.0 MHz
	K-MIX	K-MIX	79.2 MHz
	RADIOi	RADIO-i	79.5 MHz
	FM 長野	FM NAGANO	79.7 MHz
	Radio 80	Radio 80	80.0 MHz
	FM 石川	FM ISHIKAWA	80.5 MHz
	FM 愛知	FM AICHI	80.7 MHz
	NHK FM 名古屋	NHK 名古屋	82.5 MHz
	FM とやま	FM とやま	82.7 MHz
大　阪	FM COCOLO	FM CO・CO・LO	76.5 MHz
	FM 滋賀	e-radio	77.0 MHz
	FM802	FM802	80.2 MHz
	NHK FM 京都	NHK FM 京都	82.8 MHz
	FM 大阪	fm osaka	85.1 MHz
	NHK FM 神戸	NHK FM 神戸	86.5 MHz
	NHK FM 大阪	NHK FM 大阪	88.1 MHz
	α -station	α -station	89.4 MHz
	Kiss FM	Kiss-FM	89.9 MHz

エリア	放送局	表示名	周波数
広　島	FM 岡山	FM 岡山	76.8 MHz
	FM 山陰	fm-sanin	77.4 MHz
	HFM	広島 FM	78.2 MHz
	FM 香川	FM 香川	78.6 MHz
	FM 山口	FM 山口	79.2 MHz
	FM 愛媛	FM 愛媛	79.7 MHz
	FM 徳島	FM 徳島	80.7 MHz
	FM 高知	FM KOCHI	81.6 MHz
	NHK FM 広島	NHK FM 広島	88.3 MHz
福　岡	LOVE FM	LOVE FM	76.1 MHz
	フレンズ FM	フレンズ FM	76.2 MHz
	FM 熊本	FMK	77.4 MHz
	FM 佐賀	FM 佐賀	77.9 MHz
	CROSS FM	CROSS FM	78.7 MHz
	FM 長崎	fmnagasaki	79.5 MHz
	FM 鹿児島	μ FM	79.8 MHz
	FM 福岡	fm fukuoka	80.7 MHz
	FM 宮崎	JOY FM	83.2 MHz
	NHK FM 福岡	NHK FM 福岡	84.8 MHz
	FM 沖縄	FM Okinawa	87.3 MHz
	FM 大分	FM 大分	88.0 MHz

AM 周波数

エリア	放送局	表示名	周波数
札　幌	NHK 第 1 札幌	NHK 第 1 札幌	567 kHz
	NHK 第 2 札幌	NHK 第 2 札幌	747 kHz
	北海道放送	HBC ラジオ	1287 kHz
	STV ラジオ	STV ラジオ	1440 kHz
仙　台	岩手放送	岩手放送	684 kHz
	NHK 第 1 仙台	NHK 第 1 仙台	891 kHz
	山形放送	山形放送	918 kHz
	秋田放送	秋田放送	936 kHz
	NHK 第 2 仙台	NHK 第 2 仙台	1089 kHz
	青森放送	青森放送	1233 kHz
	東北放送	東北放送	1260 kHz
	ラジオ福島	ラジオ福島	1458 kHz
東　京	NHK 第 1 東京	NHK 第 1 東京	594 kHz
	NHK 第 2 東京	NHK 第 2 東京	693 kHz
	山梨放送	山梨放送	765 kHz
	TBS	TBS	954 kHz
	文化放送	文化放送	1134 kHz
	茨城放送	茨城放送	1197 kHz
	ニッポン放送	ニッポン放送	1242 kHz
	ラジオ日本	ラジオ日本	1422 kHz
	栃木放送	栃木放送	1530 kHz

エリア	放送局	表示名	周波数
名 古 屋	NHK 第 1 名古屋	NHK 第 1 名古屋	729 kHz
	北日本放送	KNB ラジオ	738 kHz
	福井放送	FBC ラジオ	864 kHz
	NHK 第 2 名古屋	NHK 第 2 名古屋	909 kHz
	CBC ラジオ	CBC ラジオ	1053 kHz
	信越放送	信越放送	1098 kHz
	北陸放送	北陸放送	1107 kHz
	新潟放送	新潟放送	1116 kHz
	東海ラジオ	東海ラジオ	1332 kHz
	SBS	SBS	1404 kHz
	岐阜放送	岐阜放送	1431 kHz
大 阪	ラジオ関西	ラジオ関西	558 kHz
	NHK 第 1 大阪	NHK 第 1 大阪	666 kHz
	NHK 第 2 大阪	NHK 第 2 大阪	828 kHz
	ABC	ABC	1008 kHz
	KBS 京都	KBS 京都	1143 kHz
	毎日放送	毎日放送	1179 kHz
	ラジオ大阪	ラジオ大阪	1314 kHz
	和歌山放送	和歌山放送	1431 kHz

エリア	放送局	表示名	周波数
広 島	NHK 第 2 広島	NHK 第 2 広島	702 kHz
	山口放送	山口放送	765 kHz
	高知放送	高知放送	900 kHz
	NHK 第 1 広島	NHK 第 1 広島	1071 kHz
	南海放送	南海放送	1116 kHz
	四国放送	四国放送	1269 kHz
	中国放送	RCC	1350 kHz
	山陰放送	BSS	1431 kHz
	西日本放送	西日本放送	1449 kHz
	山陽放送	RSK	1494 kHz
福 岡	NHK 第 1 福岡	NHK 第 1 福岡	612 kHz
	琉球放送	琉球放送	738 kHz
	ラジオ沖縄	ラジオ沖縄	864 kHz
	宮崎放送	宮崎放送	936 kHz
	NHK 第 2 福岡	NHK 第 2 福岡	1017 kHz
	大分放送	大分放送	1098 kHz
	南日本放送	南日本放送	1107 kHz
	熊本放送	熊本放送	1197 kHz
	長崎放送	長崎放送	1233 kHz
	RKB 毎日放送	RKB 毎日	1278 kHz
	九州朝日放送	九州朝日	1413 kHz
	NBC ラジオ佐賀	ラジオ佐賀	1458 kHz

アクセサリー (別売)

OLYMPUS 製 IC レコーダー専用のアクセサリーは、弊社サイトの「オンラインショップ」で直接ご購入いただけます。http://shop.olympus-imaging.jp/index.html

ステレオマイクロホン：ME51SW
大経口マイク内蔵で、高感度のステレオ録音が可能です。

テレホンピックアップ：TP7
イヤホン型マイクを耳に入れてそのまま通話。電話の声や会話を明瞭に録音できます。

USB 接続 AC アダプタ：A514
USB 接続型 DC5V の AC アダプタです。(AC100-240V 50/60Hz)

コネクティングコード：KA334
両端がステレオミニプラグ (ϕ 3.5) の抵抗なし接続コードです。イヤホン出力をライン入力に接続して録音する場合に使用します。

エラーメッセージ

本機の各操作中にエラーメッセージが表示されることがあります。
エラーメッセージの内容は、下記のとおりです。

本機の状態（機能）	エラーメッセージ	説明	参照ページ
バッテリー低下	電池切れです 新しい電池と 交換して下さい	アルカリ電池設定で電池切れになった場合に表示されます。	25 ページ
	電池切れです 電池を 充電して下さい	エネループ設定で電池切れになった場合に表示されます。	25 ページ
再生	再生するﾌｧｲﾙが ありません	フォルダ内に再生ファイルがない場合で、**再生**ボタンを押した場合に表示されます。	59 ページ
	このファイルは 可変速再生 できません	PCM 録音再生時に、再生スピードの変更操作をした場合に表示されます。	64 ページ
録音	容量が一杯です	microSD カードの空き容量がない時に録音した場合に表示されます。	159 ページ
	ﾌｧｲﾙが一杯です	各フォルダの録音可能なファイル数を超えて録音した場合に表示されます。	20 ページ
タイマー録音	時報設定の 設定時間が 重なっています 確認してください	時報設定時刻とタイマー予約時間が重なっている場合に表示されます。	90 ページ 119 ページ
	No. ○と 設定時間が 重なっています 確認してください	タイマー予約設定時間が他の予約設定時間と重なっている場合に表示されます。	81 ページ 82 ページ
	設定時間は 最大 12 時間です 開始 / 終了時間を 確認して下さい	タイマー予約設定の最大設定時間である 12 時間を越えて設定した場合に表示されます。	82 ページ
編集（インデックス）	インデックス が一杯です	インデックスが最大数（1 ファイルあたり 36）を超えた場合に表示されます。	70 ページ

本機の状態（機能）	エラーメッセージ	説明	参照ページ
編集（ファイル分割）	このフォルダに これ以上の ファイルを 作成できません	フォルダ内に再生可能なファイル数が最大まである状態で、ファイル分割操作をした場合に表示されます。	72 ページ
	ファイル分割に 必要な空き容量 が足りません	ファイル分割するために必要な microSD カードの空き容量がない場合に表示されます。	72 ページ
	録音時間が 短いので 分割できません	ファイル分割可能な録音時間よりも短いファイルを分割操作した場合に表示されます。	72 ページ
	現在の停止位置 ではファイルを 分割できません	ファイル分割できない位置で分割操作した場合に表示されます。	72 ページ
編集（全般）	MUSIC ﾌｫﾙﾀﾞでは 編集できません	MUSIC フォルダを選択時に**分割**ボタンを押した場合に表示されます。	72 ページ
リスト表示	再生するファイルが ありません	フォルダ内に本機で再生できるファイルがない場合に表示されます。	23 ページ
ゴミ箱	ゴミ箱ﾌｫﾙﾀﾞでは 編集できません	ゴミ箱フォルダを選択時に**分割**ボタンを押した場合に表示されます。	18 ページ 72 ページ
	ゴミ箱が 一杯です 空にして下さい	ゴミ箱フォルダ内のファイルが最大（199）まである状態で、ゴミ箱設定［**ON**］でファイルを削除し、これ以上ゴミ箱へ移せない場合に表示されます。	93 ページ
	＊が一杯です ファイルを 戻せません	ゴミ箱からファイルを戻した際に、戻し先のフォルダに録音可能な最大数のファイルが存在している場合に表示されます。（＊は戻し先のフォルダ名）	95 ページ
microSD カード関連	SD カードを 挿入して下さい	microSD カードが挿入されていない状態で、録音や**再生**ボタンを押し microSD カードにアクセスした場合に表示されます。	30 ページ
	microSD ｶｰﾄﾞが 正しく認識しません 再挿入下さい	microSD カードの挿入で認識に失敗した場合や、microSD カードが壊れている場合などに表示されます。	30 ページ
	SD カード 書込み速度が 遅いです	PCM 録音時などに録音の書き込みが正しくできない状態が発生した際に表示されます。	31 ページ
ラジオ	プリセットモードで チャンネル選択し 削除して下さい	周波数選択モードでプリセット削除を実行したときに表示されます。	48 ページ

本機の状態（機能）	エラーメッセージ	説明	参照ページ
プレイリスト編集	このプレイリストに これ以上ファイルを 登録できません	1 つのプレイリスト（MYLIST）に 100 ファイル目を登録しようとした場合に表示されます。	74 ページ
	MUSIC フォルダ 以外では プレイリスト操作 できません	MUSIC（M）フォルダ以外のフォルダ内のファイルを選択して、プレイリスト（MYLIST）に登録しようとした場合に表示されます。	74 ページ
	全てのファイルを プレイリストへ追加 できませんでした	1 つのプレイリスト（MYLIST）に 100 ファイル以上のファイルを登録しようとした場合に表示されます。	74 ページ
	ファイルがない為 プレイリスト操作 できません	プレイリストに登録されている元のファイルが削除されている場合に表示されます。	74 ページ
	ﾌﾟﾚｲﾘｽﾄﾌｧｲﾙは 選択できません	リスト表示中にプレイリストファイルを選択して**メニュー**ボタンを押したときに表示されます。	22 ページ

故障かな？と思う前に

販売店にご相談になる前に、下記をお確かめください。
直らない場合は、お買い上げの販売店へご相談ください。

症状	考えられる原因	対処方法
本機が動作しない	電池が正しく入っていないか、電池切れである	電池が正しく入っていることを確認してください。 一度電池を完全に抜いてから、電池を正常に入れ直してください。または充電するか新しい電池に交換してください。 「電池を入れる」(☞ P.24)
ボタンまたはスイッチを押しても反応しない	誤動作防止機能（ホールド機能）が設定されている	誤動作防止機能（ホールド機能）を解除してください。 「誤動作を防止する（ホールド機能）」(☞ P.29)
	USB 接続したままである	本機をパソコンから取り外してください。 「パソコンから取り外す」(☞ P.128)
microSD カードが認識されない	microSD カードが正しく挿入されていない	本機の電源をオフにし、再度 microSD カードを挿入し直してください。
	microSD カードを本機以外（パソコンなど）で初期化した	microSD カードを本機で初期化してください。 「microSD カードを初期化する（初期化）」(☞ P.100)
エネループが充電できない	電池切換が［**アルカリ電池**］に設定されている	電池切換を［**エネループ**］に設定してください。 「使用する電池の種類を切り換える」(☞ P.121)
	本機をパソコンに接続しただけである	パソコンでの充電は、接続しただけでは自動的に充電されません。充電操作をしてください。 「エネループを充電する」(☞ P.24)
	クレードル接続時、本機の電源が ON のままである	本機の電源を OFF にしてください。 「クレードルで充電する」(☞ P.35)
充電すると を表示する	エネループ充電池以外の電池を入れて充電しようとした	本機にエネループ充電池を入れて充電してください。
	本機に電池を入れずに充電しようとした	
	電池が正しく入っていない	
	本機の温度が上がっている	本機をパソコンから取り外して、しばらく放置してから再充電してください。
音声が聞こえない	音量が小さい	音量を調節してください。 「ファイルを再生する」(☞ P.59)

症状	考えられる原因	対処方法
フォルダ（VOICE、TUNER_AM、TUNER_FM、T1 ～ T5、🗑）内のファイルが再生できない	ファイル名が異なる	上記フォルダ内のファイルは、パソコンでファイル名を変更すると元のフォルダに戻しても再生できなくなりますが、MUSIC（M）フォルダに転送すると、本機で再生できるようになります。
	本機で録音した WAV 形式の音声ファイルではない	本機以外で録音したWAV形式の音声ファイルの再生はできません。
MUSIC（M）フォルダ内のファイルが再生できない、または正しく再生できない	再生できるファイル形式ではない	正常に再生できる WMA 形式またはMP3 形式のファイルをご使用ください。
	本機で録音した WAV 形式の音声ファイルではない	本機以外で録音したWAV形式の音声ファイルの再生はできません。
	転送先が異なる	パソコンからファイルを転送するときに、MUSIC（M）フォルダ以外のフォルダに入れても、本機で再生できません。必ずリムーバブルディスク内の MUSIC（M）フォルダ内に転送してください。「Windows Media Player で音楽ファイルを転送する」（☞ P.139）
	本機で再生できないファイルとなっている	エンコーダー（MP3・WMA 変換）ソフトを別のものに変えてファイルを作成してください。
	プレイリストに書かれているファイルがMUSIC(M) フォルダ内にない	プレイリストからそのファイル名を削除するか、MUSIC(M) フォルダ内にそのファイルを転送してください。
	転送方法が異なる	著作権保護されているファイルは、エクスプローラで転送しても再生できません。Windows Media Player で転送してください。「Windows Media Player で音楽ファイルを転送する」（☞ P.139）
	再生可能なファイル数を超えている	1 つのフォルダにつき最大 199 ファイルのみ再生可能です。サブフォルダがある場合は、サブフォルダの数だけ、再生できるファイル数が減ります。別のフォルダに保存してください。

症状	考えられる原因	対処方法
ファイル分割ができない	microSD カードの空き容量が足りない	不要なファイルを消去してください。 「1 件消去する（1 件消去）」（☞ P.97）
	ファイルの録音時間が短すぎる	ファイル分割は録音時間の長いファイルでおこなってください。 PCM44.1…約 2 秒以上、MP3:192…約 2 秒以上、MP3:128…約 4 秒以上、MP3:64…約 8 秒以上、MP3:32…約 16 秒以上
	フォルダあたりの最大ファイル数 (199) を超えている。	不要なファイルを消去してください。 「1 件消去する（1 件消去）」（☞ P.97）
ファイルが消去できない	ファイルの属性が読み取り専用に設定されている	本機をパソコンに接続して、ファイルの属性を変更するか、ファイルを消去してください。または、microSD カードの初期化をおこなってください。 「microSD カードを初期化する（初期化）」（☞ P.100）
PC 接続時に、リムーバブルディスクが表示されない	パソコンと本機が正しく接続されていない	専用 USB 接続ケーブルが本機側、パソコン側共に最後まで正しく差し込まれていることを確認の上、再度接続してください。 「パソコンに接続する」（☞ P.127）
	Windows 98, 98SE, Me, 2000 の PC および Macintosh に接続している	Windows 98, 98SE, Me, 2000 及び Macintosh はサポートしていません。
	パソコンからの電源供給が不十分	バスパワー型 USB ハブを利用している場合は、パソコン本体の USB 端子と本機を直接接続するか、またはセルフパワー型（電源アダプター付）の USB ハブを使用してください。または、パソコン本体に複数 USB 端子がある場合は、他の USB 端子に接続してください。 「パソコンに接続する」（☞ P.127）
	ネットワークドライブが割り当てられている	ネットワークドライブが割り当てられていると、ドライブレター（ドライブ名を表すアルファベット）がぶつかり、リムーバブルディスクが作成されない場合があるので、ネットワークドライブの割り当てを変更してから再度接続してください。 ネットワークドライブの割り当てについてはネットワーク管理者などにお聞きください。

症状	考えられる原因	対処方法
録音した音声に音の歪み（音割れ）が発生している	マイク感度が適切でない	マイク感度を[**口述**]に切り換えてください。それでも音割れする場合は[**ローカットフィルタ**]を[**オート**]、[**録音レベル**]を[**マニュアル**]にし、録音レベルを調整して録音してください。 「マイク感度を切り換える」(☞ P.107) 「ローカットフィルタを設定する」(☞ P.109) 「楽器や自然の音などを録音する」(☞ P.53)
録音したファイルに音とびが発生する	推奨品以外の microSD カードを使っている	推奨品の microSD カードをご使用ください。「microSD カードについて」(☞ P.30)
	microSD カードを本機以外（パソコンなど）で初期化した	microSD カードを本機で初期化してください。 「microSD カードを初期化する（初期化）」(☞ P.100)
	メモリの断片化が進んでいる	
録音できない	microSD カードの直下(ルートフォルダー)にファイルやフォルダが多数存在すると、それ以上ファイルが作成できないため、録音ができません。 例えば、半角 8 文字のファイル名のファイルが microSD カードの直下に 256 個あると、それ以上ファイルをコピーしたり、フォルダを作成したりすることができません。	microSD カードの直下(ルートフォルダー)のファイルやフォルダを削除してから、録音を開始してください。
PC 接続時に、本機の画面に接続アイコン表示がでない		パソコンによっては、パソコンに接続した時に、本機の画面に接続アイコン表示がでない場合や、パソコン側で本機が認識されない場合があります。その時は本機をパソコンより抜いて再度接続してください。
カレンダーが正しく表示されない		日時を再設定してください。 「カレンダー（日時）を設定する」(☞ P.36)
ファイルを削除したのに空き領域が増えない	ゴミ箱の設定が［**ON**］になっている	ゴミ箱の中身を消去してください。 「ゴミ箱内のファイルを空にする」(☞ P.95)
ラジオの雑音が多く聞きづらい	近くに雑音源（テレビやモーター、電気器具など）がある	設置場所を変えてみてください。 「本機の使用場所について」(☞ P.33)
	周波数がずれている	周波数を調整してください。 「ラジオ放送の選局について」(☞ P.43)

症状	考えられる原因	対処方法
タイマーが正常に動作しない（予約録音ができていなかった）	カレンダーが初期化されている	カレンダーの設定を行なってください。 「カレンダー（日時）を設定する」(☞ P.36)
	録音先のフォルダーがいっぱいになっている	不要なファイルを消去してください。 「1 件消去する（1 件消去）」(☞ P.97) 録音先を変更してください。 「step11 録音先を設定する」(☞ P.88)
	電池の残量がない	電池を交換する。 「電池の残量について」(☞ P.25)
	microSD カードの空き容量がない	不要なファイルを消去してください。 「1 件消去する（1 件消去）」(☞ P.97)
	本機に microSD カードが入っていない	microSD カードを取り付けてください。 「microSD カードを取り付ける / 取り外す」(☞ P.30)
FM 放送が受信できない	付属ヘッドホンが差し込まれていない	本機のヘッドホン端子に付属のステレオヘッドホンを差し込んでください。
録音するとノイズが聞こえる	録音モードやマイク感度が適切でない（マイク録音の場合）	録音モードやマイク感度を切り換えてためし録音しながら、最適な録音環境に設定してください。 「録音モードを切り換える」(☞ P.106) 「マイク感度を切り換える」(☞ P.107) 「録音シーンごとの設定の目安」(☞ P.57)
	受信状況が良好でない（ラジオ受信時）	「画面表示の切り換え」（AM の場合）、「ステレオ / モノラルの切り換え」(FM の場合) を行ったり本機の向きを変えたりするなどのノイズ対策する。 「ラジオの受信について」(☞ P.42)
AM ラジオの受信中に、液晶パネルの画面がすぐに消えてしまう	設定メニューの AM 画面表示設定が［**OFF**］になっている。	設定メニューの AM 画面表示設定を［**常に ON**］に設定する。

よくあるご質問

Q：アルカリ乾電池やエネループ充電池以外の電池は使えますか？

A： マンガン電池、ニカド電池は使用しないでください。オキシライド電池は使用できます。（電池の持続時間はアルカリ乾電池の場合とほぼ同じになります。）

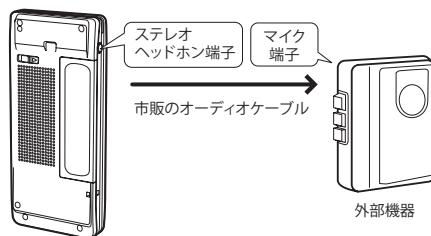
Q：マイク録音した音声にガサガサ雑音が入るのはなぜ？

A： マイク録音中に本機や本機を握っている手や指を動かすと、その音が録音されてしまいます。マイク録音中はできるだけ本機を動かさないようにしてください。

Q：うまく録音するコツは？

A： 録音場所や周囲の状況により録音状態が異なりますので、事前に試し録音をして適切な録音モードやマイク感度を選択してください。57 ページを参考に、本機の設定を行ってください。

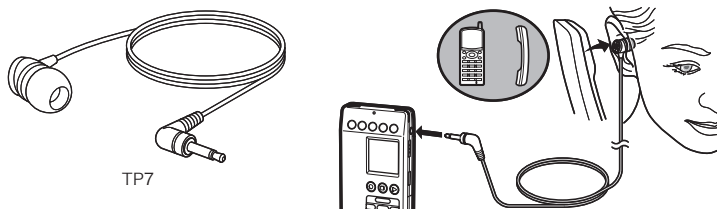
Q：録音内容をテープ・MDなどに保存するには？

A： 市販のオーディオケーブル（ミニプラグ：3.5 ø）を使えば、本機で録音したファイルを、簡単にテープレコーダーや MD レコーダーなどの外部機器にダビングして保存することができます。

使用するオーディオケーブル

外部機器側	オーディオケーブル
マイク入力	ミニプラグ：3.5ø、抵抗入り
音声ライン入力	ミニプラグ：3.5ø、抵抗なし

・ステレオのオーディオケーブルをご使用ください。
・ダビングする時は、事前にためし録音をし、本機で音量の調節を行ってください。
・テープレコーダーや MD プレーヤーから本機への録音も可能です。（☞ P.55）

Q：電話の音声を録音するには？

A： 別売品：テレホンピックアップ「TP7」を使って録音できます。携帯電話、家庭用固定電話または、ビジネスホンなどの会話を録音するときに便利です。

Q：取扱説明書に記載されている録音可能時間は、1つのファイルごとの録音可能時間ですか？

A：いいえ、ちがいます。各録音モードの録音可能時間とは、microSD カード内に録音ファイルが何もない状態で、録音モードを変えることなく最初から最後まで録音した場合の合計時間です。例えば、1ファイルでメモリが一杯になるまで録音すると、ファイルやフォルダを変更してもそれ以上は録音できません。

Q：パソコンにいったん保存した録音ファイルを、本機に再び戻したら再生できなくなりました。

A：パソコンでファイル名を変更していませんか？ファイル名を変更すると、VOICE フォルダやTIMER フォルダ（T1 ～ T5）などに戻しても再生できません。ファイル名を変更した場合は、MUSIC フォルダに転送すると再生できるようになります。

お手入れについて

柔らかい布でふいてください。汚れがひどいときは、柔らかい布でからぶきをしてください。
・ベンジンやアルコール、シンナーなどでふいたりしますと、変質、変色することがありますので使用しないでください。また、殺虫剤もかからないようにご注意ください。

温度上昇について

本機を長時間お使いになると、本機の温度が上昇することがありますが、故障ではありません。

主な仕様

■ **対応 OS:**
Windows 7/Windows Vista/XP

■ **対応メディア:**
microSD カード、microSDHC カード
(※当社推奨 microSD カード以外での動作保証はいたしません)

■ **録音モードと録音可能時間:**

録音モード	microSD カードのサイズ				
	512MB	1GB	2GB	4GB	8GB
PCM 44.1kHz	約 45 分	約 1 時間 20 分	約 3 時間	約 6 時間	約 12 時間
MP3 192kbps	約 5 時間 50 分	約 11 時間	約 22 時間 30 分	約 45 時間	約 90 時間
MP3 128kbps	約 8 時間 50 分	約 16 時間 30 分	約 34 時間	約 68 時間	約 136 時間
MP3 64kbps	約 17 時間 40 分	約 33 時間	約 68 時間	約 136 時間 30 分	約 272 時間
MP3 32kbps	約 35 時間 30 分	約 66 時間	約 136 時間	約 273 時間	約 544 時間

・ 表記の録音時間は目安です。microSD カードのメーカー、仕様により変わることがあります。
・ 録音されたファイルが複数あるときは、合計の録音時間はこれより短くなります。
・ 録音可能時間とは、microSD カードに何も録音データなどが入っていない状態で、途中で録音モードを変更せずに最初から最後まで録音した場合のすべてのフォルダの最大合計時間です。

※ 1 ファイルあたりの最大容量は 2GB です。ただし、電池の持続時間を超えて連続録音することはできません。また AC 動作モードでの連続録音時間は、1 ファイルにつき最大 24 時間です。

■ **録音周波数特性:**
(外部マイク録音時)
40 ～ 21,000Hz (PCM 44.1kHz 16bit 時)
40 ～ 20,000Hz (MP3 192kbps 時)
40 ～ 15,000Hz (MP3 128kbps 時)
40 ～ 7,500Hz (MP3 64kbps 時)
40 ～ 6,500Hz (MP3 32kbps 時)
(内蔵マイク録音時)
60 ～ 20,000Hz (PCM 44.1kHz 16Bit 時)
※ MP3 録音時の周波数特性の上限値は、外部マイク録音時の各録音モードに準じます。また、下限値は各録音モード 60Hz となります。

■ **録音フォーマット:**
MP3、PCM (WAV)

■ **再生フォーマット:**
MP3 (MPEG1 LAYER3、MPEG2 LAYER3)、WMA、PCM (本機で録音したファイルのみ)

■ **再生周波数特:**
20 ～ 21,000Hz

■ **サンプリング周波数:**
16 ～ 44.1kHz (MP3)
32 ～ 44.1kHz (WMA)

■ **再生対応ビットレート:**
16 ～ 320kbps (MP3)
32 ～ 192kbps (WMA)
※ VBR 形式ファイルなどファイルによっては正常に再生されない場合があります。

■ **ラジオ受信周波数:**
[AM] 522 ～ 1629kHz
[FM] 76 ～ 90MHz

■ **入・出力端子:**
USBminiB、ステレオヘッドホン 3.5 ø ミニ、ステレオマイク 3.5 ø ミニ、microSD カードスロット、I/O 端子

■ **動作温度:**
＋ 5℃～＋ 35℃

■ **定格出力（イヤホン）：** 10mW ＋ 10mW(16 Ω負荷時、JEITA/DC)
（スピーカー）： 80mW(16 Ω負荷時、JEITA/DC)

■ **電源：**
単 3 形エネループ充電池（単 3 形アルカリ乾電池）× 1 本、AC 電源（USB、I/O）

■ **充電時間：**
約 220 分

■ **電池持続時間：**
（録音時間）：
［MP3］64kbps
約 53 時間 30 分（アルカリ乾電池）
約 43 時間 30 分（エネループ充電池）
［PCM］44.1kHz 16bit
約 23 時間 30 分（アルカリ乾電池）
約 19 時間 30 分（エネループ充電池）
（ラジオ録音時間）：
AM:［MP3］128kbps
約 20 時間（アルカリ乾電池）
約 16 時間 15 分（エネループ充電池）
FM:［MP3］128kbps
約 17 時間（アルカリ乾電池）
約 13 時間 45 分（エネループ充電池）
（録音環境：録音 LED OFF、バックライト OFF、録音モニターなし、録音レベル オート時）
（再生時間 / イヤホン）：
［MP3］64kbps
約 53 時間 30 分（アルカリ乾電池）
約 43 時間 30 分（エネループ充電池）
［PCM］44.1kHz 16bit
約 24 時間（アルカリ乾電池）
約 20 時間（エネループ充電池）
（再生環境：録音 LED OFF、バックライト OFF、サウンド EQ FLAT 時）
（再生時間 / スピーカー）：
［MP3］64kbps
約 41 時間（アルカリ乾電池）
約 33 時間 30 分（エネループ充電池）
［PCM］44.1kHz 16bit
約 22 時間（アルカリ乾電池）
約 17 時間 45 分（エネループ充電池）
（ラジオ受信 / イヤホン）：
AM 約 25 時間 30 分（アルカリ乾電池）
約 20 時間 45 分（エネループ充電池）
FM 約 21 時間 30 分（アルカリ乾電池）
約 17 時間 30 分（エネループ充電池）
（再生環境：録音 LED OFF、バックライト OFF、サウンド EQ FLAT 時）
※ 電池持続時間は、電池の種類、メーカー、保管状態、使用条件、使用周囲温度などによって変わります。上記の時間はあくまで目安であり、保証するものではありません。アルカリ乾電池、もしくはエネループ充電池以外での動作保証はいたしません。

■ **最大外形寸法：**
約 幅 49.5 ×高さ 113.5 ×奥行き 18(mm)

■ **質量：**
約 92g（エネループ充電池含む）

■ **付属品：**
インナーイヤー型ステレオイヤホン （1）
専用 USB 接続ケーブル （1）
単 3 形エネループ充電池 （1）
microSD カード（2GB） （1）

マルチクレードル	(1)
AM ループアンテナ	(1)
FM アンテナ	(1)
クレードル用 AC アダプター	(1)
本書 (保証書付)	(1)
基本操作ガイド	(1)

付属マルチクレードルの仕様

品番 : CR14

最大外形寸法	:	約 幅 193 ×高さ 124.5 ×奥行き 100(mm)
質量	:	約 620g
出力	:	0.5W + 0.5W
スピーカー	:	フルレンジ　50 mm
電源	:	AC アダプター　DC 6V (AC100V, 50/60Hz)

※ 本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

さくいん

アルファベット

あ

い

え

お

か

き

く

こ

さ

し

アフターサービスについて

お買い上げいただきました製品を安心してご愛用いただくために、当社では、次のアフターサービス体制をとっております。 ユーザー登録を行っていただくと、各種サービス情報をお届けできます。
http://olympus-imaging.jp/ の［ユーザー登録］をご利用ください。

- **オリンパスホームページ**
  http://www.olympus.co.jp で関連製品の技術情報を提供しております。
- **修理に関するお問い合わせは**
  お買い上げ店か、お近くのオリンパスサービスステーションにお問い合わせください。当社では本機の補修用修理部品は、製造打ち切り後 6 年間をめやすに保有しており、期間中は原則として修理をお受けいたします。期間後でも修理可能の場合もありますのでお問い合わせください。
  なお、保証期間経過後の修理は有料となります。保証期間中でも運賃などの諸費用は、お客様にご負担をお願いいたします。製品をお送りいただく場合は、必ず書留小包または宅配便をご利用ください。

国内オリンパス・サービスステーション所在地

東　京　オリンパスプラザ内
〒 101-0052　東京都千代田区神田小川町 1 の 3 の 1　NBF 小川町ビル
Tel： 03 − 3292 − 3403

札　幌　〒 060-0034　札幌市中央区北 4 条東 1 の 2 の 3　札幌フコク生命ビル
Tel： 011 − 222 − 2570

大　阪　〒 550-0011　大阪府大阪市西区阿波座 1 の 6 の 1　MID 西本町ビル
Tel： 06 − 6535 − 7980

福　岡　〒 810-0004　福岡市中央区渡辺通 3 の 6 の 11　福岡フコク生命ビル
Tel： 092 − 761 − 4469

修理に関するお問い合わせ、修理品ご送付先
オリンパス八王子修理センター
〒 192-8507　東京都八王子市石川町 2951
Tel： 042 − 642 − 2633
Fax： 042 − 642 − 7105

※記載内容は変更されることがあります。
※修理センターおよびサービスステーションの営業日･営業時間、最新情報についてはオリンパスホームページの［お客様サポート］をご確認ください。

<保証規定>

1. この保証書は、取扱説明書、品質表示ラベル等の注意書にしたがった正常なお取扱いにより発生した故障に対して、お買い上げ日から満一年間、当社が無料修理の責任を負うことを保証するものです。
2. 有効期間内に故障して無料修理を受けられる場合は、商品と本書をご持参ご提示の上、お買い上げの販売店又は別紙の当社サービスステーションに依頼してください。
3. 販売店、または当社サービスステーションにご持参いただくに際しての諸費用は、お客様にご負担願います。製品を送る場合は、必ず書留小包または宅配便をご利用ください。また販売店と当社間の運賃諸掛につきましては、輸送方法によって(問屋便以外を使用した場合)一部ご負担いただく場合があります。
4. ご転居、ご贈答品等でお買い上げ販売店に依頼できない場合は、最寄りの当社サービスステーションにお問い合わせください。
5. この保証書は、本書に明示した期間、条件の元において無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書は、オリンパスイメージング株式会社、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
6. 本製品の故障に起因する付随的損害（録音、再生に要した諸費用及び録音、再生により得べかりし利益の損失等）については保証致しかねます。
7. 保証期間内でも次のような場合には有料修理になります。
   - イ. ご使用上の誤り及び当社サービスステーション及び指定する修理取扱い所以外で行われた修理・改造・分解・掃除等による故障。
   - ロ. お買い上げ後の輸送、落下等による故障及び損傷。
   - ハ. 火災・異常電圧・地震・水害・落雷・公害・そのほか、天災・地変による破損又は故障。
   - ニ. 本書のご提示がない場合。
   - ホ. 本書にお買い上げ年月日、シリアルNo.、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
   - ヘ. 電池等の消耗品による故障。
8. 保証の対象は本体のみです。

<保証書取扱い上の注意>

本書は日本国内においてのみ有効です。(THIS WARRANTY CARD IS VALID ONLY IN JAPAN)
販売店名およびお買い上げ年月日が記載されていることを確認してください。記入もれがあった場合は直ちにお買い上げの販売店にお申し出ください。

<保証責任者・保証履行者>

オリンパス イメージング株式会社
〒163-0914 東京都新宿区西新宿 2-3-1
新宿モノリス

保証書

本書は、本書記載内容で無料修理を行なうことをお約束するものです。お買い上げの日から 1 年以内に故障した場合は本書をご提示の上お買い上げの販売店または当社サービスステーションに修理をご依頼ください。

	無料修理保証期間	部品代	修理工料
本体	1 年	無料	
品名	Radio Server	型名	VJ-20
シリアルNo.		お買い上げ日	年　月　日
販売店名	無効		

OLYMPUS®

オリンパス イメージング株式会社

〒163-0914　東京都新宿区西新宿２の３の１ 新宿モノリス

● ホームページによる情報提供について

製品仕様、パソコンとの接続、OS対応の状況、Q&A等の各種情報を当社ホームページで提供しております。
また、オンライン修理受付の詳細やインターネットでのお申し込み、修理に関するお問合せ先（修理センター、国内サービスステーションなど）、カスタマーサポートセンターの営業日・営業時間につきましても当社ホームページで最新情報をお知らせしております。
オリンパスホームページ **http://www.olympus.co.jp/** から「お客様サポート」のページをご参照ください。

● 製品に関するお問い合わせ先（カスタマーサポートセンター）

フリーダイヤル **0120-084215**　携帯電話・PHSからは **042-642-7499**

FAX　042-642-7486　調査等の都合上、回答までにお時間をいただく場合がありますので、ご了承ください。

便利でお得なサービスメニューをご用意しています

● オンライン修理受付のご案内

オンライン修理受付では、インターネットを利用して修理のお申し込みや修理の状況をご確認いただけます。
また、下記にご案内しておりますピックアップサービス（引取修理）も、オンライン修理受付からお申し込みいただけます。

● ピックアップサービス（引取修理）のご案内

オリンパス指定の運送業者が、梱包資材を持ってお客様ご指定の日時にご自宅へお伺いし、故障した製品をお預かりします。お客様自身での梱包は不要です。その後弊社にて修理完成後、お客様のご自宅へ返送いたします。

電話でのお申し込みの場合：「オリンパス修理ピックアップ窓口」　フリーダイヤル **0120-971995**
営業時間：平日8:00 ～ 21:00　土・日・祝日9:00 ～ 17:00（指定休業日を除く）

※記載内容は変更されることがあります。

J1-BS0667-02
TO1009

1AJ6P1P0107-A (1110-P-GP) (JP1)